

みんなの力で元氣もりもり

平成 23 年度森林環境税活用事業実績 (HP 版)



E ~ もりくん

県民参加による 「森林環境の保全」と 「森林と共生する文化の創造」 をめざして



愛 媛 県

目 次

愛媛県森林環境税導入の経緯 1
1 森林の働き	
2 愛媛の森林の現状	
3 森林環境税導入の必要性	
第2期森林環境税について 7
1 第2期森林環境税導入の必要性	
2 第2期森林環境税の施策の方針	
森林環境税を活用した施策の仕組み	... 1 0
森林環境税を活用した事業の成果指標と目標値	... 1 2
平成23年度事業実績	... 1 6
1 事業総括表	
2 事業別実績	
(1) 県指定事業	
【森をつくる】	
森林そ生集団間伐促進事業 1 8
集落等山地災害危険地区整備事業 2 1
松林保全事業 2 3
フォレスト・マイスター養成支援事業 2 5
森林そ生緊急対策事業 2 7
奥地水源林保全整備事業 2 9
ニホンジカ森林被害防止対策事業 3 1
ニホンジカ緊急捕獲事業 3 2
【木をつかう】	
木質バイオマス利用促進事業 3 3
公共施設木材利用推進事業 3 5
自然公園木製施設整備事業 3 7
木の香る公園施設整備事業 3 9
えひめ材住宅普及啓発事業 4 1
愛媛ヒノキ材ブランド化推進事業 4 3
原木乾しいたけ等生産促進事業 4 5
愛媛県産材製品市場開拓促進事業 4 7
駐在所等庁舎整備事業 4 9
県立学校校舎等整備事業 5 0

【森とくらす】

県民と森との交流促進事業 5 1
県民参加の森設置・提供事業 5 5
自然観察会開催事業 6 0
森とのふれあい活動促進事業 6 2
林業普及指導事業 6 5
「森林わくわく体験」推進事業 6 7
都市近郊林保全事業 7 1
巡回展「森の博物館」開催事業 7 2

(2) 公募事業

・ 県民参加の森林づくり公募事業 7 4
------------------	-----------

資料編

・ 愛媛県森林環境税条例	... 1 1 0
・ 愛媛県森林環境保全基金条例	... 1 1 1
・ 愛媛県森林環境保全基金運営委員会委員名簿	... 1 1 2
・ 森林環境税普及啓発用ポスター・シンボルマーク	... 1 1 3
・ 税制度の概要	... 1 1 4

表紙：森林環境税普及啓発用ポスター（作者：菊池 安倫）

I 愛媛県森林環境税導入の経緯

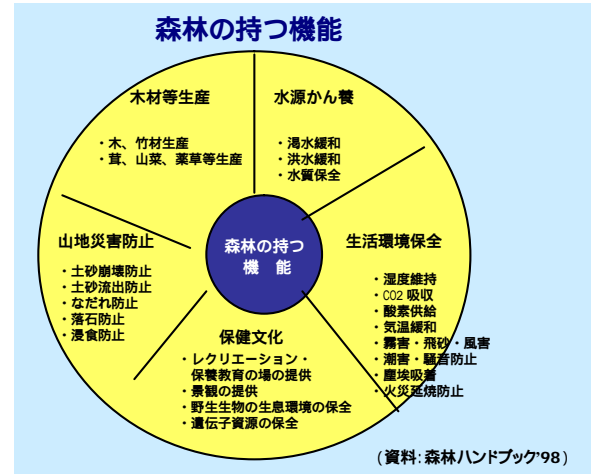
森林環境税導入の経緯

1 森林の働き

(1) 森林の持つ機能の種類

森林は、土砂の流出や崩壊を防ぐ機能、洪水や渇水を緩和する機能、風害や潮害を防ぐ機能、騒音や気候を緩和する機能、安らぎや憩いの場、教育的利用の場を提供するなどの保健・文化・教育的な機能、再生可能で環境に与える負荷も少ない木材の生産機能などを有しており、有形・無形に古くから私達の生活と深く関わっています。

特に最近では、地球温暖化防止に寄与する二酸化炭素を吸収・貯蔵する機能や多種多様な動植物の生息・生育の場を提供する生物多様性を保全する機能についても国際的に関心が高まりつつあるなど、森林に対する期待は多様化・高度化してきています。



(2) 森林の機能の評価

森林の機能については、本来、そのすべてを数値で評価することは不可能とされていますが、金額に置き換えることが可能な一部の公益的機能については、平成12年9月に林野庁から74兆9,900億とその評価額が公表されており、同じように愛媛県内の森林に置き換え算定したところ、1兆1,267億円となっています。

また、平成13年11月に日本学術会議が農林水産大臣に答申した「地球環境・人間生活にかかわる農業及び森林の多面的な機能の評価」では、年約70兆円と算定されています。

ただし、「森林の機能は総合的に発揮されるため、森林の価値を個々に評価し、単純に集計することは、森林の本質を正しく伝えられない可能性がある」こと、また「ひとつの機能を評価した場合、それ以外の機能が無視される傾向がある」ことなどに注意する必要があるとしています。



評価額は、平成12年度に林野庁で実施した評価手法を用いて試算したものです。

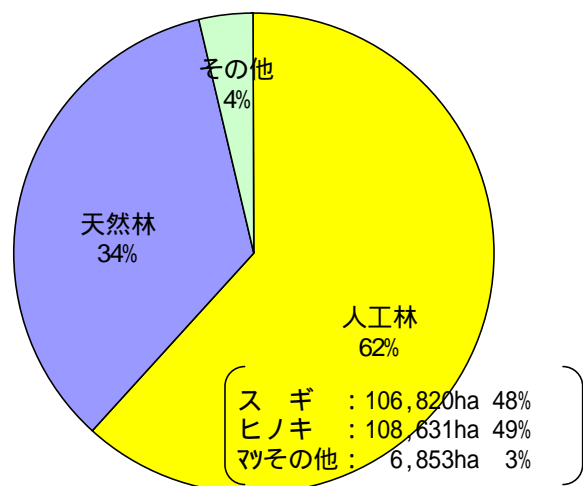
2 愛媛の森林の現状

(1) 愛媛の森林の特徴

愛媛の森林面積は、平成23年度末現在、県総土地面積567,818haの71%に当たる401,085haとなっており、うち民有林面積の占める割合が90%、残り10%を国有林が占めています。民有林における人工林率は、戦後の積極的な植林によって62%（222,304ha）となっており、その内訳はスギ48%（106,820ha）、ヒノキ49%（108,631ha）、マツその他3%（6,853ha）となっています。

また、県内の森林から伐り出されている素材の生産量は、平成23年末現在で47万m³で全国第11位で、四国では第2位の生産量となっています。

民有林の人工林と天然林等の割合(H23)

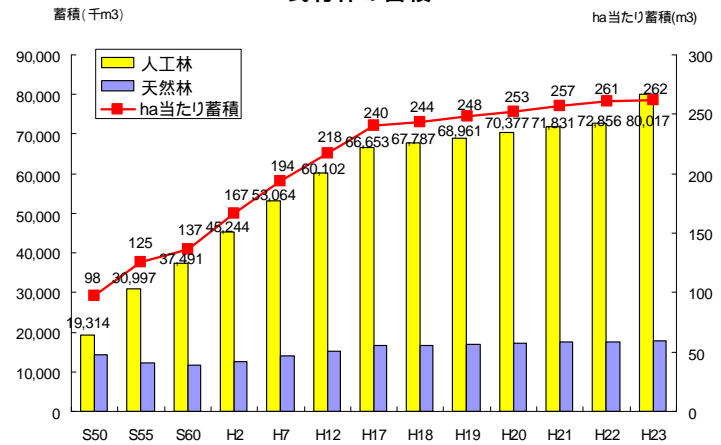


(2) 愛媛の森林の変遷

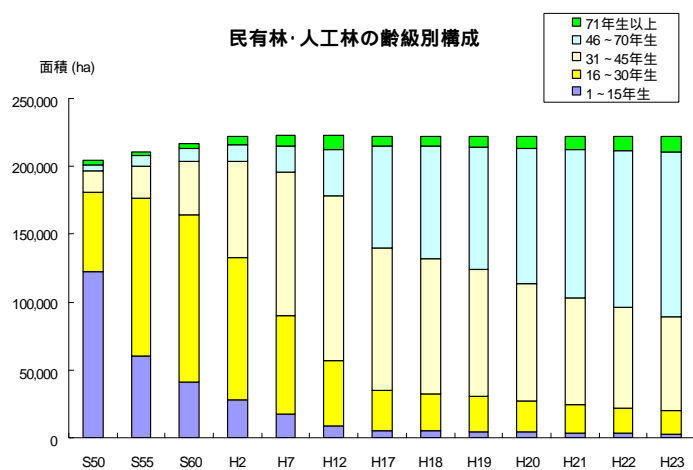
次に時系列で愛媛の森林の概要を見ると、平成21年の民有林森林面積は昭和50年の359,611haと比べると359,814haと横ばいとなっているが、森林の蓄積(立木の体積)は、昭和50年の約3,362万 m^3 に対して36年後の平成23年には9,774万 m^3 、2.9倍に増加しています。このうち、人工林は植林による面積の増加、下刈や間伐などの保育作業の実施による植栽木の成長に伴い蓄積は4.1倍に増加しています。

この人工林の年齢構成を年齢別に見ると、昭和35年前後に植えられた46年～50年生の森林が最も多く43,669ha、また、除伐や間伐が必要な16年～45年生の森林が人工林面積の39%(86,084ha)を占めています。

民有林の蓄積



民有林・人工林の年齢別構成



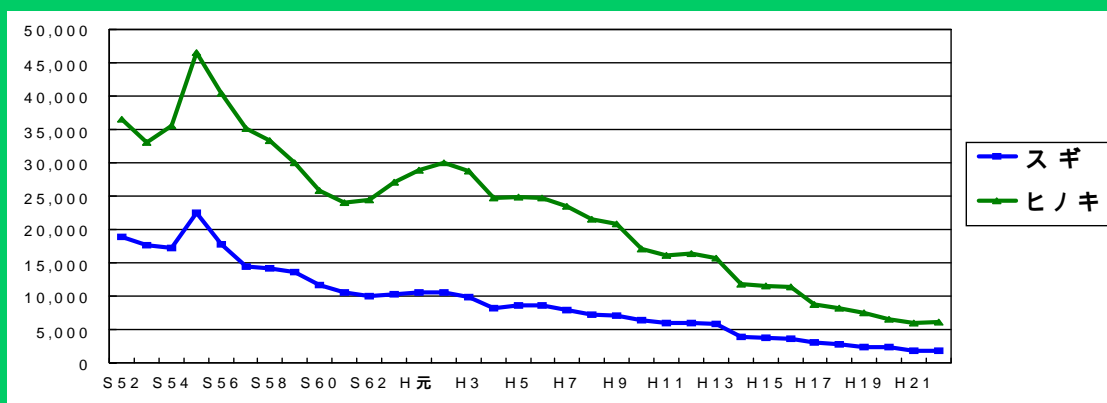
(3) 森林・林業を取り巻く状況

人工林の拡大は、昭和30年代における豊富な農山村の労働力等に支えられ、全国的な広がりを見せましたが、高度経済成長を担う急激な木材需要に応じるには若齢であり、利用可能な人工林が少なかったことなどから、外国産材の輸入が行われるようになり、今日では約8割を外国産材に頼らざるを得ない状況になっています。また、農山村から都会への人口流出、更には木材を代替する建築資材の台頭や住宅着工戸数の減少などの社会的要因とともに、木材生産に欠かせない林道等の基盤整備、機械化の遅れ、木材価格の下落等により、木材生産の採算が合わない厳しい状況が続いております。このような理由から、造成された人工林も次第に管理不足や放置されるようになってきており、人工林は今、活力を失いつつあります。



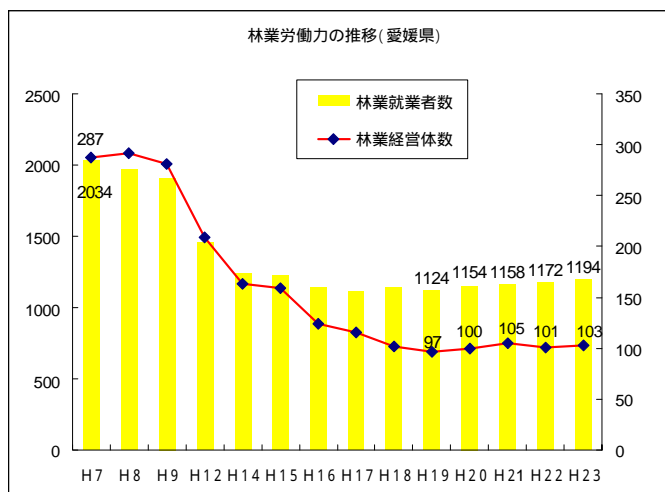
これらの森林を守ってきた林家の林業経営状況等を見ると、県内の山元立木価格は、スギ・ヒノキともにピーク時だった昭和55年以降ずっと下落しており、1m³（柱に加工される長さ3mの丸太では20本程度）当たりの立木価格は平成22年でスギ約1,800円、ヒノキ約6,000円程度と、昭和50年のスギ約20,500円、ヒノキ約36,700円に比べてそれぞれ9%、16%にまで下落しています。昭和50年当時の物価水準を考えると価格の低下は著しいものと言わざるを得ません。

山元立木価格の推移（愛媛県）



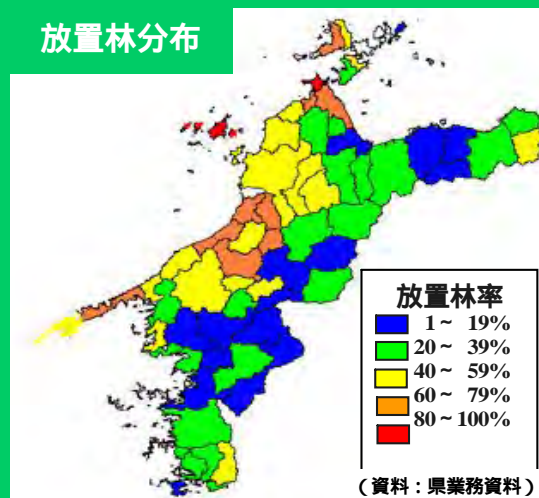
（資料：財）日本不動産研究会

一方、林家と共に林業の担い手である県内の林業事業者（森林組合・会社・第3セクター・個人）の数及び雇用労働者数は、平成7年には287事業者（1事業者当たり平均雇用労働者数7.1人）、2,034人が、平成23年には103事業者（1事業者当たり平均雇用労働者数11.6人）、1,194人にまで減少しています。



このような状況を反映して、平成12年度に県が行った放置された森林の実態調査によると、人工林（針葉樹）のうち約30%にあたる63,000haが、概ね10年間手入れされていないという結果となり、森林の荒廃が懸念されています。この対策として、平成14年度から（財）愛媛の森林基金が事業主体となり、森林所有者に代わって間伐を行う「公的管理」による放置森林の整備を実施し、平成23年度末までに4,897haの人工林で間伐を行っております。

放置林分布



（資料：県業務資料）

3 森林環境税導入の必要性

森林は、県土の保全や山地災害の防止、水資源のかん養など多様な機能を有しており、これらの機能の健全な発揮に対する県民の期待は一層高まるとともに、地球温暖化問題や自然との共生のあり方への関心の高まりを背景として、二酸化炭素の吸収、生物多様性の保全機能や保健文化的利用の場の提供など、森林の多面的機能の発揮がより一層求められています。

森林を有する多くの山村地域においては、林業という生業を通じて森林整備を推進するとともに、雇用の場の確保が図られ、地域の活性化に大きく寄与してきましたが、外材輸入、木材価格の低迷、さらには、過疎・高齢化により、森林整備を担ってきた多くの山村集落は限界集落への道を辿りつつあり、健全な山村社会を形成するためには、将来にわたり持続的に森林を維持・管理する担い手の確保や林業の振興が急務となっています。

このため、愛媛県では、平成 13 年を「森林そ生元年」と位置付け、森林の環境資源としての役割を重視し、多様な森林づくりと県産材の利用促進に取り組み、さらに平成 17 年度からは、それまでの「森林そ生対策」をさらに進め、県民共有の財産である森林を「県民全体」で守り育てていくため、県民参加による「森林環境の保全」と「森林と共生する文化の創造」を目的とする森林環境税を導入しました。

第 1 期森林環境税では

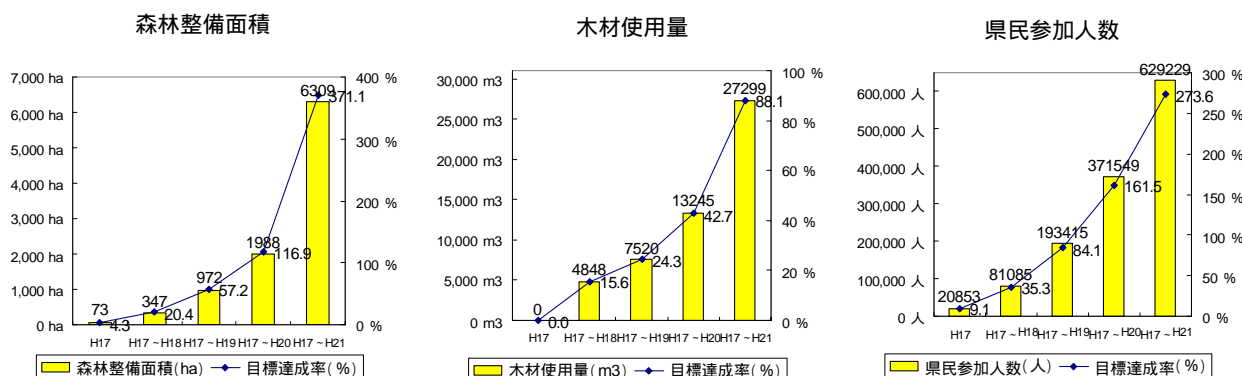
すべての県民の参加によって

森林を守り、健全に育つことができるよう手助けし

その働きをすべての県民が理解し、かつ主体的に享受する

ことを第 1 ステップとして取り組み、県民参加の森林づくりをテーマに「森をつくる」「木をつかう」「森とくらす」ための具体的な仕組みを構築し、第 1 期が終了した平成 21 年度末には、目標を大きく上回る 6,309ha の森林整備、木材使用量約 27,000m³、県民参加人数約 629,000 人と目に見える形で成果を残すことができました。

[第 1 期森林環境税を活用した事業の成果指標と目標値 (H17~H21 年度の 5 カ年間)]



Ⅱ 第2期森林環境税について

第2期森林環境税について

1 第2期森林環境税導入の必要性

これまでの森林環境税事業への取り組みの結果、森林の機能や恩恵などに対する認識はもとより、森林づくりへの参加など、県民の森林に対する具体的な活動につながり、「森林と共生する文化の創造」については、着実な進展が見られたところです。

一方、「森林環境の保全」については、税導入後、次のような状況変化があり、森林の持つ機能・役割が益々増大するとともに、森林の整備活用が一層必要となってきました。

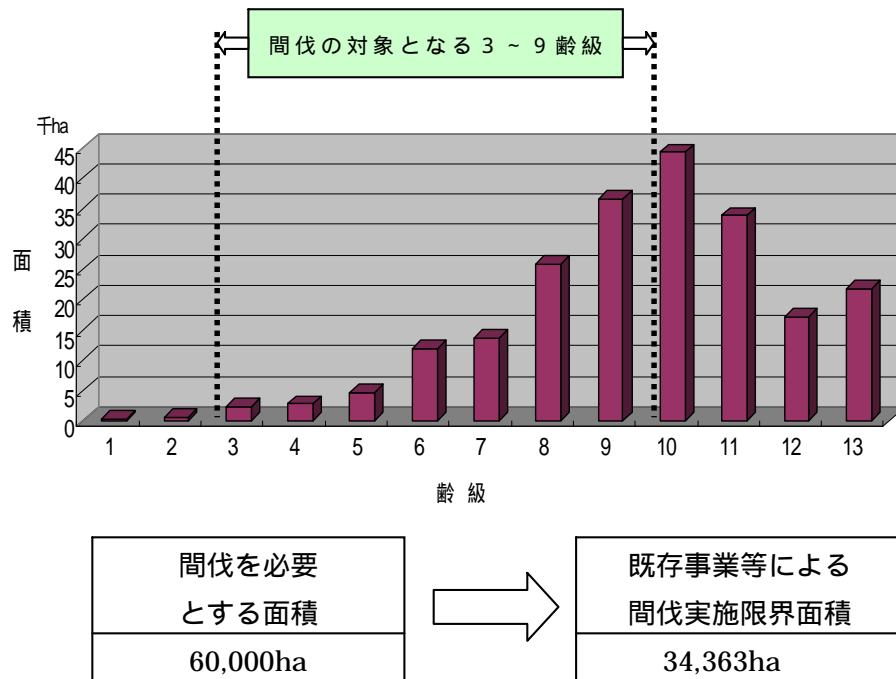
- (1) 平成20年に京都議定書の第1約束期間が始まり、6%の二酸化炭素削減約束の達成のため、国では毎年20万haを追加した年間55万ha、6年間で330万haの間伐の実施を目標に取り組みを進めており、本県においても、地球温暖化の防止に向けてより一層森林整備を進めていく必要があります。
- (2) 近年の温暖化の影響による気候変動により、ゲリラ的豪雨が発生する一方で、少雨傾向も見られ、水資源の地域偏在化が顕著になりつつあることから、瀬戸内海気候で急峻な山岳を背にし、渇水に度々見舞われている本県にとっては、森林の有する水資源のかん養機能の維持・強化を早急に講じる必要があります。
- (3) 近い将来に予測されている東南海・南海地震の被害を軽減するため、また、最近頻発する豪雨被害を防止するためにも、森林の持つ県土保全機能の維持・増進を今後とも進めていく必要があります。
- (4) 平成20年9月のアメリカでの金融危機に端を発した、世界同時不況の影響で、森林整備を担う林業は危機的な状況にあり、県産材の需要拡大、山村地域の活性化などによる林業の再生が急務となっています。
- (5) 平成20年の「生物多様性基本法」の施行を受け、多様な生物を守り、育んできた森林の持つ生物保全の役割の重要性も注目されてきており、多様な生物が共生できる健全な森林を整備していくことが求められています。

これに対して、本県の森林整備の状況は、森林環境税を導入した平成17年度から21年度までの5か年間に、間伐を必要とする面積約86千haのうち、約43千ha(うち森林環境税で6,309ha)の整備が行われましたが、未だ整備されていない森林が多く存在している状況にあります。

さらに、今後5か年間において60千haの森林の間伐が必要となり、生業を通じた森林整備や既存予算を有効に利用したとしても、35千haしか整備が見込めない状況となっています。

このような状況の中、森林を県民共通の財産として健全な姿で次世代に引き継ぐためには、県民参加のもと森林整備の拡大と加速化を進めるとともに、森林資源の徹底した活用による森林整備の担い手としての林業を再生するため、その財源としての森林環境税を拡充して継続することが必要です。

(平成 22 年度～26 年度森林整備(間伐)計画)



年齢級とは、林齢5か年をひとつくりにしたもので、例えば、林齢1～5年生までを1年齢級、6～10年生までを2年齢級と称します。この図表の3～9年齢級とは、林齢11年生から45年生になります。

2 第2期森林環境税の施策の方針

目的及び事業は、第1期森林環境税と同様に、「森林環境の保全」と「森林と共生する文化の創造」を目的として、これに即して「森をつくる」「木をつかう」「森とくらす」に区分して事業を実施します。

第1期森林環境税では、第1ステップとして施策の仕組みづくりを行い、県指定事業と公募事業との区分けや県民参加活動など施策の仕組みを構築し、着実な成果が得られましたが、森林を健全に管理する計画量とは未だ乖離があり、また持続的に整備を継続するためには、森林資源の活用も同時に進める必要があることから、第2期森林環境税では、森林整備とともに森林資源の活用に重点を置いた施策を展開します。

また、林業・木材産業等による生業活動の拡大は、公的負担が少なく、より効率的で低コストでの森林整備や産出された木材の円滑な利用につながることから、林業・木材生産活動や担い手の育成に対する支援を強化します。

さらに、引き続き県民を対象にした森林体験や森林との交流活動を行い、森林を県民全体で支える活動を促進します。

なお、事業化にあたっては、超過課税であることから、透明性が高いこと、県民にわかりやすいこと、県民の目に見える形で結果が出せることを前提とし、次の点に留意します。

- (1) 県民が森づくりに自発的に参加できる仕組みに配慮すること。
- (2) 次代を担う子ども達を対象とした取り組みに配慮すること。
- (3) 県民の要望に配慮した柔軟な事業展開とすること。
- (4) 特定の者の財産形成に直接寄与するものでないこと。
- (5) 既存事業の補填に充当しないこと。

Ⅲ 森林環境税を活用した 施策の仕組み

第2期森林環境税を活用した施策の仕組み

森林環境の保全と森林共生文化の創造

森林環境税

積み立て

森林環境保全基金

透明性
効率性
の確保

愛媛県森林環境保全基金運営委員会

- ・基金の管理
- ・事業内容の検討
- ・成果の公表 など

事業実施の考え方

- 透明性が高いこと
- 県民に分かりやすいこと
- 目に見える形で結果を出せること

公募事業の審査

指定事業

公募事業

事業公募

県民

個人、法人
任意団体
協同組合 など

市町

基金の取り崩し

県民の参加・協力・支援

森をつくる

指定事業

地球温暖化防止や災害の防止、水源かん養など、県民の森林に対する期待の高まりに対処して行う森林整備を加速化します。

地球温暖化防止のための森林整備
防災林整備
林業者の負担軽減や人材育成等への支援

公募事業

水源の森づくり
里山再生と放置竹林の整備
学校林活用 など

木をつかう

指定事業

持続的に森林整備を進めるために不可欠な県産材の需要拡大、山村経済の活性化等を拡充促進します。

公共施設の木造・木質化促進
木質資源の利用促進
木材加工、流通施設の整備や各産業施設等への木材利用拡大

公募事業

木材とのふれあい促進
チャレンジ「親子で木工」
炭焼き体験教室 など

森の交流センター

ボランティア、NPO等のネットワーク化、活動、交流支援
フィールドの登録、提供
森林情報の収集、提供
公募事業の推進

森とくらす

指定事業

〔県民参加による森林づくりを本格化します。〕
県民と森との交流促進
CO₂排出権取引への取り組みや県民の森づくり活動を拡充

公募事業

森林・自然体験活動
野生生物保護観察会
ふるさとの森とのふれあいなど

IV 森林環境税を活用した事業の 成果指標と目標値

第1期森林環境税の事業目標と実績（平成17～21年度）

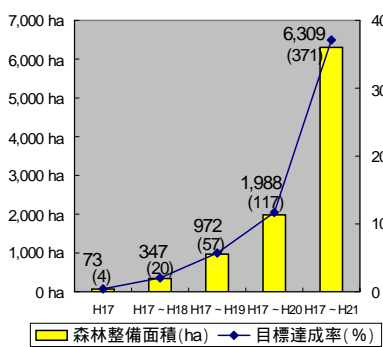
事業成果については、県民の皆さんにわかりやすいよう、目に見える形で公表することとしており、第1期では、以下のような実績となりました。

目標値		実績(平成17～21年度)	
森をつくる活動	緊急に整備の必要な森林を限定して、集中的に森林の機能回復を目指す事業で、植栽、除間伐及び林内整理等を実施する面積	森林整備面積 1,700ha	森林整備面積 6,309ha (371%)
木をつかう活動	県民に対して、木材利用の意義、安定的な供給、多様な用途などを普及することを目的とした事業で、公共施設の木質化された内装にふれあう人数と有効利用される木材の量	木とふれあう人数 112,000人 木材使用量 31,000m ³	木材使用量 約2万7千m ³ (88%)
森とくらす活動	県民を森へ誘導し、県民総ぐるみでの森林整備の支援を目指した事業で、森の交流センターを中心として森と交流する人数	森と交流する人数 78,000人	県民参加人数 約63万人 (274%)
公募事業	県民からの施策の提案を受けるとともに、県民自らが企画、立案、実行する活動を支援する事業で、森林づくり等の活動に参加する人数	公募事業に参加する人数 40,000人	

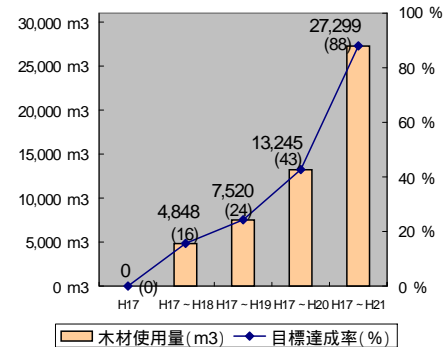
()は目標に対する達成率

5年間の推移

森林整備面積



木材使用量



県民参加人数



()は目標に対する達成率

第1期森林環境税 事業実績 (平成17~21年度)

事業総括表

基金繰入額

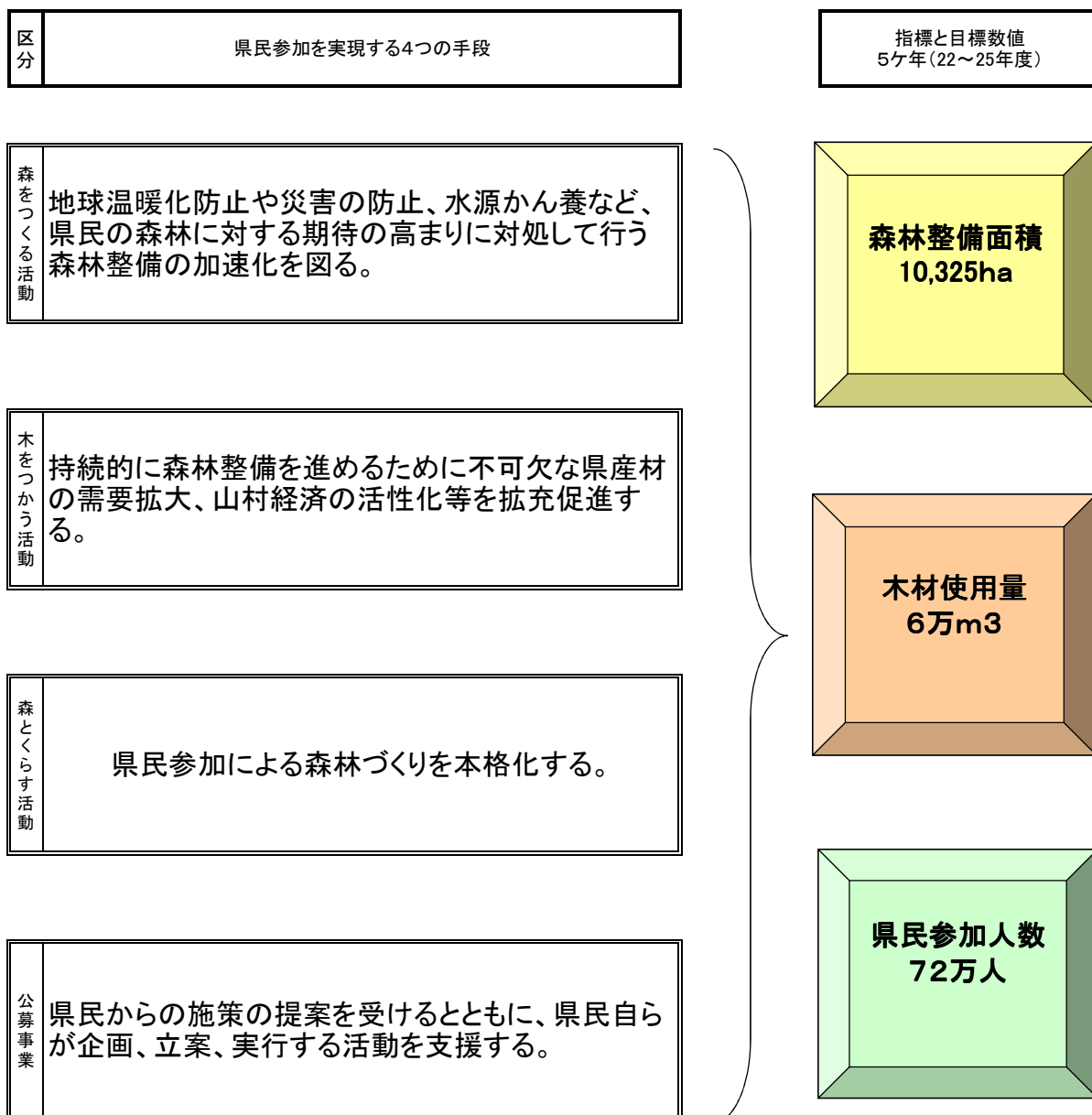
積立金	内 容	内 訳	決算額					
			H17	H18	H19	H20	H21	計
森林環境保全基金積立金	森林環境税を財源に、全ての県民で支える森づくりの理解と参加の促進及び公益的機能を発揮できる森林保全の事業を計画的かつ確実に実施するため、基金を積み立てる。	森林環境保全基金積立金	209,000,000円	347,304,763円	399,217,420円	395,729,336円	399,342,916円	1,750,594,435円

歳出額

事業名	内 容	事 項 名	決算額					
			H17	H18	H19	H20	H21	計
森をつくる活動	生活に欠くことのできない水を育む働きをもつ河川上流域の森林を対象に、自然力等を活かした整備・保全していく活動を推進するとともに、山地防災機能の向上を図るため、山地災害危険地区のうち土砂流出防止機能が著しく低下し、降雨によって集落等に被害を及ぼす恐れのある地区の森林について、森林整備を実施する。	源流の森整備保全事業	9,612,000円	48,921,700円	77,481,000円	60,567,000円		196,581,700円
		奥地の人工林を針広混交林化						
		集落防災緊急森林整備事業	14,726,020円	32,716,260円	40,515,170円			87,957,450円
		防災機能を重視した集落周辺の森林整備						
		流水等防止山地保全事業		18,860,000円	13,540,000円			32,400,000円
		ダム工等に異常堆積した立木等の除去と森林整備						
		里地里山再生モデル事業		4,302,694円	2,635,633円			6,938,327円
		放牧牛を活用した荒廃農地の整備と周辺森林の整備						
		えひめ漁民の森づくり実践活動事業			2,072,802円	2,188,308円	1,229,015円	5,490,125円
		漁業者が中心となり豊かな「漁民の森」づくり活動の実施						
		条件不利森林公的整備事業			499,000円	903,000円	2,785,000円	4,187,000円
		放置されている森林を「美しい森林」へ誘導するための事業						
		森林そ生集団間伐促進事業				23,943,766円	170,524,819円	194,468,585円
		「森林そ生対策」を更に進めるための施業地の団地化により間伐等コストを軽減						
		集落等山地災害危険地区整備事業				99,510,000円	96,266,000円	195,776,000円
		山地災害危険地区の森林を土砂流出防止機能の高い健全な森林へ誘導						
		松林保全事業					3,868,529円	3,868,529円
		県木である松を守るための松林保全活動を支援						
		森林そ生緊急対策事業					238,205円	238,205円
		間伐や路網の整備、製材施設・バイオマス利用施設等の整備等						
		木をつかう活動	公共的施設や民間住宅に対して木造化、木質化を推進するとともに、林内に放置されている未利用材の有効活用を図り、再生可能なエコ・マテリアル(環境素材)である木材を暮らしの中に取り入れ、人にやさしい生活環境を創造する。	木の香る環境づくり促進事業	5,083,000円	5,667,000円	4,653,000円	
		公共的施設の内装木質化や外構木製化の推進						
		木に親しむ学び舎づくり促進事業	6,600,000円	2,793,000円	1,375,000円		10,768,000円	
		幼少年教育施設への木製遊具や机等の設置						
		今治養護学校新居浜分校整備事業	836,000円				836,000円	
		今治養護学校新居浜分校の外構施設整備						
		木質バイオマス利用促進事業		617,304円	413,544円	5,299,916円	12,978,000円	
		未利用材を木質バイオマスとして有効利用						
		えひめ材住宅普及啓発事業		3,234,000円	3,183,000円	6,561,000円	6,597,000円	
		木造住宅に関する窓口の設置など木造住宅、木材利用の意識啓発を行う						
		公共施設木材利用推進事業		64,898,000円	20,836,000円	10,076,000円	111,025,000円	
		地域のシンボルとなる公共施設の木造化						
		県立学校校舎整備事業	16,000,000円	17,000,000円	16,000,000円	16,000,000円	8,000,000円	
		県立学校校舎の内装木質化						
		自然公園木製施設整備事業		11,861,061円	7,438,302円	5,734,721円	25,034,084円	
		自然公園に県産木材を使った標識、木柵、階段などを整備						
		木の香る公園施設整備事業		1,850,000円	3,570,000円	5,000,000円	10,420,000円	
		都市公園に県産木材を使った休憩所やベンチなどを整備						
		えひめ材の家づくり促進支援事業		7,524,000円	8,604,000円	20,807,000円	36,935,000円	
		民間住宅に良質な柱材を無償提供し、木造住宅の建設を促進						
		バイオマスペレット活用総合対策事業		2,992,000円	3,688,700円	1,434,200円	8,114,900円	
		地域に散在する未利用バイオマスをペレット化						
		木の香る環境整備支援事業			2,881,000円	2,886,000円	5,767,000円	
		公共的施設等を対象に地域材を利用した内装の木質化等に対して支援						
		えひめ材公共工事活用促進事業			2,163,850円		2,163,850円	
		公共事業における木材利用促進施策を実施						
		愛媛ヒノキ材ブランド化推進事業				1,828,590円	1,828,590円	
		全国一の生産量であるヒノキの消費拡大と流通体制の確立						
森とくらす活動	森づくりを行う市民グループや団体間の交流や情報の提供、森づくりの場(フィールド)の提供を行い、さらに県民活動を通じて、暮らしの中に森林との共生関係を推進するとともに、次世代を担う青少年を対象とした森林環境学習を行う。	県民と森との交流促進事業	12,828,310円	6,448,353円	5,943,702円	11,859,355円	11,240,291円	48,320,011円
		県民と森との交流促進						
		県民参加の森設置・提供事業	15,130,000円	16,545,000円	33,740,000円	32,240,000円	19,111,000円	116,766,000円
		県民活動の拠点整備						
		「森はともだち」推進事業		1,575,000円	3,150,000円	3,150,000円	1,575,000円	9,450,000円
		小中学生に対する森林環境教育の推進						
		自然観察会開催事業		1,593,300円	1,014,933円	1,226,489円	1,133,531円	4,968,253円
		一般県民を対象とした自然観察会を開催						
		森とのふれあい活動促進事業		4,766,000円	5,317,207円	2,599,675円	12,682,882円	
		森林づくりを行う青少年や県民の活動を支援						
		フォレスト・マイスター養成支援事業				9,132,360円	9,884,875円	19,017,235円
		森林を面的・効果的に整備する作業技術者と作業管理者を養成						
		林業普及指導事業				3,489,000円	2,110,701円	5,599,701円
		森林そ生プロジェクトの成果を県下に普及するための体験と広報誌の発行						
		「森のめぐみ 木のものがたり展」開催事業			1,579,603円	897,060円	2,476,663円	
		森林の自然と歴史に対する県民の理解を深めるための展覧会を開催						
		全国育樹祭開催事業				182,557,291円	182,557,291円	
		国土緑化運動の一環として活力ある緑の造成機運を高める目的で開催						
		「森の学校」開催事業				696,520円	696,520円	
		幼稚園や保育所の園児等を対象に森林観察会を開催						
公募事業	森林環境税の目指す「森林環境の保全」と「森林と共生する文化の創造」を県民と一体となって推進するため、県民の豊かな発想や自発的な活動を引き出すことにより、県民参加を具体化する。	県民参加の森づくり公募事業	17,695,000円	27,995,000円	28,909,000円	26,267,000円	25,416,000円	126,282,000円
			17,695,000円	27,995,000円	28,909,000円	26,267,000円	25,416,000円	126,282,000円
計			98,510,330円	253,166,611円	284,954,845円	530,213,147円	525,866,732円	1,692,711,665円
保留額			110,489,670円	94,138,152円	114,262,575円	-134,483,811円	-126,523,816円	57,882,770円

第2期森林環境税の事業目標と実績

○ 第2期森林環境税の事業目標



○ 第2期森林環境税の事業実績

目標項目	目標数値	実績					
		H22	H23	H24	H25	H26	計
森林整備面積	10,325 ha	3,158	3,509				6,667
木材使用量	60,000m3	23,532	21,475				45,007
県民参加人数	720,000 人	203,631	105,680				309,311
内訳	木とふれあ う人数	400,000人	161,312	66,672			227,984
	森と交流す る人数	250,000人	27,984	27,833			55,817
	公募事業 に参加す る人数	70,000人	14,335	11,175			25,510

V 平成23年度事業実績

平成23年度事業実績
1 事業総括表

基金繰入額 532,164,417円

積立金	内容	記	予算額	決算額	差引額
森林環境保全基金積立金	森林環境税を財源に、県民で支える森づくりの理解と参加の促進及び、公益的機能を発揮できる森林の保全・整備の事業を計画的かつ確実に実施するため、基金を積み立てる。	森林環境保全基金積立金	532,229,000円	532,164,417円	64,583円

歳出額

事業名	内容	事項名	予算額	決算額	差引額		
森をつくる活動	生活に欠くことのできない森林を、水源かん養や山地災害防止、生物多様性の保全などの公益的機能の向上を図るために整備・保全するとともに、野性鳥獣による森林被害の防止対策を実施するほか、必要な技術者等の人材の育成を進める。	森林そ生集団間伐促進事業	185,400,000円	183,322,770円	2,077,230円		
		集落等山地災害危険地区整備事業	80,036,000円	79,900,000円	136,000円		
		松林保全事業	1,400,000円	701,000円	699,000円		
		フォレスト・マイスター養成支援事業	12,558,000円	9,525,525円	3,032,475円		
		森林そ生緊急対策事業	2,000,000円	477,494円	1,522,506円		
		奥地水源林保全整備事業	15,740,000円	12,694,000円	3,046,000円		
		二ホンジカ森林被害防止対策事業	10,000,000円	6,505,000円	3,495,000円		
		有害鳥獣総合捕獲事業(二ホンジカ緊急捕獲事業)	5,855,000円	3,000,000円	2,855,000円		
		木をつかう活動	持続的に森林整備を進めるために不可欠な森林資源の利活用を促進するため、公共施設や民間住宅における木造化・木質化、県産材の需要拡大を推進するとともに、林内に放置されている未利用材の有効活用を図り、再生可能なエコ・マテリアル(環境素材)である木材を暮らしの中に取り入れ、人にやさしい生活環境を創造する。	木質バイオマス利用促進事業	31,118,000円	30,445,766円	672,234円
		公共施設木材利用推進事業		48,932,000円	46,973,540円	1,958,460円	
自然公園木製施設整備事業	5,000,000円	4,534,000円		466,000円			
木々の公園施設整備事業	3,000,000円	3,000,000円		0円			
えひめ材住宅普及啓発事業	44,730,000円	35,101,907円		9,628,093円			
愛媛ヒノキ材ブランド化推進事業	2,050,000円	1,959,205円		90,795円			
原木乾しいたけ等生産促進事業	22,960,000円	22,947,826円		12,174円			
愛媛県産材製品市場開拓促進事業	17,000,000円	16,978,200円		21,800円			
駐在所等庁舎整備事業	3,000,000円	3,000,000円		0円			
森とくらす活動	県民参加による森林づくりを推進するため、森林づくりを行う市民グループや団体間の交流や情報の提供、森づくりの場(フィールド)の提供を行なうとともに、次代を担う青少年を対象とした森林体験や森林環境学習等を行い、暮らしの中で森林との共生を推進する。	県民と森との交流促進事業		16,042,000円	13,225,058円	2,816,942円	
自然観察会開催事業		1,900,000円	1,191,000円	709,000円			
森とのふれあい活動促進事業		2,713,000円	1,192,882円	1,520,118円			
林業普及指導事業		3,637,000円	2,003,533円	1,633,467円			
「森林わくわく体験」推進事業		5,172,000円	5,172,000円	0円			
都市近郊林保全事業		500,000円	495,600円	4,400円			
巡回展「森の博物館」開催事業		2,416,000円	2,174,933円	241,067円			
公募事業		県民参加の森林づくり公募事業	50,000,000円	36,055,000円	13,945,000円		
計			597,424,000円	545,916,239円	51,507,761円		

2 事業別実績 (1) 県指定事業

森をつくる活動

森林そ生集団間伐促進事業（一部森林環境税事業）

「えひめ森林そ生プロジェクト」による「森林そ生対策」を更に進めるため、施業地の団地化と作業道等の基盤整備、高性能林業機械導入による間伐等の施業コストの軽減に努め、森林の持つ公益的機能の高度発揮と林業の活性化、ひいては、地球温暖化防止に貢献します。

1 ポイント

森林に対する国民の要請の多様化や都市化の進展に伴い、自然環境等の保全のため森林への欲求が強まっています。

また、平成 20 年度からは、京都議定書第 1 約束期間(2008～2012 年)における森林吸収目標 1300 万炭素トンの達成のため、効果的・効率的な取り組みが必要となっており、具体的には、森林吸収目標達成のため 2007 年以降 6 年間で全国で 330 万 ha の間伐を必要としています。

このため、県においても、県民が一丸となり、愛媛の森林を適正に管理し、健全な森林の育成、多様な森林の造成等に努めるため、団地化、作業道等の整備、高性能林業機械の導入をさらに推進し、森林のもつ公益的機能の高度発揮と林業の活性化を図り、ひいては、地球温暖化防止に貢献するものです。

2 事業内容及び採択要件等

事業種	事業内容	採択要件
森林整備事業	集約化実施計画区域あるいは、森林経営計画区域内において集約化による間伐等を実施する。	森林環境保全直接支援事業における間伐 ・ 60 年生以下 ・ 1 集約化計画あたり、5 ha 以上かつ 10m ³ /ha 以上の搬出間伐
低質間伐材搬出促進事業	森林そ生推進団地及び集約化実施計画区域内において、木材価格下落により、林内に放置されたままとなっている低質間伐材を搬出する。	森林環境保全直接支援事業又はCO ₂ 吸収源対策間伐事業において、1ヘクタール当たり60m ³ 以上を搬出する間伐。
CO ₂ 吸収源対策間伐事業	材価の低迷や担い手の減少等により、森林の荒廃が懸念される中山間地域において、小面積でも山仕事を続ける森林所有者が自ら実施する間伐等に要する経費に対し支援する。	森林環境保全直接支援事業の対象とならない事業のうち ・ 森林所有者自ら実施する間伐、作業道開設 ・ 1 施行地0.05ha以上の間伐

事業実施主体

市町、森林組合、林業事業者等
市町、森林組合、林業事業者等
森林所有者

3 平成 23 年度実績

(1) 実績額 183,323 千円

(2) 事業内容

森林整備事業（他事業で実施につき省略）

低質間伐材搬出促進事業

事業体名	実施箇所	面積 (ha)	補助金額 (円)
宇摩森林組合	四国中央市	24.36	3,507,840
いしづち森林組合	西条市	19.07	2,746,080
松山流域森林組合	松山市、東温市	33.17	4,776,480
伊予森林組合	伊予市	63.11	9,087,840
砥部町森林組合	砥部町	62.56	9,008,640
久万広域森林組合	久万高原町	476.43	68,605,920
内子町森林組合	内子町	17.20	2,476,800
小田森林ログハウジング	内子町	11.30	1,627,200
大洲市森林組合	大洲市	13.01	1,873,440
西予市森林組合	西予市	14.12	2,033,280
南予森林組合	宇和島市、鬼北町、松野町	32.71	4,710,240
合 計		767.04	110,453,760

C O2 吸収源対策間伐事業

(単位：ha、m、円)

事業体名	実施箇所	実 績			補助金額 (円)
		切捨間伐	搬出間伐	森林作業道	
いしづち森林組合	西条市	6.39	4.68	798	1,313,070
越智今治森林組合	今治市		4.11		575,400
松山流域森林組合	松山市、東温市	4.66	5.18		972,180
伊予森林組合	伊予市	0.33			17,490
砥部町森林組合	砥部町	2.76	3.19	977	983,680
久万広域森林組合	久万高原町	32.97	200.49	44,943	47,793,210
内子町森林組合	内子町	8.16	70.94	7,975	13,554,080
大洲市森林組合	大洲市	5.75	15.97	2,706	3,622,950
西予市森林組合	西予市	1.41			74,730
南予森林組合	宇和島市、鬼北町、松野町	2.54	19.98	2,576	3,962,220
合 計		64.97	324.54	59,975	72,869,010



森をつくる活動

4 事業期間 平成 22 年度～平成 26 年度

5 全体計画

事業内容		H22	H23	H24	H25	H26	計
計 画	団地設定面積(ha)	2,000	-	-	-	-	2,000
	団地数	20	-	-	-	-	20
	森林整備面積(ha)	-	-	-	520	520	1,040
	低質間伐材搬出促進事業(ha)	920	800	-	-	-	1,720
	CO2 吸収源対策間伐事業(ha)	-	600	500	400	400	1900
	未整備森林間伐事業(ha)	-	-	433	392	392	1,217
	補助金額(千円)	83,400	185,400	148,100	136,900	136,900	690,700
	うち森林環境税(千円)	83,400	185,400	148,100	130,000	130,000	676,900
実 績	団地設定面積(ha)	4,522	-				4,522
	団地数	12	-				12
	森林整備面積(ha)	-	-				-
	低質間伐材搬出促進事業(ha)	421	767				1,188
	CO2 吸収源対策間伐事業(ha)	-	390				390
	未整備森林間伐事業(ha)	-	-				-
	補助金額(千円)	64,808	183,323				248,131
	うち森林環境税(千円)	64,808	183,323				248,131
実施箇所	9 市町 (四国中央 市・西条市 ・松山市・ 伊予市・砥 部町・久万 高原町・西 予市・内子 町・宇和島 市)	15 市町 (四国中 央市・新居 浜市・西条 市・今治市 ・松山市・ 伊予市・砥 部町・久万 高原町・内 子町・大洲 市・八幡浜 市・西予市 ・宇和島市 ・鬼北町・ 松野町)					

集落等山地災害危険地区整備事業

「山地災害危険地区」のうち土砂流出防止機能等が著しく低下し、降雨によって集落等に被害を及ぼす恐れのある地区の森林について、本数調整伐等を実施し、下層植生を導入するなど土砂流出防止機能の高い健全な森林へと誘導します。

1 ポイント

近年、局地集中型豪雨や大規模地震等の異常天然現象が増加する傾向にあり、山地災害の様相が大きく変化していることから、継続的な公共治山事業と併せて、これまで想定していなかった山地災害に対する新たな対応が求められている。

本事業では、公共治山事業として採択されない「山地災害危険地区」のうち土砂流出防止機能等が著しく低下し、降雨等で集落等に被害を及ぼす可能性が高い地区の森林等を緊急に整備して山地災害危険地の解消を図ることとしている。

2 事業内容

<p>(1) 溪流タイプ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本数調整伐（間伐率 40%程度） ・簡易木製構造物（木製ダム・柵工等） ・堆積物除去 （溪流内に異常堆積した流木等の除去） ・その他森林機能回復のために必要なもの <p>(2) 山腹タイプ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本数調整伐（間伐率 40%程度） ・簡易木製構造物（木製土留工、柵工等） ・その他森林機能回復のために必要なもの 	<p>【実施場所】県が定めている山地災害危険地区であって、民有林治山事業の採択基準を満たさない箇所であること。</p> <p>【事業主体】県</p> <p>【採択要件】 林分が過密化等して土砂流出防止機能等が低下している箇所で、次のいずれかに該当するもの。 溪流タイプ 現に森林が荒廃等して溪流に土砂の流出が認められる箇所で、整備対象森林面積が 10ha 以上、かつ、1 箇所の工事費（年度計画額）が 500 万円以上であること。 山腹タイプ 人家 5 戸以上の集落後背部の森林で、整備対象面積が 5 ha 以上、かつ、1 箇所の工事費（年度計画額）が 250 万円以上であること。</p>
---	---

3 平成 23 年度実績

(1) 実績額 79,900千円（事務費5,100千円含む）

(2) 実施状況



今治市玉川町龍岡下（小川地区）

森をつくる活動

4 事業期間 平成22年度 ~ 平成26年度

5 全体計画

事業内容		H22	H23	H24	H25	H26	計
計 画	山地保全面積	199ha	167ha	105ha	90ha	88ha	649ha
	事業費	95,529千円	80,036千円	50,397千円	50,397千円	50,397千円	326,756千円
	うち森林環境税	95,529千円	80,036千円	50,397千円	50,397千円	50,397千円	326,756千円
実 績	山地保全面積	179ha	165ha				344ha
	事業費	93,880千円	79,900千円	千円	千円	千円	173,780千円
	うち森林環境税	93,880千円	79,900千円	千円	千円	千円	173,780千円
実施箇所		四国中央市(1)、今治市(1)、東温市(1)、久万高原町(3)、大洲市(2)、内子町(2)、西予市(2)、鬼北町(2)	四国中央市(1)、今治市(1)、東温市(1)、久万高原町(2)、大洲市(2)、内子町(1)、八幡浜市(1)、西予市(1)、鬼北町(1)、愛南町(1)				

松林保全事業(一部森林環境税事業)

県木である松を守るため、地域住民やボランティア等による抵抗性マツ等の植栽等、県民参加による松林保全活動を通じ、緑豊かな地域づくりを推進します。また、重要な松林を対象に松くい虫薬剤処理を行い、松林の保全を行います。

1 ポイント

県木である松を守るため、地域住民やボランティアの活動を通じた、抵抗性マツ等の植栽等緑豊かな地域づくりをするための松林保全活動に対し、支援を行うこととしており、従来から行っている空中散布、地上散布の予防措置と被害木の伐倒駆除の駆除措置を効果的に組み合わせ、引き続き適切な防除に努めることとします。

2 事業内容

(1) 松のみどりを守る活動事業(森林環境税を活用)

【伐倒駆除】

松くい虫の繁殖源を除去し、被害木を含む不用木及び不良木の伐倒、薬剤処理等を行うもの

【松林保全活動】

地域のボランティアにより、抵抗性マツ等の植栽等を行うもの

区分 市町名	抵抗性マツ供給事業	松林保全活動
今治市	150本(志島ヶ原・笠松山) 600(600)	1箇所(志島ヶ原) 89(44)千円
上島町		2箇所(法王ヶ原、日比地区) 115(57)千円
伊予市		
東温市		
計	150本(志島ヶ原・笠松山) 600(600)	3箇所 204(101)千円

(注)()書きは森林環境税額。

(2) 松くい虫薬剤防除事業

【空中散布】

松の健全木に対し、航空機から薬剤を散布し、被害を予防するもの

【地上散布】

松の健全木に対し、地上から薬剤を散布し、被害を予防するもの

区分 市町名	空中散布		地上散布
	一般散布	ガンノズル散布	
今治市	13.25ha 711千円		8.03ha 493千円
上島町			3.25ha 212千円
伊予市	130.15ha 6,322千円		
東温市			3.00ha 231千円
久万高原町		7.50ha 825千円	
計	142.53ha 7,033千円	7.50ha 825千円	14.28ha 916千円

森をつくる活動

3 平成 23 年度実績額

(1) 実績額 701 千円 (全体事業費 9,578 千円)

(2) 実施状況

松林保全活動



(今治市 志島ヶ原)



(上島町 法王ヶ原)

4 事業期間 平成 22 年度 ~ 平成 26 年度

5 全体計画

事業内容		H 2 2	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H 2 6	計
計 画	伐倒駆除量 (m3)	186	-	602	-	-	788
	松林保全活動箇所数	4	4	4	4	4	20
	事業費 (千円)	16,848	12,663	26,942	26,942	26,942	110,337
	うち森林環境税 (千円)	1,983	1,400	10,000	10,000	10,000	33,383
実 績	伐倒駆除量 (m3)	94	-	-	-	-	94
	松林保全活動箇所数	3	3	-	-	-	6
	事業費 (千円)	6,869	9,578	-	-	-	16,447
	うち森林環境税 (千円)	959	701	-	-	-	1,660
実施箇所		伐倒駆除 3市(今治 市、伊予 市、東温 市) 松林保全 活動 1市1町 (今治市、 上島町)	松林保全活 動1市1町 (今治市、 上島町) 抵抗性マツ の供給	-	-	-	-

伐倒駆除については他事業で実施。

フォレスト・マイスター養成支援事業（一部森林環境税事業）

公益的機能を持つ森林を面的・効率的に整備する林業技術者(フォロスタ-)と作業管理者(フォロスタ・マイスタ-)を養成するとともに、異業種から参入する事業者及び従事者に林業技術者を養成する研修を実施します。

1 ポイント

森林の持つ公益的機能を発揮するためには、適切な森林整備とそれに伴う木材生産の実施、搬出される木材の多面的利用を推進する必要がある。しかし、森林整備を行う林業の担い手は、減少・高齢化が進行しており、時代の要請に即した林業担い手の確保が急務となっている。

このため、県では就業初心者現場作業に必要な基本的知識・技術・資格を取得する研修を実施し、現場作業を行う林業技術者(フォロスタ-)を養成するとともに、現場リーダー及び現場作業の管理者(フォロスタ・マイスター)を養成し、林業担い手の確保育成を図る。

さらに、異業種から林業界へ新規に参入する事業者に対し、林業の基礎知識等に関する研修会や従業員を林業技術者に養成する研修を実施し、幅広く林業の担い手を確保することとしている。

2 事業内容

<p>(1)フォロスタ-養成コース 対象人数 年間7名 【実績 5名】 研修期間 20日間</p>	<p>森林整備に必要な基本的知識・技術・資格等の習得研修 (緑の雇用担い手確保育成対策事業と共催で実施) 講習・実習内容 林業の基礎知識、造林技術、育林技術、伐採技術、機械の構造と仕組み、森林病虫獣害の防除 取得資格 玉掛技能講習、小型車両系建設機械運転特別業務、林内作業車を使用する集材作業従事者安全教育</p>
<p>(2)フォロスタ・マイスタ-養成初級コース 対象人数 年間12名 【実績 3名】 研修期間 40日間</p>	<p>現場リーダーに必要な基本的知識・技術・資格等の習得研修 講習・実習内容 測量、選木、木材搬出実習、収穫技術、市場体験、素材評価、木材加工、集材機械操作、林道設計・開設、特用林産、森林・林業行政、育苗技術 取得資格 林業架線作業主任者免許、はい作業主任者技能講習、小型移動式クレーン運転技能講習、フォークリフト運転技能講習</p>
<p>(3)フォロスタ・マイスタ-養成上級コース 対象人数 年間12名 【実績 6名】 研修期間 40日間</p>	<p>高性能林業機械活用およびコスト管理に必要な知識・技術・資格等の研修 講習・実習内容 高性能林業機械の基本操作、高性能林業機械の構造と仕組み、クワヤダ-架設・撤収、システム運用 実習、間伐作業の技術・経営・コスト管理 取得資格 大型車両系建設機械技能講習、不整地運搬車技能講習</p>
<p>(4)森林施業プランナー養成コース 対象人数 年間10名 【実績 29名】 研修期間 8日間</p>	<p>森林所有者に対して必要な施業やコスト計算及び施業提案を行うことのできる営業マンの養成 講習・実習内容 コスト分析研修、プラン書作成研修、プラン書提案実習</p>
<p>(5)異業種等新規参入促進支援事業 【実績 42名】 参入研修：40人 研修期間 2日間 先進事業者研修：2人 研修期間 1ヶ月</p>	<p>参入研修(事業者) 森林林業の基礎知識や参入に必要な資格制度の周知、林業現地研修 ・対象人数：40名 ・研修期間：2日 林業従事者研修(従業員) 先進林業事業者へ派遣、OJT研修 ・対象人数：2名 ・研修期間：1ヶ月</p>

3 平成23年度実績

(1)実績額 9,526千円(全体事業費10,556千円)

森をつくる活動

(2) 実施状況



フォレスター養成コース



フォレスト・マイスター養成上級コース



フォレスト・マイスター養成初級コース

4 事業期間

平成 22 年度 ~ 平成 26 年度

5 全体計画

事業内容		H22	H23	H24	H25	H26	計
計画	森林整備面積	45	40	40	40	40	205
	事業費	14,302千円	14,231千円	13,392千円	13,392千円	13,392千円	68,709千円
	うち森林環境税	12,499千円	12,558千円	11,812千円	11,812千円	11,812千円	60,493千円
実績	森林整備面積	37	37				74
	事業費	13,119千円	10,556千円	千円	千円	千円	23,675千円
	うち森林環境税	11,316千円	9,526千円	千円	千円	千円	20,842千円
実施箇所		県内一円	県内一円	県内一円	県内一円	県内一円	

森林そ生緊急対策事業（一部森林環境税事業）

地球温暖化の防止に向けた森林吸収目標の達成並びに木材及び木質バイオマスを活用した低炭素化社会の実現が求められる中、間伐等の森林整備の促進及び間伐材等の森林資源を活用した林業、木材産業等の地域産業の再生を図り、もって水源のかん養等の多面的機能を有する森林をそ生させます。

1 ポイント

地球温暖化防止に向けた森林吸収目標の達成と木材・木質バイオマスを活用した低炭素化社会の実現が求められる中、地域の実情に応じて、その創意工夫に基づき、間伐や路網の整備、製材施設・バイオマス利用施設等の整備、木質バイオマスや間伐材の流通円滑化、公共施設等での地域材利用の促進等の事業を実施し、間伐等の森林整備の加速化と間伐材等の森林資源を活用した林業・木材産業等の再生を図ります。

2 事業内容等

事業種	事業内容	備考
協議会	協議会運営、調査・計画作成、間伐・路網等計画・間伐材供給・需要等の調整、地域材利用拡大等の普及の取組	愛媛県森林そ生緊急対策基金を財源とした事業（一部森林環境税事業）
間伐	除間伐等の実施	
林内路網整備	路網（中核作業道、基幹作業道及び作業路）の整備	
森林境界の明確化	間伐等の実施に必要な森林境界の明確化の取組	
里山再生対策	里山再生のための侵入竹の除去、森林病虫害対策、広葉樹林等の再生、修景等環境保全	
高性能林業機械の導入	高性能林業機械の導入の支援	
木材加工流通施設等整備	製材工場等が行なう加工流通施設の整備及び燃料用チップ、ペレットの加工業者が行なうチップ、ペレット等の加工流通施設の整備	
木造公共施設等整備	地域材を活用した公共施設等の整備	
木質バイオマス利用施設整備	公共施設等における燃料用ボイラーの整備等	
特用林産施設整備	きのこ等特用林産物の生産加工施設等の整備	
間伐材安定供給コスト支援	燃料用チップ・ペレット加工業者が、間伐材の安定取引協定に基づき、燃料用間伐材を、伐採・搬出・運搬等コストに見合う価格で安定的に買取取る取組	
流通経費支援	素材生産者と製材加工等が、間伐材の安定取引協定に基づく、協定価格での安定的な取引	
利子助成	素材生産者と製材加工等が、安定供給協定の実施に資する原料の積極的な手当や資金回収の長期化に対応するための資金の借入れ	
地域材利用開発	地域材の新たな利用法を開発する製品化に向けた実証試験等の取組	
地域材活用促進支援	地域材を住宅等に利用した場合の支援	
市町指導等事業	事業の指導等に必要な経費	
県指導等事業	事業の指導等に必要な経費	

3 平成23年度実績額 477千円（全体事業費1,058,105千円）



森をつくる活動

4 事業期間 平成22年度～平成26年度

5 全体計画 (実績：23年度内完成 + 23 24繰越)

事業内容		H22	H23	H24	H25	H26	計
計 画	間伐面積(ha)	2,297	1,852	-	-	-	4,149
	林内路網整備(m)	65,290	45,682	-	-	-	110,972
	森林境界明確化(ha)	307	293	-	-	-	600
	里山再生対策(侵入竹の除去)(ha)	9	11	-	-	-	20
	里山再生対策(森林病害虫対策)(m3)	871	660	-	-	-	1,531
	高性能林業機械(台)	9	5	-	-	-	14
	木材加工流通施設(施設)	8	2	-	-	-	10
	木造公共施設等整備(施設)	3	2	-	-	-	5
	木質バイオマス利用施設等整備(施設)	-	1	-	-	-	1
	間伐材安定供給コスト支援(m3)	17,594	9,073	-	-	-	26,667
	流通経費支援(m3)	18,800	23,500	-	-	-	42,300
	地域材利用開発(件)	3	-	-	-	-	3
	地域材活用促進支援(棟)	200	300	-	-	-	500
	補助金額(千円)	1,620,000	1,076,358	-	-	-	2,696,358
	うち森林環境税(千円)	2,000	2,000	-	-	-	4,000
	実 績	間伐面積(ha)	2,571	2,143	-	-	-
林内路網整備(m)		93,861	86,590	-	-	-	180,451
森林境界明確化(ha)		307	185	-	-	-	492
里山再生対策(侵入竹の除去)(ha)		9	11	-	-	-	20
里山再生対策(森林病害虫対策)(m3)		898	802	-	-	-	1,700
高性能林業機械(台)		9	11	-	-	-	20
木材加工流通施設(施設)		13	4	-	-	-	17
木造公共施設等整備(施設)		3	2	-	-	-	5
木質バイオマス利用施設等整備(施設)		-	-	-	-	-	0
間伐材安定供給コスト支援(m3)		17,594	18,146	-	-	-	35,740
流通経費支援(m3)		4,287	4,800	-	-	-	9,087
地域材利用開発(件)		3	3	-	-	-	6
地域材活用促進支援(棟)		200	417	-	-	-	617
補助金額(千円)		1,526,945	1,058,105	-	-	-	2,585,050
うち森林環境税(千円)		155	477	-	-	-	632
実施箇所		18市町 四国中央市、新居浜市、西条市、今治市、上島町、松山市、東温市、伊予市、砥部町、久万高原町、八幡浜市、大洲市、内子町、西予市、宇和島市、鬼北町、松野町、愛南町	17市町 四国中央市、新居浜市、西条市、今治市、松山市、東温市、伊予市、砥部町、久万高原町、八幡浜市、大洲市、内子町、西予市、宇和島市、鬼北町、松野町、愛南町				

奥地水源林保全整備事業費

放置森林の水土保全機能の回復を図るため、ダム等の奥地水源林地域において、必要となる森林整備を行います。

1 ポイント

愛媛県では、平成14年度から平成23年度まで放置森林対策事業により森林整備を進めているところですが、今だ、手つかずの放置森林は多く残っており、今後とも水土保全機能の回復を図るための森林整備が重要となっています。

また、県民の生活に不可欠な水を蓄えるダム等の奥地水源林地域では、水源かん養機能が高いにもかかわらず、奥地であるが故に放置森林としてそのまま残されている森林が多く見られます。

こうしたことから、ダム等の奥地水源林地域において必要な調査を実施し、放置森林の水土保全機能の回復を図るために、県による森林整備を重点的に行います。

2 事業内容

ダム等の上流で一定のまとまりを持った森林について、森林の実態や境界確認等の調査を行い、放置森林の整備に関して森林所有者との施業協定が締結された森林において、県が森林整備を行います。

(1) 事業対象地の選定(1年目)

- ・放置森林が多く存在するなど、緊急性が高い地域を選定(東・中・南予から各1地域の合計3地域)

(2) 奥地水源林地域の実態調査(1年目)

- ・地域の森林状況調査、放置森林調査(現況、森林所有者の意向、施業協定締結)、土地境界確認 等

(3) 森林整備の実施(2~4年目)

- ・下層植生導入を目指した強度な間伐(搬出を除く)
- ・複層林の造成(災害跡地等で植生が乏しい場合等)
- ・作業歩道の開設等(2.5m以下、ha当たり100m)

3 平成23年度実績 12,694千円

(1) 事業対象地域の選定結果

- | | | |
|-------------------------------|------|-------|
| ・東予 今治市 玉川町龍岡(玉川ダム)地域 | 対象面積 | 544ha |
| ・中予 松山市 松山市湯山(石手川ダム)地域 | 対象面積 | 640ha |
| ・南予 宇和島市・鬼北町 柿原・北川(須賀川ダム上流)地域 | 対象面積 | 646ha |

(2) 実態調査の委託(委託金額合計 12,586,000円)

- | | | |
|--------------|------|-----------------------------|
| ・東予 越智今治森林組合 | 委託金額 | 3,124,000円(23.10.5~24.3.26) |
| ・中予 松山流域森林組合 | 委託金額 | 4,713,000円(23.10.5~24.3.26) |
| ・南予 南予森林組合 | 委託金額 | 4,749,000円(23.10.5~24.3.26) |



森林現状調査(今治市)



地元説明会(今治市)

森をつくる活動

4 事業期間 平成23年度～平成26年度

5 全体計画

事業内容		H22	H23	H24	H25	H26	計
計画	実態調査		3 地域				3 地域
	森林整備 (ha)			200	200	200	600
	うち森林環境税			150	150	150	450
	事業費		15,740 千円	64,900 千円	64,900 千円	64,900 千円	210,440 千円
	うち森林環境税		15,740 千円	64,900 千円	64,900 千円	64,900 千円	210,440 千円
実績	実態調査		3 地域				3 地域
	森林整備						
	うち森林環境税						
	事業費		12,694 千円				12,694 千円
	うち森林環境税		12,694 千円				12,694 千円
実施箇所		東予 今治市 玉川龍岡(玉川ダム)地域 中予 松山市 松山市湯山(石手川ダム)地域 南予 宇和島市・鬼北町 柿原・北(須賀川ダム)地域	同左	同左	同左		

ニホンジカ森林被害防止対策事業（H23 新規）

ニホンジカによる森林被害等を軽減し、森林等の公益的機能の保全を図るため、狩猟期間中に市町が行うニホンジカ捕獲事業を支援します。

1 ポイント

近年、ニホンジカによる森林被害や農作物被害が深刻化しているため、市町が行うニホンジカ捕獲事業を支援し、狩猟期間中のニホンジカの捕獲を強化します。

2 事業内容

補助対象

市町が、森林等の保全のため、狩猟期間中に、銃器又はわなによりニホンジカを捕獲した者に対し、奨励金の交付等を行うのに要する経費に対して補助

補助率 1 / 2 以内

補助率 10,000円 / 頭

3 平成23年度実績 6,505千円（全体事業費 13,600千円）

4 事業期間 平成23年度～平成26年度

5 全体計画

事業内容		H22	H23	H24	H25	H26	計
計 画	捕獲計画数（全体）		2,000頭	2,000頭	2,000頭	2,000頭	8,000頭
	捕獲計画数 （森林環境税分）		2,000頭	2,000頭	2,000頭	2,000頭	8,000頭
	事業費		20,000千円	20,000千円	20,000千円	20,000千円	80,000千円
	うち森林環境税		10,000千円	10,000千円	10,000千円	10,000千円	40,000千円
実 績	捕獲実績数（全体）		1,360頭				1,360頭
	捕獲実績数 （森林環境税分）		1,360頭				1,360頭
	事業費		13,600千円				13,600千円
	うち森林環境税		6,505千円				6,505千円
実施市町			5市町 西条市、宇和島市、 松野町、鬼北町、 愛南町	ニホンジカにより 森林被害及び農作物 被害を受けている 市町	ニホンジカにより 森林被害及び農作物 被害を受けている 市町	ニホンジカにより 森林被害及び農作物 被害を受けている 市町	

ニホンジカ緊急捕獲事業（H23 新規）

ニホンジカによる森林被害等を軽減し、農林業従事者の生産意欲の減退を防ぐため、狩猟期間及びその前後15日間を除く期間に市町が行う有害鳥獣捕獲事業を支援します。

1 ポイント

近年、ニホンジカによる森林被害や農林作物被害が深刻化しているため、市町が行う有害鳥獣捕獲事業を支援し、狩猟期間およびその前後15日間を除く期間のニホンジカの捕獲を強化します。

2 事業内容

補助対象

市町が、ニホンジカの捕獲を強化するため、狩猟期間およびその前後15日間を除く期間に、銃器又はわなにより、平成21年度の当該市町における有害鳥獣捕獲数を超える数のニホンジカを捕獲した者に対し、奨励金の交付等を行うのに要する経費に対して補助

補助率 1 / 2 以内

基準経費 10,000円 / 頭

3 平成23年度実績 3,000千円（全体事業費 6,030千円）

4 事業期間 平成23年度～平成26年度

5 全体計画

事業内容		H22	H23	H24	H25	H26	計
計画	捕獲実績数（全体）		2,579頭	2,579頭	2,579頭	2,579頭	10,316頭
	捕獲計画数 （森林環境税分）		1,171頭	1,171頭	1,171頭	1,171頭	4,684頭
	事業費		11,710千円	11,710千円	11,710千円	11,710千円	46,840千円
	うち森林環境税		5,855千円	5,855千円	5,855千円	5,855千円	23,420千円
実績	捕獲実績数（全体）		1,792頭				1,792頭
	捕獲実績数 （森林環境税分）		603頭				603頭
	事業費		6,030千円				6,030千円
	うち森林環境税		3,000千円				3,000千円
実施市町			6市町 東温市、久万高原町、西予市、宇和島市、松野町、鬼北町	ニホンジカにより森林被害及び農作物被害を受けている市町	ニホンジカにより森林被害及び農作物被害を受けている市町	ニホンジカにより森林被害及び農作物被害を受けている市町	

木質バイオマス利用促進事業

森林整備により発生し、林内に放置されている林地残材等の利用拡大を図り、中山間地域を支える林業の振興を図るとともに、二酸化炭素排出に問題のある化石燃料の使用削減に効果がある木質バイオマスの利用促進と普及を図ります。

1 ポイント

森林整備により発生し、林内に放置されている林地残材等（根元、変色・腐り材、端材、梢端、雑木、竹材等）の木質バイオマス利用を進めるため、木質バイオマスの搬出利用経費に対する支援を行い、林地残材等を製紙用チップ（燃料用を除く）、木質ペレット、木炭等の原料として安定的に利用する事業を促進するとともに、ペレットストーブを活用して木質バイオマスの利用促進を図るための普及啓発を推進しています。

2 事業内容

（1）木質バイオマス利用促進事業

事業主体	製紙用チップ(燃料用を除く)、木質ペレット、木炭等の加工・製造者等のうち、安定的な木質バイオマス利用を行う者。 また、加工・製造業者に対し、県森林組合連合会、森林組合、林業事業体等が安定的に木質バイオマスの供給を行う場合は、林業関係者が事業主体となることができる。
補助対象者	森林所有者等（補助金は、事業主体を通じて森林所有者等へ木質バイオマス買取代金とともに交付する。）
補助対象木材	間伐等（主伐を含む）を実施した森林内から搬出し、製紙用チップ(燃料用を除く)、木質ペレット、木炭等の製品原料として、安定的に利用する林地残材等の木質バイオマス
補助単価	補助単価は、基準単価と買取単価の差額に対し、3,000円/m ³ を上限として設定する。 林地残材等の搬出利用経費の基準単価 8,000円/m ³ 事業主体が設定する買取単価(補助事業開始時に各事業主体と県が協議して決定)
平成23年度実施事業量	9,464m ³

（2）ペレットストーブ普及啓発事業

県施設（県庁、各地方局）に設置されたペレットストーブを活用し、広く県民に普及啓発活動を行いました。

（3）ペレットストーブ導入支援事業

公共的施設へのペレットストーブ導入を支援しました。

補助率等：補助率、1/2以内、上限、250千円/台、8台

事業主体：公共的施設の管理者



石鎚登山口ブウェイ乗り場



西予市立魚成小学校

木をつかう活動

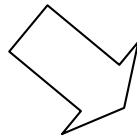
3 平成 23 年度実績

実績額 30,446 千円

4 事業イメージ



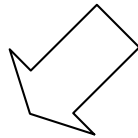
森林整備後放置された低質材



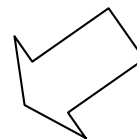
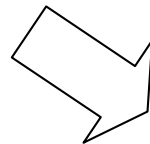
搬出・利用を促進



チップに加工



原紙



5 事業期間

平成 22 年度 ~ 平成 26 年度

6 全体計画

事業内容		H22	H23	H24	H25	H26	計
計 画	林地残材等の有効利用量	4,800 m3	9,600 m3	9,600 m3	9,600 m3	9,600m3	43,200 m3
	ふれあう人数	1,700人	2,100 人	2,500 人	2,900 人	3,300人	12,500 人
	事業費	25,680 千円	31,118 千円	31,118 千円	31,118 千円	31,118 千円	150,152 千円
	うち森林環境税	25,680 千円	31,118 千円	31,118 千円	31,118 千円	31,118 千円	150,152 千円
実 績	林地残材等の有効利用量	4,900 m3	9,464 m3				14,364 m3
	ふれあう人数	2,310 人	6,200人				8,510 人
	事業費	24,177 千円	30,446 千円	千円	千円	千円	54,623千円
	うち森林環境税	24,177 千円	30,446 千円	千円	千円	千円	54,623千円

H22 は、「木質バイオマス利用促進事業」と「木質ペレット利活用促進事業」の合算

公共施設木材利用推進事業

地域材を利用した公共施設の整備や内装の木質化及び木の机・椅子の導入などに対して支援を行います。

1 ポイント

地域材を利用した公共施設の整備や内装の木質化及び木の机・椅子の導入などに対して支援を行い、県民に快適な空間を提供するとともに、直接木を見て触れることにより、木材利用に対する理解を深めていきます。

2 事業内容

(1) 木造公共施設整備事業

延床面積 200 m²以上の木造の公共施設の整備に対する補助。

補助率 建設単価が 200 千円/m² を上回る場合に、200 千円と建設単価との差額の 1/2 以内を床面積当り 20 千円 / m² を上限として補助

補助金の上限 20,000 千円 / 施設

(2) 公共施設内装木質化事業

既設又は建築基準法等の基準で木造化不可能な新設の非木造施設の内装（床・壁等）に地域材を使用した場合の木工事費に対する補助

補助率 木工事費の 1 / 2 以内 補助金の上限 8,000 千円 / 施設

(3) 木製屋外施設整備事業

公共施設における木造屋外施設（外構施設、木製遊具、学校関連施設等）の整備に対する補助

補助率 施設整備費の 1 / 2 以内 補助金の上限 3,000 千円 / 施設

(4) 小規模木造施設整備事業

延床面積 200 m²未満の小規模な木造の公共建築物の整備に対する補助

補助率 施設整備費の 1 / 2 以内 補助金の上限 3,000 千円 / 施設

(5) 木の机等整備事業

幼稚園や小中学校及び児童福祉施設等における木の机・椅子等の導入に対する補助

補助率 木の机・椅子 1 組の経費の 1 / 2 以内 補助金の上限 11 千円 / 組

(1) は地域材使用率 80% 以上、(2) ~ (5) は地域材使用率 100% とする。

地域材とは、地域において製材・加工または流通するスギ、ヒノキ、アカマツ、クロマツとする。

3 平成 23 年度実績額

(1) 実績額 46,974 千円

(2) 実施内容

事業内容	事業主体	施設名	施設概要	補助金額
木造公共施設整備事業	今治市	今治西部丘陵公園 管理棟	木造 355 m ²	7,100 千円
	大洲市	新谷小学校校舎	木造 2,138 m ²	20,000 千円
	八幡浜市	白浜小学校屋内運動場	木造 821 m ²	16,420 千円
公共施設内装木質化事業	宇和島市	清満小学校	音楽室・床貼り 108 m ²	395 千円
		吉田小学校	音楽室・床貼り 110 m ²	419 千円
小規模木造施設整備事業	松山市	八白公園	東屋 1 棟	1,278 千円
木の机等整備事業	鬼北町	町内小学校 5 校	木の机・椅子 75 組	569 千円
		広見中学校	木の机・椅子 77 組	702 千円
計		12 施設		46,883 千円

木をつかう活動

4 事業期間 平成22年度 ~ 平成26年度

5 全体計画

事業内容		H22	H23	H24	H25	H26	計
計画	整備する施設数	14	12	14	14	14	68
	事業費	24,400千円	48,932千円	32,002千円	45,082千円	45,082千円	195,498千円
	うち森林環境税	24,400千円	48,932千円	32,002千円	45,082千円	45,082千円	195,498千円
実績	整備する施設数	13	12				25
	事業費	17,363千円	46,974千円	千円	千円	千円	64,337千円
	うち森林環境税	17,363千円	46,974千円	千円	千円	千円	64,337千円
実施箇所		木造公共施設整備 久万中学校武道場 (久万高原町) 公共施設内装木質化 岩松小学校、明倫 小学校(宇和島市) 木製屋外施設整備 神前公園、清水公 園(松山市) 小規模木造施設整備 すみれ野北公園、 味栗公園(松山市) 木の机等整備事業 広見中学校、小学 校5校(鬼北町)	木造公共施設整備 今治西部丘陵公園 管理棟(今治市) 新谷小学校校舎 (大洲市) 白浜小学校屋内運 動場(八幡浜市) 公共施設内装木質化 清満小学校、吉田 小学校(宇和島市) 小規模木造施設整備 八白公園(松山市) 木の机等整備事業 広見中学校、小学 校5校(鬼北町)				



今治西部丘陵公園管理棟



八幡浜市立白浜小学校屋内運動場

自然公園木製施設整備事業

県内の自然公園において、人と環境に優しい自然素材である木材を使用して、標識、木柵、階段などの公園利用施設を整備します。

1 ポイント

自然公園(瀬戸内海国立公園、足摺宇和海国立公園、石鎚国立公園、県立自然公園)等において、県内産木材を使用した公園利用施設を整備することにより、利用者の利便性・安全性の向上を図るとともに、自然とのふれあいの場を通じて、ゆとりと潤いのある県民生活の実現を図り、自然環境の保全に対する理解と関心を深めます。

2 事業内容

自然公園等において、間伐材を用いた標識、木柵等の施設を整備する。

事業主体 県(自然保護課)

公園名	箇所名	市町名	整備内容
石鎚国立公園	土小屋	久万高原町	木製標識
石鎚国立公園	成就社	西条市	木製標識
佐田岬半島宇和海県立自然公園	大崎鼻	西予市	木製標識
佐田岬半島宇和海県立自然公園	諏訪崎	八幡浜市	木製標識
四国カルスト県立自然公園	大野ヶ原	西予市	木製標識
四国のみち支4	四国カルストルート	西予市	木製標識
四国のみち環2	旧へんろみち・柏坂越えのみち	愛南町	木製標識

3 平成23年度実績額 4,534千円

木製標識



石鎚国立公園
土小屋(久万高原町)

木製標識



石鎚国立公園
成就社(西条市)

木製標識



佐田岬半島宇和海県立自然公園
大崎鼻(西予市)

木製標識



佐田岬半島宇和海県立自然公園
諏訪崎(八幡浜市)

木製標識



四国カルスト県立自然公園
大野ヶ原(西予市)

木製標識



四国のみち支4
四国カルストルート(西予市)

木をつかう活動

木製標識



四国のみち環 2

旧へんろみち・柏坂越えのみち（愛南町）

4 事業期間 平成 2 2 年度 ~ 平成 2 6 年度

5 全体計画

事業内容		H22	H23	H24	H25	H26	計
計 画	木材使用量	5m ³	5 m ³	5 m ³	5 m ³	5 m ³	25 m ³
	事業費	4,800 千円	5,000 千円	5,000 千円	5,000 千円	5,000 千円	24,800千円
	うち森林環境税	4,800 千円	5,000 千円	5,000 千円	5,000 千円	5,000 千円	24,800千円
実 績	木材使用量	7 m ³	5 m ³				12 m ³
	事業費	4,388 千円	4,534 千円				8,922千円
	うち森林環境税	4,388 千円	4,534 千円				8,922千円
実施箇所		瀬戸内海国立公園、足摺宇和海国立公園、奥道後玉川県立自然公園、四国カルスト県立自然公園、皿ヶ嶺連峰県立自然公園	石鎚国定公園、佐田岬半島宇和海県立自然公園、四国カルスト県立自然公園、四国のみち支 4、四国のみち環 2	足摺宇和海国立公園、四国カルスト県立自然公園他、四国のみち環 7、自然海浜保全地区	足摺宇和海国立公園、佐田岬半島宇和海県立自然公園、自然海浜保全地区	四国カルスト県立自然公園他、赤石山系県立自然環境保全地域、自然海浜保全地区	

木の香る公園施設整備事業

利用者に優しい木材を使用した公園施設の整備を進めていきます。

1 ポイント

「木をつかう」事業の一環として、県管理の都市公園において、休憩所やベンチなどの新たな施設を木製品で整備することにより、利用者が優しく暖かみを感じることができる公園の整備を進めるとともに、景観的にも周囲の樹木と調和した緑豊かな安らぎ空間を提供するものである。

県管理の都市公園

愛媛県総合運動公園（とべ動物園を含む）、道後公園、南予レクリエーション都市公園

2 事業内容

事業箇所 愛媛県総合運動公園（こども広場）
（松山市上野町）

施設概要 東屋施設 1式（ベンチ含む）

整備効果 年間 80 万人を越える来園者が訪れる愛媛県総合運動公園において、木製の東屋、ベンチの休憩施設を整備することにより、来園者に安らぎの空間を提供するとともに、公園の魅力向上させることとなる。

さまざまな人々が集い、ふれあいの場となる都市公園に間伐材を利用した施設を設置することは、木材に対する理解や関心を深めることになる。

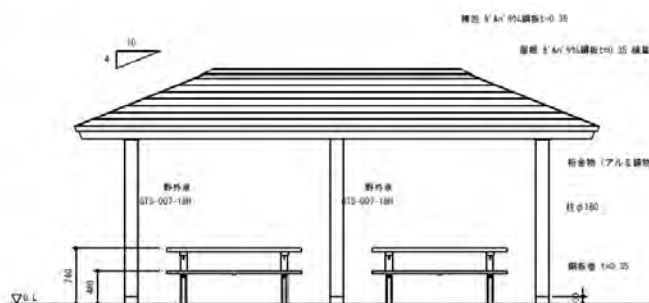
3 平成 23 年度実績

(1) 実績額 3,000 千円

(2) 実施内容

公園名・地区名	事業主体	事業内容	事業費	備考
愛媛県総合運動公園 こども広場	愛媛県	東屋施設 1式 (5.5m × 2.2m)	3,000 千円	
計			3,000 千円	

(3) 実施状況



施行箇所（施行前）

木をつかう活動



完 成



完 成

4 事業期間 平成 22 年度 ~ 平成 26 年度

5 全体計画

事業内容		H22	H23	H24	H25	H26	計
計 画	ふれあう人数	120,000人	30,000人	5,000人	104,000人	32,000人	291,000人
	事業費	5,000 千円	3,000 千円	3,000 千円	3,000 千円	2,560 千円	16,560千円
	うち森林環境税	5,000 千円	3,000 千円	3,000 千円	3,000 千円	2,560 千円	16,560千円
実 績	ふれあう人数	112,000人	34,000人	人	人	人	146,000人
	事業費	5,000 千円	3,000 千円	千円	千円	千円	8,000千円
	うち森林環境税	5,000 千円	3,000 千円	千円	千円	千円	8,000千円
実施箇所	とべ動物園 (かгал舎) 動物用日陰施設 1 式	県総合運動公園 (こども広場) 木製公園施設 1 式 (東屋 1基)	第1号南レク公園 (南楽園) 木製公園施設 1 式 (東屋 1基)	とべ動物園 (モウ-ウツ) 木製公園施設1式 (東屋 1基)	南レク公園 木製公園施設 1 式 (案内看板 1式)		

えひめ材住宅普及啓発事業

県産材や木材住宅の良さを普及啓発する相談窓口の開設・運営を支援するとともに、良質な県産材製品を無償で提供します。

1 ポイント

県産材や木造住宅の良さを普及啓発する相談窓口の開設・運営を支援するとともに、良質な県産材製品を無償で提供することにより、県民や県内企業が行う、住宅や民間施設等の木造・木質化を促進し、県産材の需要拡大を図り、木材利用による持続的な森林整備を推進します。

2 事業内容

(1) 木と暮らしの相談窓口開設支援事業

木造住宅や木材利用全般に関する相談窓口を開設し、県産材や木造住宅の良さを普及啓発する活動を支援する。

相談窓口の設置（常設） 研修会等の開催（設計・施工者向け） 出前木材利用相談窓口
見学会の開催（消費者向け） 住宅関係の情報発信（イベント出展、HP等） 木をつかう教育等の促進

(2) えひめ材の家づくり促進支援事業

住宅を建設する施主に対して、県産柱材を無償提供する。

提供柱材 1棟当り80本以内（184千円/棟）、年間支援棟数200棟

(3) 公共的スペース木材利用モデル事業

民間施設等の公共的スペースを対象として、モデル的な内装木質化や木造化を行う場合に、県産材製品を無償提供する。

提供県産材製品 1件当り1,000千円以内、年間提供件数3件

3 平成23年度実績

(1) 実績額 35,102千円

(2) 実施内容

木と暮らしの相談窓口の開設

- ・相談受付時間 9:00～17:00（休館日：日、祝日）
- ・木造住宅に関する専門相談
- ・現地見学会の開催

第1回 H23.6.11 第2回 H23.10.26 第3回 H23.11.26 第4回 H24.2.25

えひめ材の家づくり促進支援事業

- ・木造住宅を建設する施主に対して、県産柱材80本を無償提供した。（150棟）

公共的スペース木材利用モデル事業

- ・民間施設の公共的スペースを対象として県産材製品を無償提供し、施設の木質化を図った。

施設名	所在地	実施内容	木材使用量	補助金額
J R 菊間駅	今治市菊間町浜	休憩スペースの内装木質化	3.4m ³	1,000千円
クールスモール	東温市見奈良	施設の内装木質化	4.4m ³	1,000千円
きなはいや城川	西予市城川町下相	施設の内装木質化	3.9m ³	1,000千円
計			11.7m ³	3,000千円

木をつかう活動

(3) 実施状況



えひめ材の家づくり促進支援事業



公共的スペース木材利用モデル事業

4 事業期間 平成22年度 ~ 平成26年度

5 全体計画

事業内容		H22	H23	H24	H25	H26	計
計画	相談窓口相談件数	600	600	600	600	600	3,000
	柱材提供件数	200	200	300	300	300	1,300
	公共的スペース 製品提供件数	5	3	2	2	2	14
	事業費	46,800千円	44,730千円	62,970千円	62,970千円	62,970千円	280,440千円
	うち森林環境税	46,800千円	44,730千円	62,970千円	62,970千円	62,970千円	280,440千円
実績	相談窓口相談件数	947	961				1,908
	柱材提供件数	200	150				350
	公共的スペース 製品提供件数	5	3				8
	事業費	45,981千円	35,102千円	千円	千円	千円	81,083千円
	うち森林環境税	45,981千円	35,102千円	千円	千円	千円	81,083千円
実施箇所 (公共的スペース製品提供)	ほんからどん どん(今治市) ぎんこい市場 (松山市) フジゲラ重信 (東温市) 京の森(内子 町) 広見森の三角 ぼうし(鬼北 町)	JR 菊間駅(今 治市) クールスマー ル(東温市) きなはいや城 川(西予市)					

愛媛ヒノキ材ブランド化推進事業

愛媛県産ヒノキに関する品質向上試験や協議会による技術普及を行い、ブランド化を推進します。

1 ポイント

全国一の生産量を誇る愛媛県産のヒノキを使用した柱や梁・桁等の横架材について一定以上の品質・性能を有する製品を安定的に生産する技術開発を行うとともに、関係業界に普及することにより生産・流通体制を確立し、将来的に愛媛ブランドとして本県ヒノキ材の信頼性の向上と差別化を図り、県産材の消費拡大による林業振興とそれに伴う森林整備の促進を推進します。

2 事業内容

- (1) 林業研究センターにおけるブランド化に向けた技術開発
- (2) 愛媛ヒノキ材ブランド化推進協議会の運営
- (3) 県による普及啓発等の支援
ブランド化に向けた普及啓発や技術研修・指導の実施、生産加工施設の導入支援

実施機関	愛媛県林業研究センター		愛媛ヒノキ材ブランド化推進協議会
項目	ブランド化に向けた技術開発		ブランド化に向けた生産・流通体制整備の確立
年度	新製品(横架材等)	製材品(柱材等)	
H21	新製品開発 (製材試験)	品質向上試験 (製材・乾燥試験)	協議会の開催 (品質基準・生産流通体制整備協議) ↓ 業界対象研修会の開催 (東・中・南予1回)
H22	新製品開発 (乾燥試験)	品質向上試験 (強度試験) ↓ マニュアル作成	↓ 柱材の品質基準の作成・生産
H23	新製品開発 (強度試験) ↓ マニュアル作成	↓ ブランド材生産に向けた生産技術指針	↓ 新製品の品質基準・生産
	↓ ブランド材生産に向けた技術指針の作成		

3 平成23年度実績額

- (1) 実績額 1,959 千円

木をつかう活動

(2) 実施状況



愛媛ヒノキ材ブランド化推進事業研修会

4 事業期間

平成 22 年度 ~ 平成 23 年度

5 全体計画

事業内容		H22	H23	H24	H25	H26	計
計画	県民参加人数	90	90				180
	事業費	2,340千円	2,050千円				4,390千円
	うち森林環境税	2,340千円	2,050千円				4,390千円
実績	県民参加人数	67	60				127
	事業費	2,251千円	1,959千円				4,210千円
	うち森林環境税	2,251千円	1,959千円				4,210千円
実施箇所		県内一円	県内一円				

原木乾しいたけ等生産促進事業

里山に造成されたクヌギ等の豊富な広葉樹をしいたけ等の原木として有効に循環利用するため、しいたけ等の生産者を育成するとともに、新植ほだ木生産や施設整備経費を支援し、しいたけ等の生産振興による山村の活性化と広葉樹林の整備を促進します。

1 ポイント

原木しいたけ等の生産に関心のある方や既存生産者を対象に、生産技術講習会等を開催し、生産者の育成を図ります。

また、生産者の方を対象に、原木の導入経費や、生産・加工施設の整備に要する経費に対し支援を行っています。

2 事業内容

(1) 原木しいたけ生産者育成対策事業	<ul style="list-style-type: none"> ・原木しいたけ新規生産者技術講習会・生産実習（年6回開催） ・原木しいたけ生産技術向上研修会（年6回開催） ・原木しいたけ流通販売対策講座（年1回開催）
(2) 原木乾しいたけ等生産拡大支援事業	<p>原木生産拡大支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新植ほだ木本数を1,000本以上新規生産又は拡大する生産者に対する支援。（補助金上限額250千円） <ul style="list-style-type: none"> ・新植ほだ木100本当たり5,000円以内（しいたけ） ・新植ほだ木100本当たり3,000円以内（しいたけ以外） <p>原木乾しいたけ等生産・加工施設整備支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原木生産拡大支援事業の助成を受ける者又は過去3年間、平均2,000本/年以上ほだ木を更新している既存生産者が原木乾しいたけ等の生産・加工施設整備を行う場合、その整備に要する経費を支援（補助金上限額250千円） <ul style="list-style-type: none"> ・乾燥機、スライサー、散水施設、植菌機、防風施設、人工ほだ場の整備に係る経費の1/3以内

3 平成23年度実績

(1) 実績額 22,948千円

事業区分	事業実績額（千円）
(1) 原木しいたけ生産者育成対策事業	360
(2) 原木乾しいたけ等生産拡大支援事業	22,588
計	22,948

(2) 実施内容

(1) 原木しいたけ生産者育成対策事業	<ul style="list-style-type: none"> ・原木しいたけ新規生産者技術講習会・生産実習 生産に関する基礎的な知識や技術、経営等について年6回開催 ・原木しいたけ生産技術向上研修会 品質の向上や単位収量を増やすための生産技術等に関する研修会を年6回開催 ・原木しいたけ流通販売対策講座 品質の管理・向上、食の安全・安心といった消費者ニーズに対応するための講座を開催
(2) 原木乾しいたけ等生産拡大支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・原木生産拡大支援事業 新植ほだ木 ・原木乾しいたけ等生産・加工施設整備支援事業 乾燥機、散水施設、防風施設、スライサー等

木をつかう活動

(3) 実施状況



原木しいたけ新規生産者技術講習会



原木しいたけ新規生産者生産実習



原木乾しいたけ等生産拡大支援事業で整備した人工ほだ場



原木しいたけ生産技術向上研修会

4 事業期間 平成22年度～平成26年度

5 全体計画

事業内容		H22	H23	H24	H25	H26	計
計画	木とふれあう人数 (新規生産者講習・ 実習受講者)	200人	200人	200人	200人	200人	1,000人
	木材使用量	2,300m ³	2,300m ³	2,300m ³	2,300m ³	2,300m ³	11,500m ³
	事業費	28,760千円	22,960千円	24,600千円	22,960千円	22,960千円	122,240千円
	うち森林環境税	28,760千円	22,960千円	24,600千円	22,960千円	22,960千円	122,240千円
実績	木とふれあう人数 (新規生産者講習・ 実習受講者)	211人	672人				883人
	木材使用量	3,600m ³	1,850m ³				5,450m ³
	事業費	28,734千円	22,948千円	千円	千円	千円	51,682千円
	うち森林環境税	28,734千円	22,948千円	千円	千円	千円	51,682千円
実施箇所	えひめ森林公園 愛媛県森林組合連 合会中野事業所 ほか	えひめ森林公園 愛媛県森林組合連 合会中野事業所 ほか					

愛媛県産材製品市場開拓促進事業

信頼性のある県産材の販売体制整備や大消費地での市場開拓と新たな商品・利用方法の開発に対する支援を行い、県産材の需要拡大を通じ、林業経営の安定と森林整備を推進します。

1 ポイント

愛媛県産材製品市場開拓協議会が行う3大都市圏等の大消費地における販路拡大を支援するとともに、民間企業等が行う新たな商品や利用方法の開発を支援し、県産材の需要拡大を促進する。

2 事業内容

【市場開拓協議会 実施事業】

(1) 販売体制整備事業

3大都市圏等における大手商社・住宅メーカー等に対するセールス等の実施
県産材製品の共同出荷・販売の体制整備

(2) 市場開拓推進事業

国内最大の消費地である首都圏における新たな取引を開始する際に、中京・関西圏までの輸送コストと比べて割高となる経費に対する支援を行い、本県から首都圏までの輸送コストを中京圏と同程度の競争条件とし、県産材の販路拡大を図る。

製品 1 m³ 当たり補助単価 1年目:2,000 円/m³、2年目:1,000 円/m³、3年目:補助終了(自立)

【民間企業等 実施事業】

(3) 新たな県産材利用促進事業

民間企業等のアイデアを活かした新たな県産材利用商品や利用方法の開発を支援
(製材製品以外の商品等を対象)
1件当たり1,000千円以内の補助

【愛媛県 実施事業】

(4) 愛媛県産材フェア開催事業

首都圏の大手商社、住宅メーカー等と県内製材工場等との商談会を開催し、知事トップセールスを実施

日 時：平成23年11月15日 11:30~16:30

場 所：東京都江東区新木場「木材会館」

参集者：首都圏所在の木材需要者(68社112名)

3 平成23年度実績

(1) 実績額 16,979千円

(2) 実施内容

販売体制整備事業

- ・愛媛県産材フェアを開催し商談会を実施した。(68社112名)(平成23年11月15日開催)
- ・首都圏等の木材需要者に対し営業活動を実施した。

市場開拓促進事業

- ・協議会の会員により、首都圏における住宅メ-カ-等に対して、新規に県産材の取引を開始した。

取引量	1年目	5,956m ³ (うち補助対象4,215m ³)	補助金額	8,430千円
取引量	2年目	1,570m ³ (うち補助対象1,570m ³)	補助金額	1,570千円
合計		7,526m ³ (うち補助対象5,785m ³)	補助金額	10,000千円

木をつかう活動

新たな県産材利用促進事業

・民間企業等において県産材を利用した新たな商品開発を行った。

事業主体	実施内容	補助金額
瓜守材木店(株)	小・中学校向け天板の開発(低コストでの接着・コーティング技術の開発)	390千円
河野興産(株)	福祉向けPET天板テーブルの試作	400千円
(株)大五木材	スギ・ヒノキ・みかん・広葉樹などを卵型やリング型に整形した木育用ツール「森の木たまご(仮称)」の開発	620千円
合同会社久万郷	スギ板材を使用した一本箸の開発及びオリジナルパッケージの作成。	260千円
(有)官材単板工業	単版(ツキ板)を利用した合板・壁紙・うちわ等木製品の開発	330千円
計		2,000千円

(3) 実施状況



知事トップセールス



愛媛ブランド材展示

「愛媛県産材フェア開催事業・販売体制整備事業」

4 事業期間 平成22年度 ~ 平成26年度

5 全体計画

事業内容		H22	H23	H24	H25	H26	計
計画	市場開拓を支援する製品材積	2,000m ³	6,000m ³	11,000m ³	14,000m ³	7,000m ³	40,000m ³
	新たな県産材利用件数	2	2	2	2	2	10
	事業費	7,860千円	17,000千円	25,500千円	28,000千円	11,240千円	89,600千円
	うち森林環境税	7,860千円	17,000千円	25,500千円	28,000千円	11,240千円	89,600千円
実績	市場開拓を支援する製品材積	3,598m ³ (1,865m ³)	7,526m ³ (5,785m ³)				11,124m ³ (7,650m ³)
	新たな県産材利用件数	4	5				9
	事業費	7,305千円	16,979千円	千円	千円	千円	24,284千円
	うち森林環境税	7,305千円	16,979千円	千円	千円	千円	24,284千円

実績の()は補助対象分で内数

駐在所等庁舎整備事業(一部森林環境税事業)

人と環境に優しい自然素材である木材を利用して、地域の治安環境を確保するため、老朽・狭隘化した交番を新築整備します。

1 ポイント

交番・駐在所は、地域の治安環境を確保することが必要不可欠であることから、警察事象の複雑化、多様化に対応できるよう、老朽・狭隘化が著しい施設の整備を進め、併せて木材のぬくもりにふれることにより地域住民に気軽に利用される施設を目指します。

2 事業内容

交番・駐在所名	施設名	整備概要
四国中央警察署 港交番	交番庁舎	(新築) 木造平屋建 89.43m ² 事務室、相談室、OA室、仮眠室ほか整備

3 平成23年度実績

(1) 実績額 3,000千円(全体事業費29,508千円)

(2) 実施状況

四国中央署港交番



完成



県産材の使用状況(建築中の状況)

4 事業期間 平成22年度～平成23年度

5 全体計画

事業内容		H22	H23	H24	H25	H26	計
計画	ふれあう人数	5,400人	1,000人	人	人	人	6,400人
	事業費	107,089千円	29,973千円	千円	千円	千円	137,062千円
	うち森林環境税	24,000千円	3,000千円	千円	千円	千円	27,000千円
実績	ふれあう人数	5,500人	1,800人				7,300人
	事業費	98,513千円	30,303千円				128,816千円
	うち森林環境税	24,000千円	3,000千円				27,000千円
実施箇所		新居浜警察署駅前交番 新居浜警察署大生院駐在所 八幡浜警察署水上交番	四国中央警察署港交番				

H22 実績事業費には、H23 年度への繰越を含む。H23 実績事業費には、H22 からの繰越の一部を含む。

県立学校校舎等整備事業（一部森林環境税事業）

校舎等の耐震化の推進に重点をおき、緊急性、必要性を勘案しながら、計画的に整備し、生徒に木材の良さとぬくもりを感じてもらうことを目的としています。

1 ポイント

東南海・南海地震の発生が予測されている中、生徒の安全確保を図るため、旧耐震基準で建築された校舎等を対象に整備を進め、併せて木材のぬくもりにふれることによる情操教育を進めます。

3階建て以上のものはRC造としますが、内装の木質化を図ります。

2 事業内容

学校名	施設名	整備概要
新居浜東高等学校ほか 2校	部室	(改築) 新居浜東：W造1階、162㎡ 新居浜南：W造1階、36㎡ 小田：W造1階、54㎡

3 平成23年度実績

(1) 実績額 8,000千円(全体事業費 40,934千円)

(2) 実施状況



新居浜東高等学校 部室



小田高等学校 部室



4 事業期間

平成22年度 ~ 平成26年度

5 全体計画

事業内容		H22	H23	H24	H25	H26	計
計画	ふれあう人数	4,300人	6,700人	8,100人	9,500人	10,900人	39,500人
	事業費	1,377,063千円	46,051千円	575,855千円	千円	千円	1,998,969千円
	うち森林環境税	16,000千円	8,000千円	8,000千円	8,000千円	8,000千円	48,000千円
実績	ふれあう人数	1,989人	3,029人	人	人	人	5,018人
	事業費	607,468千円	40,934千円	千円	千円	千円	648,402千円
	うち森林環境税	16,000千円	8,000千円	千円	千円	千円	24,000千円
実施箇所		(校舎) 今治工業 (部室) 川之江、新居浜商業、西条、小松、松山東、上浮穴、伊予農業、八幡浜工業、野村、北宇和、津島、南宇和	(部室) 新居浜東、新居浜南、小田	(校舎) みなら特別支援			

県民と森との交流促進事業

森林ボランティア活動をはじめとする県民の皆様の森林を利活用する活動の支援など、森林の積極的な利活用を促進します。

1 ポイント

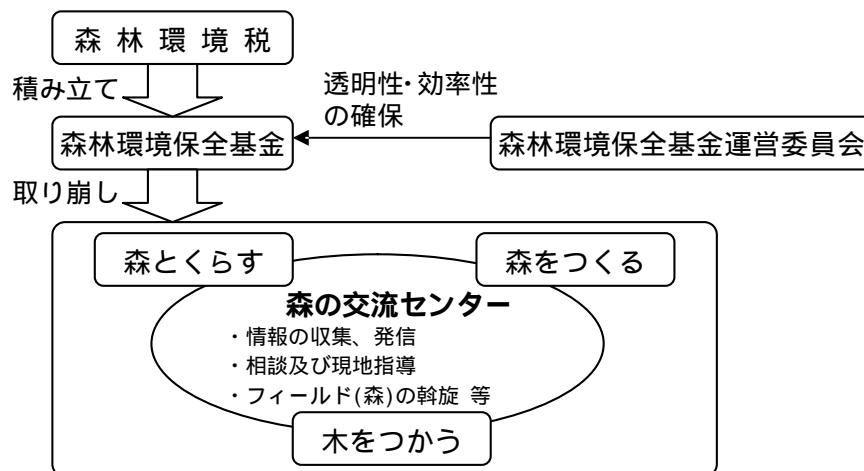
森林の利活用促進を図るため、愛媛県森の交流センターを拠点として、森林の利活用に役立つ様々な情報提供をはじめ、個別の相談や現地での指導といった支援を積極的に行うとともに、決定したロゴマークや啓発用ポスター原画の活用等により、森林を利活用する活動への参加に向けた、県民の関心を喚起しています。

また、平成16年11月に制定した「えひめ山の日」を普及啓発するため、「えひめ山の日集い」を開催しています。

加えて、森林環境税を財源とした事業について、適切な実施と透明性の確保を図るため、愛媛県森林環境保全基金運営委員会を開催し、事業の調査・審議を行います。

また、県民が手軽に森林ボランティア活動に参加できるよう、愛媛県森の交流センター及び各地方局において森林ボランティア活動機械等の整備を行います。

2 事業イメージ



3 平成23年度実績

(1) 実績額 13,225千円

(2) 事業内容

(1) 県民と森との交流促進	愛媛県森の交流センターの運営 ・森林の利活用に関する情報の収集と発信 ・森林ボランティア活動等に関する相談及び現地指導 ・森林利活用活動のためのフィールド(森)の斡旋等
(2) 愛媛県森林環境保全基金運営委員会の運営	【委員会の概要】 森林環境税を財源とした事業について、調査・審議を行うため、委員10名からなる愛媛県森林環境保全基金運営委員会を開催。
(3) 森林環境税啓発事業	森林環境税の制度内容及び実施事業について、広く県民に普及啓発するため、新聞への広告掲載や普及啓発冊子等を作成し配布。
(4) 「えひめ山の日集い」開催事業	「えひめ山の日」を普及啓発するシンボル事業として、久万高原町において「森を歩く」をテーマに「えひめ山の日集い」を開催。 【開催日】平成23年11月6日(日) 【開催場所】式典、森の音楽会：久万高原町産業文化会館 分科会：皿ヶ嶺ほか
(5) 森林ボランティア活動機械等の整備	森林ボランティア団体等が安全で手軽にボランティアを実施できるよう、愛媛県森の交流センター及び各地方局において、森林ボランティア活動機械等を整備。

森とくらす活動

(3) 実施状況

愛媛県森の交流センターの運営

愛媛県森の交流センターは、森林環境税の導入目的である「森林環境の保全」と「森林と共生する文化の創造」を実現するため、森づくりを行う市民グループや団体間の人的交流や情報の発信を行い、森林・林業等にかかわる情報の提供、あるいは森林所有者等による森づくりを行う拠点として、平成17年度に東温市田窪に設置した施設であり、以下の業務を行いました。

ア 組織

県庁農林水産部森林局森林整備課保護緑化係に属し、担当係長、担当職員、森との交流相談員(2名)の4名

イ 業務内容

- (ア) 森林ボランティア、NPO、森づくりを行う市民グループ等の活動を支援するため、指導者又は指導機関の斡旋、紹介や技術指導を行いました。
- (イ) 森林・林業・木材業にかかる情報について、正しい情報と的確な技術の提供・伝達や国・県・市・町が行うイベントや研修、学習会等の普及広報を行いました。
- (ウ) 県民参加の森づくりを推進するため、森林所有者から活動フィールドの提供を受けて、活動を希望する団体にフィールドの斡旋を行いました。
- (エ) その他、県民参加による森林との共生文化の創造に関して、森林環境税を活用した事業の実施や、県下で活動される団体の組織、活動内容等を情報として発信するなど、団体相互の交流を支援しました。

愛媛県森林環境保全基金運営委員会の運営

愛媛県森林環境保全基金運営委員会の開催

任 期：平成23年4月1日～平成25年3月31日(2年間)

内 容：事業の透明性・公平性を確保するため、県指定事業及び公募事業の調査・審議を実施。

開催状況：

委員会開催(H23.7.14)	<ul style="list-style-type: none">・ H22 森林環境保全基金事業の実績について・ H23 森林環境保全基金県指定事業について
委員会開催(H24.3.21)	<ul style="list-style-type: none">・ H23 森林環境保全基金事業の実施状況について・ H24 森林環境保全基金県指定事業について・ H24 森林環境保全基金公募事業の審査について

森林環境税啓発事業

森林環境税の用途を広く県民にPRするため、森林環境税活用事業の取り組み状況について新聞広告を2回掲載するとともに、普及啓発用チラシを作成しました。

「えひめ山の日の集い」の開催

ア 式典

県内から約 450 名の参加を得て、表彰行事や森の音楽会を盛大に開催しました。

時間	次第	内容	出演者等
9:50	オープニングセレモニー 「森への誘い」	森の映像とアイリッシュハーブ演奏	映像：秋本 栄 演奏：仙波美智子
10:00	式典 主催者あいさつ 歓迎のあいさつ CO ₂ 吸収証書授与 森の名手・名人認定証伝達 緑の募金感謝状贈呈	生活協同組合コープえひめ、太陽石油(株)へ授与 名手・名人 5 名へ伝達 アサヒ・(株)ほか 9 企業へ贈呈	副知事（知事代理） 久万高原町長 副知事（知事代理） 森林局長（理事長代理） 〃
11:00	森の音楽会	弦楽四重奏 ミニコンサート スタジオジブリの歌がいっぱい	アーク弦楽四重奏団 井上あずみ
12:15	閉会		

イ 分科会

「森を歩く」をテーマに、3つの森林づくり関連活動を行いました。

時間	内容	場所	内容
13:30	分科会～森を歩く～ 皿ヶ嶺トレッキング 自然観察会 親子木工教室	皿ヶ嶺 竜神平周辺 久万高原町直瀬 古岩屋荘周辺 久万高原町上野尻 笛ヶ滝公園スパーク久万	上畑野川～竜神平～上林森林公園までをトレッキング 下畑野川～（遍路道）～古岩屋荘まで自然観察しながら散策 愛媛県産材で小物棚や本棚等を作成

【式典】



エントランス パネル展示



CO2 吸収証書授与



森の音楽会

【分科会】



皿ヶ嶺トレッキング



自然観察会



親子木工教室

森林ボランティア活動機械等の整備

森林ボランティア団体等が安全で手軽にボランティアを実施できるよう、各地方局単位に設置しているボランティア活動器具を整備し、要望に応じて貸し出しました。

整備器具	数量	整備場所
鎌、ノコ、ヘルメット等	1式	中予地方局
刈払機	2	

4 事業期間 平成22年度～平成26年度

5 全体計画

事業内容		H22	H23	H24	H25	H26	計
計画	森の交流センター 相談件数	9,000件	9,000件	9,000件	9,000件	9,000件	45,000件
	「えひめ山の日の 集い」参加者数	500人	500人	500人	500人	500人	2,500人
	事業費	19,848千円	16,042千円	13,939千円	14,406千円	14,406千円	78,641千円
	うち森林環境税	19,848千円	16,042千円	13,939千円	14,406千円	14,406千円	78,641千円
実績	森の交流センター 相談件数	1,668件	1,634件				3,302件
	「えひめ山の日の 集い」参加者数	350人	450人				800人
	事業費	14,582千円	13,225千円				27,807千円
	うち森林環境税	14,582千円	13,225千円				27,807千円

県民参加の森設置・提供事業

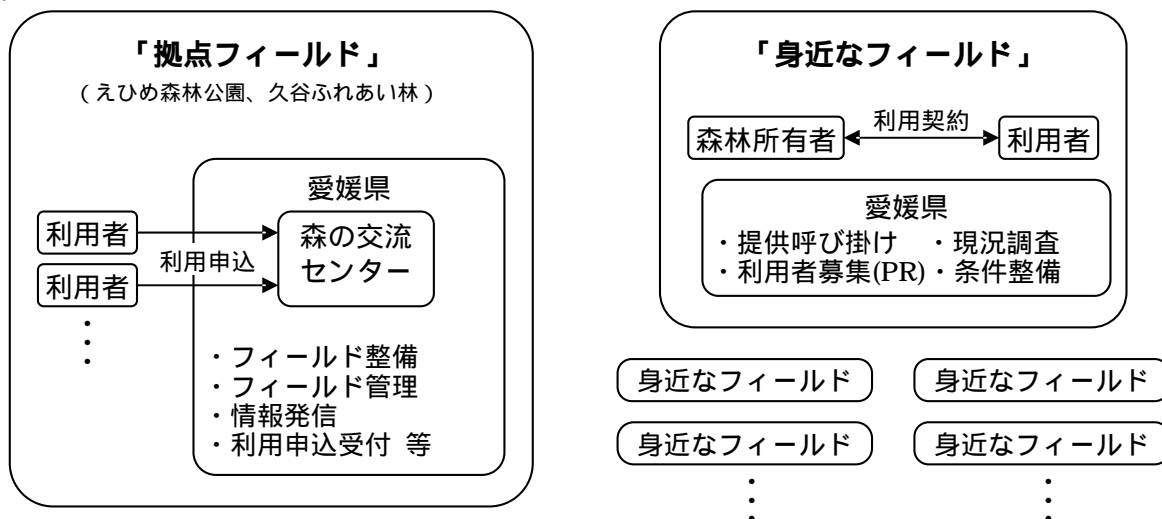
県民の皆様が、手軽に森林ボランティアなどの森林を利活用する活動に参加できるようにするため、そのフィールドとなる森林を整備し、活用の場として提供します。

1 ポイント

手入れが行き届かず、荒廃した森林の再生を図るため、県民が手軽に、また身近に利活用できる森林を整備し提供することで、森林ボランティア活動などによる身近な山の手入れを可能にするとともに、こうした活動を通じて、県民の森林の大切さに対する意識高揚を図っています。

2 事業内容

・事業イメージ



3 平成23年度実績

(1) 実績額 15,340千円

(2) 実施内容

<p>県民参加の「拠点フィールド」設置事業</p>	<p>【整備概要】 県民参加の森において、本数調整伐 4.21ha（砥部町側）地拵え 0.17ha、下刈 2.9ha、管理道・作業歩道の整備（ウッドブロック積工、木製路面排水工、丸太階段工など）（伊予市側）を行った。</p> <p>【利用方法】 「森の交流センター」を窓口として、森林ボランティア活動等を希望する団体からの申込を受け付け、活動の場を提供。</p> <p>【面積】 県民参加の森：52.83ha、久谷ふれあい林：12.77ha</p>
<p>県民参加の「身近なフィールド」提供事業</p>	<p>【概要】 県は森林所有者へ森林の提供を呼びかけ、候補森林の現況調査や提供可能な森林の情報発信を行い、活動を希望する団体や企業等へ斡旋するとともに、企業によるCSR活動としての森林づくり活動を側面から支援するために、作業道開設や今後の活動を助長する林内整備を行った。 東温市の松瀬川において、間伐 2.28ha、作業道開設 671.1m を実施。</p> <p>【登録件数】 平成 23 年度末累計 67 件、1,485.24ha</p>

拠点フィールド



アクセス等

県民参加の森
住所：愛媛県伊予市上三谷
「えひめ森林公園」内

アクセス：

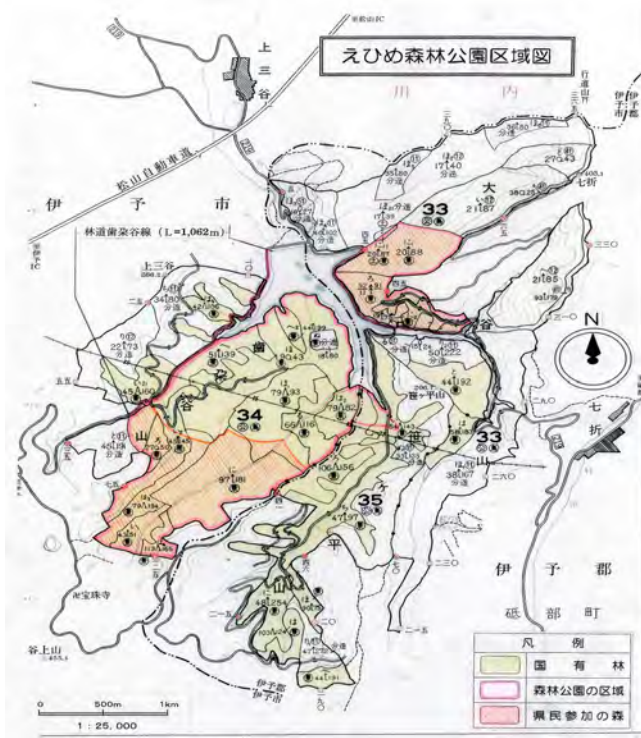
- ・伊予市方面のR 5 6 から県道伊予川内線へ、案内標識を右折
- ・R 3 3 砥部町拾町交差点から県道伊予川内線へ、案内標識を右折
- ・J R いよ横田駅から徒歩 1 時間

久谷ふれあい林

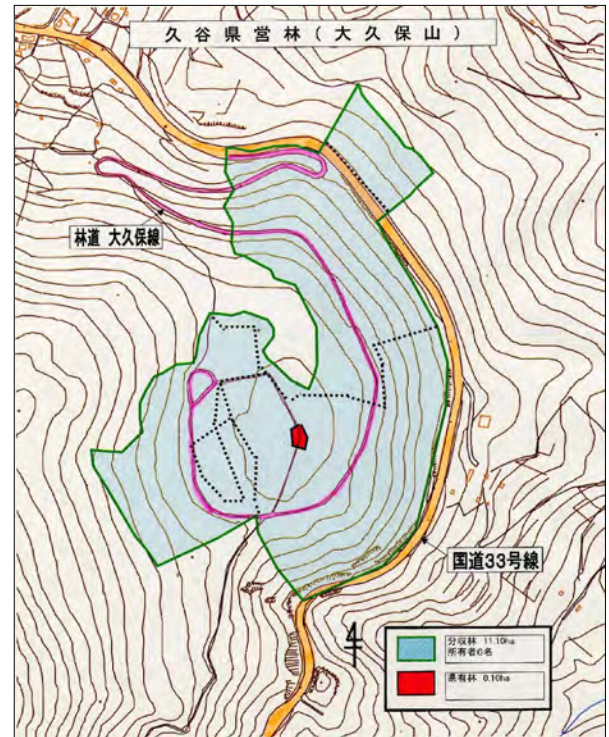
住所：愛媛県松山市久谷町

アクセス：

- ・松山市内から R 3 3 で久万高原町方面へ、大久保坂付近



「県民参加の森」は、えひめ森林公園に隣接する国営林 5 2 . 8 3 ha を借り受け、森林ボランティア活動を実施する団体の「拠点フィールド」として、管理道、歩道等の整備を行っています。なお、活動に必要な機材、器具類の貸し出しもえひめ森林公園管理棟で行っていますので御利用ください。



「久谷ふれあい林」は、昭和 4 1 年に本県で開催された「第 1 7 回全国植樹祭」の会場であり、平成 1 8 年度から「拠点フィールド」として間伐や管理道改良等の整備を進めております。平成 2 0 年 1 0 月 2 5 日には、本県で開催された「第 3 2 回全国育樹祭」において、昭和天皇・香淳皇后がお手植えされたスギに、皇太子殿下による「お手入れ」が行われました。

森とくらす活動

拠点フィールド及び身近なフィールド

番号	登録年度	名称	所有者	所在地	面積(ha)	樹種	利活用団体	利用人数	「企業の森づくりの」の名称
1	17	横谷山	市	松山市	0.60	ケヤキ、伐採跡地			
2	17	豊岡山	町	松野町	1.51	広葉樹(一部クスギ)			
3	17	横吹森林公園	団体	鬼北町	3.12	スギ、ヒノキ、マツ			
4	17	加茂川水源の森1	個人	西条市	0.49	スギ、ヒノキ(クスギ、ケヤキ)	石鎚水源の森くらぶ	281	
5	17	加茂川水源の森2	個人	西条市	2.60	スギ、ヒノキ(ケヤキ、ヤマザクラ)			
6	17	若山	市	八幡浜市	21.42	スギ、ヒノキ、その他広葉樹			
7	17	田処山	個人	大洲市	0.97	ヒノキ			
8	17	三滝溪谷林	市	西予市	0.16	ヒノキ			
9	17	ぶくさの森	個人	東温市	1.87	スギ、ヒノキ、タケ、サカキ			
10	17	黒谷2号	県	西条市	5.63	ヒノキ、クスギ、マツ			
11	17	久谷ふれあい林	県	松山市	12.77	スギ、ヒノキ	アパビ-ル(株) 木っと根っとワーク 農林水産部「アパビ」推進グループ アパビ-ル(株) 森の案内人会 愛媛県森林「アパビ」連絡協議会	56 18 100 47 64 41	(拠点フィールド) アパビ-ル感謝の森
12	17	横谷	県	松山市	38.16	スギ、ヒノキ			
13	17	松瀬川2号	県	東温市	77.86	スギ、ヒノキ			
14	17	御横1号	県	宇和島市	463.74	スギ、ヒノキ			
15	17	御横2号	県	宇和島市	0.80	ヒノキ			
16	17	県民参加の森	国(県)	伊予市他	52.83	スギ、ヒノキ、広葉樹	愛媛新聞社地域読者局 愛媛新聞社地域読者局 愛媛新聞社地域読者局	20 20 60	(拠点フィールド)
17	17	塩ヶ森ふるさと公園	市	東温市	1.23	モミジ、サクラ、ヒノキ			
18	17	黒岩山公園	市	宇和島市	1.05	ケヤキ等広葉樹	滑床千年の森をつくる会	24	
19	17	深山	財産区	西予市	1.74	ヤマザクラ等広葉樹			
20	17	千疋山	市	今治市	0.98	モミジ等広葉樹			
21	18	籠王山	市	西条市	3.30	ヒノキ、ザツ			
22	18	小松山	市	西条市	2.40	ヒノキ、クスギ			
23	18	湯谷口山1	個人	西条市	0.17	竹			
24	18	湯谷口山2	個人	西条市	0.16	竹			
25	18	藤野山	個人	松山市	0.51	竹(砂坊竹)			
26	18	旧林業試験場山	県	東温市	2.58	スギ、ヒノキ、マツ			
27	19	奈良原山	団体	今治市	24.83	広葉樹	奈良原山を育む会	71	
28	19	長岡山公園	県	内子町	5.14	スギ、ヒノキ、マツ、広葉樹	内子町城廻自治会	30	
29	19	宅並山	団体	松山市	1.07	広葉樹			
30	19	今治共有山	市	今治市	177.08	スギ、ヒノキ、マツ、広葉樹	太陽石油㈱	45	今治市 太陽が育む森
31	19	宮内財産区	市	八幡浜市	113.47	スギ、ヒノキ、マツ、広葉樹			
32	19	西条市有林	市	西条市	49.78	スギ、ヒノキ、マツ、広葉樹			
33	20	森の交流センター	県	東温市	5.20	広葉樹、針葉樹	園内森林「アパビ」活動	322	
34	20	大洲市有林	市	大洲市	12.04	広葉樹、針葉樹			
35	20	今治市玉川町鈍川	市	今治市	244.88	広葉樹、針葉樹	生活協同組合コープえひめ	112	伊予銀行「E-グリーン」の森 コープえひめ未来の森
36	21	下川町	市	四国中央市	1.35	広葉樹(雑・草地)			
37	21	寒川山	個人	四国中央市	2.33	スギ、ヒノキ			
38	21	川滝町	個人	四国中央市	0.68	マダケ			
39	21	別子山	市	新居浜市	6.60	スギ、ヒノキ			
40	21	船本	団体	新居浜市	1.39	ヒノキ			
41	21	鈍川神子森園	市	今治市	7.64	スギ、ヒノキ、その他広葉樹			
42	21	法界寺	団体	今治市	1.35	クスギ他			
43	21	久万1	町	久万高原町	0.38	サクラ			
44	21	久万2	町	久万高原町	4.46	イチヨウ他4種			
45	21	菅生1	町	久万高原町	0.63	ヤマザクラ他広葉樹			
46	21	菅生2	町	久万高原町	2.37	広葉樹			
47	21	東明神	町	久万高原町	1.02	スギ、トチ、ヤマザクラ、ケヤキ			
48	21	下畑野川	町	久万高原町	1.02	サクラ、モミジ	(社)愛媛県空調衛生設備業協会	25	水と空気の愛の森
49	21	直瀬1	町	久万高原町	0.32	クスギ、コナラ、ケヤキ			
50	21	直瀬2	町	久万高原町	2.56	クスギ			
51	21	直瀬3	町	久万高原町	0.40	ヤマザクラ、イロハモミジ			水と空気の愛の森
52	21	中津	町	久万高原町	5.12	サクラ他広葉樹			
53	21	緑	町	愛南町	2.46	スギ、ヒノキ			
54	21	僧都1	町	愛南町	10.57	ヒノキ			
55	21	僧都2	町	愛南町	18.00	ヒノキ			
56	21	南川	市	西条市	44.87	ヒノキ、松、雑			
57	21	上灘	県	伊予市	21.21	スギ、ヒノキ、雑			
58	21	北只	市	大洲市	1.15	スギ、ヒノキ			
59	21	椎ノ森	市	大洲市	5.26	ヒノキ、竹、桜、雑	木っと根っとワーク	15	
60	21	中川	町	内子町	56.55	スギ、ヒノキ			
61	21	食場町	市	松山市	1.50	スギ、ヒノキ			
62	21	東温河之内	市	東温市	0.60	スギ			
63	21	砥部川登	町	砥部町	7.00	杉、竹等広葉樹10種			
64	21	青波町	個人	松山市	1.10	ヒノキ、杉 他			
65	21	福見川町	個人	松山市	2.76	スギ、ヒノキ			
66	21	米野町	個人	松山市	2.00	スギ、ヒノキ			
67	22	菅生・久万	会社	久万高原町	2.31	ヒノキ、スギ、杉・竹			
68	22	直瀬(加藤)	個人	久万高原町	1.33	雑木・松・杉・ヒノキ・竹			
69	22	中島(南)	個人	松山市	0.41	その他広葉樹			
					1,550.84			1,351	

企業の森づくり推進

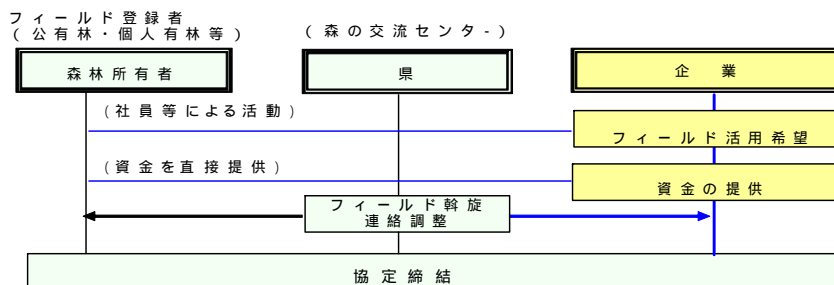
「企業の森づくり」森林づくり活動協定の実績

番号	企業名及び協定名	森林所有者・場所	協定締結者	協定期間
1	太陽石油(株) 「今治市 太陽が育む森」 1期(協定締結日 平成19年8月22日) 2期(協定締結日 平成22年3月25日)	今治市市有林 41.80ha	3者(タイプA) 太陽石油, 市, 県(斡旋)	3年間 1期 19年8月22日 ~22年3月31日 2期 22年4月1日 ~25年3月31日
2	アサヒビール(株) 1期「アサヒビール ^{ほのぼの} 生命の森」 (協定締結日 平成20年3月10日) 2期「アサヒビール感謝の森」 (協定締結日 平成23年5月25日)	1期 西条市市有林 49.78ha 2期 愛媛県 久谷ふれあい林 12.67ha	1期 4者(タイプB) アサヒビール, 愛媛の森林基金, 市, 県(斡旋) 2期 3者(タイプA) アサヒビール, 愛媛の森林基金, 県	3年間 1期 20年3月10日 ~23年3月31日 2期 23年5月25日 ~26年3月31日
3	(株)愛媛銀行 「愛媛銀行ecHoの森」 (協定締結日 平成20年3月10日)	愛媛県県有林横谷事業所 38.16ha	3者(タイプB) 愛媛銀行, 愛媛の森林基金, 県(森林所有者)	5年間 20年4月1日 ~25年3月31日
4	愛媛トヨペット(株) 「愛媛トヨペットの森」 1期(協定締結日 平成20年3月10日) 2期(協定締結日 平成23年5月25日)	愛媛県県有林松瀬川事業所 5.63ha	3者(タイプB) 愛媛トヨペット, 愛媛の森林基金, 県(森林所有者)	3年間 1期 20年4月1日 ~23年3月31日 2期 23年5月25日 ~26年3月31日
5	(株)伊予銀行 「伊予銀行エバークリーンの森」 (協定締結日 平成20年10月31日)	愛媛県県有林松瀬川事業所 7.63ha 大洲市市有林 7.62ha	4者(タイプB) 伊予銀行, 愛媛の森林基金, 市, 県(森林所有者)	5年間 20年10月31日 ~25年3月31日
6	生活協同組合コープえひめ 「コープえひめ未来の森」 1期(協定締結日 平成21年3月25日) 2期(協定締結日 平成24年3月26日)	今治市市有林 40.96ha	3者(タイプA) 生活協同組合コープ えひめ, 市, 県(斡旋)	3年間 1期 21年3月25日 ~24年3月31日 2期 24年4月1日 ~27年3月31日
7	(社)愛媛県空調衛生設備業協会 「水と空気の愛の森」 (協定締結日 平成23年10月18日)	久万高原町 町有林 1.42ha	3者(タイプA) (社)愛媛県空調衛生 設備業協会 町, 県(斡旋)	5年間 23年10月18日 ~28年3月31日

「企業の森づくり」のフレーム

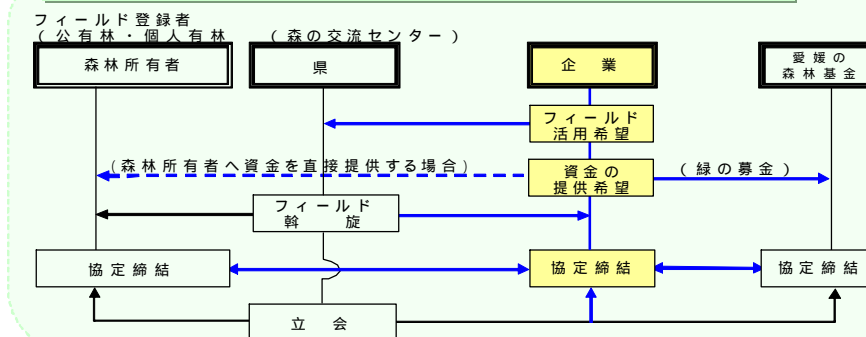
Aタイプ

「企業の森づくり」のフレーム



Bタイプ

愛媛の森林基金参加による「企業の森づくり」のフレーム



森とくらす活動

(3) 実施状況

アサヒビール(株) (2期目)

愛媛トヨペット(株) (2期目)

協定締結式 5月25日



生活協同組合コープえひめ (2期目)

協定締結式 3月26日



(社)愛媛県空調衛生設備業協会



協定締結式 10月18日



「水と空気の愛の森」(久万高原町)桜の植樹活動



4 事業期間 平成22年度～平成26年度

5 全体計画

事業内容		H22	H23	H24	H25	H26	計	
計画	ボランティア 人数	拠点フィールド	200人	200人	200人	200人	200人	1,000人
		身近なフィールド	800人	800人	800人	800人	800人	4,000人
	設置箇所数	拠点フィールド	0箇所	0箇所	0箇所	0箇所	0箇所	0箇所
		身近なフィールド	5箇所	5箇所	5箇所	5箇所	5箇所	25箇所
	事業費		11,270千円	16,265千円	14,396千円	11,396千円	11,396千円	64,723千円
	うち森林環境税		11,270千円	16,265千円	14,396千円	11,396千円	11,396千円	64,723千円
実績	ボランティア 人数	拠点フィールド	218人	426人				644人
		身近なフィールド	1,501人	925人				2,426人
	設置箇所数	拠点フィールド	0箇所	0箇所				0箇所
		身近なフィールド	3箇所	0箇所				3箇所
	事業費		10,000千円	15,340千円				25,340千円
	うち森林環境		10,000千円	15,340千円				25,340千円

自然観察会開催事業

次代を担う青少年を対象に、自然環境保全、野生動植物保護思想の醸成を図るため、自然保護活動体験、野外教育及び環境教育を行う自然観察会を開催します。

1 ポイント

森林と共生する文化の創造を県民一体となって推進するため、次代を担う青少年を対象に自然保護活動体験や野外教育、環境教育を行い、森林が野生鳥獣に生活の場を提供していることなど、森林の有する公益的機能の理解促進と自然環境保護に対する意識の高揚を図ります。

2 事業内容

対 象 県内在住の小・中学生及びその保護者等

事業主体 愛媛県（自然保護課）

事業内容

講習会

専門家から森林や野生鳥獣などの話を聞く

自然観察

森林などに生息する野鳥や虫、草花などを観察する

森林教室

木の良さや森林の有する公益的機能の理解促進を図る

3 平成23年度実績

(1) 実績額 1,191 千円

(2) 実施内容

	開催日	場 所	内 容	参加者数
第1回	5月21日(土)	皿ヶ嶺連峰県立自然公園 (伊予市 えひめ森林公園)	講習会、自然観察、 植樹体験	32人
第2回	7月30日(土)	石鎚国定公園 (久万高原町 面河溪谷)	講習会、自然観察、 博物館見学	70人
第3回	11月5日(土)	加茂川河口(西条市) 県総合科学博物館(新居浜市)	講習会、自然観察、 博物館見学	46人
計	3回			148人

森とくらす活動

(3) 実施状況



第1回 講習会（えひめ森林公園）



第1回 植樹体験（えひめ森林公園）



第2回 自然観察（面河溪谷）



第3回 自然観察（加茂川河口）

4 事業期間 平成22年度～平成26年度

5 全体計画

事業内容		H22	H23	H24	H25	H26	計
計画	ふれあう人数	210人	210人	210人	210人	210人	1,050人
	事業費	1,900千円	1,900千円	1,900千円	1,900千円	1,900千円	9,500千円
	うち森林環境税	1,900千円	1,900千円	1,900千円	1,900千円	1,900千円	9,500千円
実績	ふれあう人数	159人	148人				307人
	事業費	1,019千円	1,191千円				2,210千円
	うち森林環境税	1,019千円	1,191千円				2,210千円

森とのふれあい活動促進事業

森林づくりを行う青少年や県民の皆様の活動を支援し、森とのふれあい活動を促進します。

1 ポイント

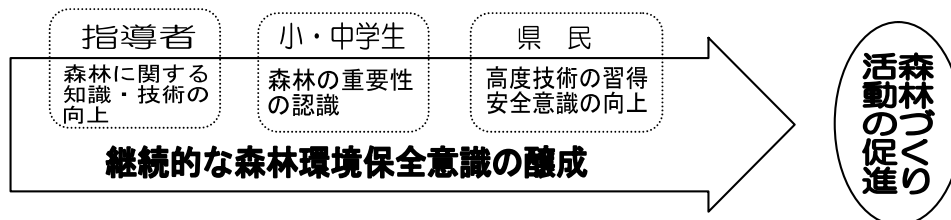
森林を県民共有の財産として守り育て、次の世代に健全な姿で引き継いでいくことを目的として、各世代における森林づくり活動をサポートし、継続的な森林環境保全意識の醸成を行います。

まず、小・中学生において、森林を大切にすることを養うため、「緑の少年団」を結成して行う持続的な森林環境教育や森林づくり活動により森林の重要性の認識度を高めます。

加えて、小・中学生の指導にあたる教員において、森林整備作業や自然体験学習に関する研修を行い、森林に関する知識及び技術の向上を図ります。

また、すでに高い森林保全意識をもって森林づくり活動を実施している県民においては、より一層の技術や安全意識の向上を図るため、技術研修及び交流研修会を実施します。

2 事業内容



3 平成23年度実績

(1) 実績額 1,193千円

(2) 事業内容

森林づくり県民活動進事業	一般県民の育成：・森林づくり技術の安全教育を実施 ・森林づくり活動や森とふれあう活動を行うグループの技術交流研修会の実施
青少年指導者育成事業	小・中学校の教員を対象に、森林整備作業や自然体験学習に関する研修を実施
少年自然愛護活動事業	森林づくりを行う青少年の活動を支援するため、「緑の少年団」の結成にかかる活動経費への補助を実施 【事業主体】 緑の少年団愛媛県連盟 【補助率】 10/10

(3) 実施状況

森林づくり県民活動推進事業

ア 一般県民の育成（森づくり技術交流会）

えひめ森林ボランティア連絡協議会等、県内で森林ボランティア活動を行っている団体・個人等37名が、愛南町の山出憩いの里温泉において1泊2日の技術交流会を行い、意見交換や実地体験などを通じて、技術の向上を図りました。

日程	内容
平成24年1月28日(土) ~1月29日(日)	(講義) 森林保全活動の安全確保、NPOなんぐん市場による地域振興、地域資源の活用と白炭炭化法、木質バイオマスエネルギーと地域振興など (技術講習) 間伐、救命と救急法、白炭炭化方法

森とくらす活動



間伐実習



救命と救急法



白炭の生産現場の視察

イ 一般県民の育成（県民参加の森林づくり活動安全研修）

県内から公募で集まった 17 名の研修生が、県林業研究センターにおいて伐木造材作業等に関する基本知識や安全確保の技術について、座学と実技に取り組みました。

日 程	人数	内 容
平成 24 年 2 月 25 日(土) ~ 2 月 26 日(日)	17 名	座学「愛媛県における林業労働災害の現状について」 座学「森林・林業における安全作業の基本」 実習「ソーチェーンの目立て」「チェーンソーの操作」 実習「伐木及び林業作業に必要な技術」



チェーンソーを使った伐倒



林内作業車の操作



青少年指導者育成事業

小・中学生の森林環境教育の指導にあたる教員を対象に研修を行い、座学と実技を通じて指導方法の習得を図りました。

日 程	会場	参加人数	内 容
平成 23 年 8 月 4 日(木)	大洲青少年 交流の家	9 人	[座学]森林の役割と地球温暖化について、愛媛の森林・林業について、野外活動での安全について、自然観察会等の事例紹介 [実習]活動体験 大洲会場：樹木を活用した自然観察会（さんきら自然塾） 今治会場：今治自然塾環境教育プログラム（今治自然塾）
平成 23 年 8 月 10 日(水)	今治西部 丘陵公園	8 人	
	計	17 人	



座学の様子



今治自然塾環境教育プログラム



樹木を活用した自然観察会

森とくらす活動

少年自然愛護活動事業

新たに1団が緑の少年団の仲間に入り、県下で合計113団約1万人が活発な活動を行った。

市町名	少年団名	学校名	団員数
今治市	美須賀小学校緑の少年団	美須賀小学校	5人



美須賀小学校緑の少年団
募金活動



美須賀コミュニティプラザ
にプランターを設置

4 事業期間 平成22年度～平成26年度

5 全体計画

事業内容		H22	H23	H24	H25	H26	計
計 画	少年団新規結成団数(団)	6	6				12
	(団員数(人))	(540)	(540)				(1,080)
	森にふれあう人数(人)	90	90	545	545	545	1,815
	事業費(千円)	2,868	2,713	3,159	3,159	3,159	15,058
	うち森林環境税	2,868	2,713	3,159	3,159	3,159	15,058
実 績	少年団新規結成数(団)	2	1				3
	(団員数(人))	(68)	(5)				(73)
	森にふれあう人数(人)	51	71				122
	事業費(千円)	2,131	1,193				3,324
	うち森林環境税	2,131	1,193				3,324

林業普及指導事業（一部森林環境税事業）

森林そ生プロジェクトの成果を県下に普及するため、地域の林業関係者等が推進団地での取り組みを体験するとともに、普及用の広報誌を発行します。

1 ポイント

森林そ生推進団地の成果を普及し、そ生団地を県下全域に広げるために、森林に関わる地域の構成員や森林整備担い手等が推進団地での取り組みを体験します。さらに、森林そ生プロジェクトの県全体への普及を目的とした情報誌を発行します。

2 事業内容

事業内容	各地区に設けられた推進団地で、森林に関わる地域の構成員や森林整備担い手等に対し技術指導や施業効果を体験させ、森林 GIS 等の試験研究成果を活用した新たな団地設定に取り組むとともに、広くプロジェクトを普及するための情報誌を発行する。
事業期間	平成 20 年度～平成 24 年度
実施主体	県下 9 地区(各地方局森林林業課(森林林業振興班))
対象者実施回数	推進団地体験：森林に関わる地域の構成員、森林整備担い手等 県下 9 地区、1 回 25 名、年間 2 回実施 計 450 名 情報誌発行：県下 9 地区、各 1,500 部 計 13,500 部
推進団地での事業内容	林業普及指導員が中心となって、集約施業団地の設定と施業の推進を指導し、団地内の不在村地主への普及啓発を行う。 また、県の技術研修で育成された技術者の情報交換会や集団技術者講習会を開催し、技術者相互の研鑽を図り、持続的な林業経営と県産材の安定供給体制を確立する。

3 平成 23 年度実績額

2,004千円(全体事業費9,375千円)

[広報誌]

平成 24 年 3 月
森林そ生プロジェクト普及啓発事業広報誌

森はCO₂の貯蔵庫、木材は循環する資源
おいしい木は緑からできる

No.36

中予地方局
産業経済部森林林業課
TEL 089-909-8767
FAX 089-909-8397
メールアドレス
chu_cinyo@pref.hime.jp

環境保全整備直接支援事業(直接支払い制度)が始まりました!

これまで造林補助事業と呼ばれていた国の補助制度が、平成21年12月に公表された森林林業再生プランに沿って、大きく制度改正されました。それでは、今年度から大きく変わった制度についてご紹介いたします。

- 1 直接支払い制度って?
新たな森林環境保全直接支援事業では、これまでの個別にバラバラで施業を実施していたも補助採択されていたものが、今後は森林経営計画を策定し、持続的な森林経営を行っていく者に対して直接支払い制度となって生まれ変わりました。
- 2 主な制度の概要
(1) 集約化して計画的な施業を行う者に限定して支援
これまでの零碎の小規模な切開伐のみでの助成はなくなり、大きなまとまりを持って森林経営計画を策定した者に限定されます。森林経営計画はその森林の施業方針を定める計画で、計画の策定にあたっては、主に地域の森林を取りまとめている森林組合等に任せると安心です。
(2) 路網を活用した搬出への支援に転換
作業路については、「森林作業道」と呼ばれ、路網を活用した搬出間伐に重点をおいた施業に転換していきます。
また、面的なまとまり(圃地化といいます)が必要で、5ha以上のまとまりをつくり、そこから5ha当たり10m³以上の材を搬出した場合に、その区域単位で助成をします。
これまでの制度と違い、材をたくさん出すほど多く助成が出るようになっていきます。
(3) 切開伐はできないの?
切開伐については、25年生までの保育の間伐は「除伐」と呼ばれ助成の対象となります。または搬出間伐を実施する圃地の中であれば可能な場合もあります。森林経営計画を策定する森林組合等に相談下さい。
これまで、助成の対象となっていたものが、出来なくなる場合もあります。何卒、ご理解とご協力をお願いします。

間伐等のご相談は、最寄りの森林組合、森林林業課にお問い合わせください。

やる木通信

平成23年度間伐技術講習会の開催報告 ～集約的森林施業の推進と高齢級林分の間伐～

中予地方局森林林業課では、中予地区林業研究グループ連絡協議会との共催により、平成23年11月18日(金)、松山市大井町他において恒例の間伐技術講習会を開催しました。

今年度は「集約的森林施業の推進と高齢級林分の間伐」をテーマに、管内の林研グループ、市町、森林組合等林業関係者から約40名が参加し、午前中室内(愛媛大学宇野野山森林研究センター)、午後現地(米野山山林)で研修を行いました。

1 室内研修
室内では、まず、平成21年12月に公表された国の「森林・林業再生プラン」実行に向け、昨年4月の森林法改正により新設された森林経営計画制度と直接支援制度について、担当の林業普及指導員から概要説明を行いました。

また、愛媛県森林組合連合会の宮浦主任をお招きし、プラン公表以前から連合会が主体となって取り組んでいる、森林組合等林業関係者を対象にした研修型集約的施業とプランナーの育成状況について説明をいただいたとともに、県内外の先進的取組事例を中心に貴重なお話をいただきました。

参加された林研会員や林業関係者の方は、「森林・林業再生プラン」が目指す「10年後の木材自給率50%以上」の目標達成に向けた体制づくりが着々と進んでいることを実感するとともに、実現には関係者相互の理解と協力が不可欠であることを改めて認識いただいたことと思います。

2 現地研修
午後は二日会の館長会長が所有する山林で、高齢級林分の間伐と収支について研修を行いました。現在、中予管内の人工林は10齢級の林分が面積・蓄積ともに最多となっていますが、「森林・林業再生プラン」が目標とする10年後には、それらは80年生近くになります。

このため、今回の研修では63年生のスギ人工林で事前に搬出間伐を行い、その収支精算結果について検証を加えました。

対象林分は林道若小屋小線沿いの好立地で、そこに林道に接した0.1haの研修区域(縦25m×横40m)を設けました。

【間伐前】に行った毎木調査の結果は、次のとおりです。
・本数：73本(スギ67本、ヒノキ6本) ・平均樹高：25m
・平均胸高直径：38cm ・収量比数：0.75

これに対し、林分密度管理を基に、1回の間伐で動かす収量比数の最大値である0.15以内で、被害木・不良木を優先して選木を行いました。

なお、選木は指導員である松山山林組合の鈴木組合長の協力下、中予森林林業課の林業普及指導員が行いました。

また、間伐から市売りの(県産産松山木材市売場)までの一連の作業は、同森林組合に依頼して実施しました。

【間伐後】の林分の概況は次のとおりです。
・本数：47本(スギ43本、ヒノキ4本) ・平均胸高直径：40cm
・収量比数：0.60
本数間伐率は36%とやや高めですが、一部に位置していることから、風害や干害の危険は少ないと判断しました。

さて、評価の【収支精算結果】です。
・販売代金(収入)：271,663円 ・経費総額(支出)：212,718円
・差引収支(収益)：59,150円

【参考】
・販売材積 計：22,989m³(四スギ：22,153m³)
・平均単価 スギ：10,874円/m³
なお、今年度から実施の直接支援事業が適用された場合、試算では40,465円の補助金が交付されます。

3 終わりに
今回、実際に搬出間伐を行うことで改めて実感したのは、比較的条件の良い林分であったにも関わらず、精算をみて驚かされた60年生の木が、僅かこれだけの評価とされたという驚きの結果でした。

10年後の国産材時代実現に向けて、林業関係者には今後一層の協力が求められるとともに、当分の間は国や県の支援が必要であると痛感した研修でした。



4 事業期間

平成 22 年度 ~ 平成 26 年度

5 全体計画

事業内容		H22	H23	H24	H25	H26	計
計 画	県民参加人数	400人	400人	400人	400人	400人	2,000人
	事業費	11,311千円	13,551千円	12,777千円	12,777千円	12,777千円	63,193千円
	うち森林環境税	3,637千円	3,637千円	3,637千円	3,637千円	3,637千円	18,185千円
実 績	県民参加人数	400人	450人	人	人	人	850人
	事業費	11,311千円	9,375千円	千円	千円	千円	20,686千円
	うち森林環境税	1,825千円	2,004千円	千円	千円	千円	3,829千円
実施箇所		県下一円	県下一円	県下一円	県下一円	県下一円	

「森林わくわく体験」推進事業

幼稚園や小中学校において、森林をテーマにした体験活動を教育課程に位置付け、子どもたちに豊かな感性と、生命や森林を愛し大切にしていこうとする態度を育む教育を推進します。

1 ポイント

森林は、森林所有者の財産であるだけでなく、様々な公益的機能を有しています。森林の保全や整備については、世代を超える年月と多くの労力を要することなどについて、多くの県民の理解を深めていくことが求められています。そのためには、幼児期から子どもの発達の段階に応じた森林に親しむ学習を進めていくことが有意義です。

そこで、森林における様々な体験を数多く取り入れた教育活動を展開する幼稚園6園・小中学校10校を指定し、子どもたちに森林に対する理解を深めるとともに、生命や森林を大切にしていこうとする態度を育て、森林環境保全意識をもった人作りに貢献します。

2 事業内容

「森はともだち」推進事業	「森のようちえん」推進事業
補助金交付先 市町 (平成23・24年度指定公立小中学校5校) (平成24・25年度指定公立小中学校5校) 補助金額 300千円×10校=3,000千円(補助10/10) 実施主体 市町 補助対象事業 「森はともだち」推進事業 ・目的 森林環境を大切にする児童生徒を育てる。 ・事業実施校の設置 (平成23・24年度指定)公立小中学校5校 (平成24・25年度指定)公立小中学校5校 ・活動例 身近な森林や河川、海岸の調査 森林の植樹、枝打ち、清掃、巣箱設置等の森林保護活動 県産木材や竹材を利用したクラフトや炭作り 木材市場・加工場の見学	補助金交付先 市町 (平成23・24年度指定公立幼稚園3園) (平成24・25年度指定公立幼稚園3園) 補助金額 300千円×6園=1,800千円 (補助10/10) 実施主体 市町 補助対象事業 「森のようちえん」推進事業 ・目的 森が大好きな幼児を育てる。 ・事業実施園の設置 (平成23・24年度指定)公立幼稚園3園 (平成24・25年度指定)公立幼稚園3園 ・活動例 森林を生かした遊びの展開 (探検、木登り、ロープブランコ、基地作り、 ネイチャーゲーム、森の自然物を使った製作 など) 森の中の生き物との触れ合い

3 平成23年度実績

















(1) 実績額 5,172千円(うち、森林環境税5,172千円充当)

森とくらす活動

(2) 実施内容

指定年度	事業実施校	テ - マ	実施内容	参加人数	事業費
H22-23	新居浜市立船木中学校	船木の森を守り育てる生徒の育成 ～地域から生き方を学ぶ環境学習「総合的な学習の時間」の実践を通して～	・間伐体験 ・木材を使った製作 ・森林体験教室 ・炭焼き体験 ・森林環境講演会	241人	300千円
H22-23	今治市立下朝小学校	「森はともだち」 ～学ぼう守ろうふるさと朝倉の森～	・笠松山の調査 ・森林体験活動 ・屯田川源流 ・河口の調査 ・樹木プレート作り	257人	300千円
H22-23	松山市立湯山中学校	森と環境とのかかわりについて関心を高め、地域の森林を大切にしていこうとする生徒の育成～地域から学ぶ「総合的な学習の時間」の実践を通して～	・ネイチャーゲーム ・森林体験学習 ・森林環境講演会 ・竹や木材を使った作品製作	295人	300千円
H22-23	内子町立小田小学校	ふるさと小田の森林に親しむ児童の育成 5年生の「総合的な学習の時間」の活動を中心として	・炭焼き、草木染め体験 ・自然林散策 ・森の基地作り ・巨木巡り ・小田川水質調査	128人	300千円
H22-23	鬼北町立愛治小学校	地域の森を愛し、いとおしみ、自分から関わろうとする児童の育成 ～地域とともに歩む「総合的な学習の時間」の活動を通して～	・町有林の見学 ・炭焼き体験 ・大宿川、広見川の水質調査 ・森林公園でのサマーキャンプ	86人	300千円
H23-24	四国中央市立長津小学校	ふるさと長津の森と緑を守り育てる児童の育成 ～地域の自然とふれあう体験活動を通して～	・機滝登山 ・水辺の生物調査 ・市民の森でのネイチャーゲーム ・森林体験	280人	300千円
H23-24	西条市立西条西中学校	保全・生活・水の観点から森林を知り、身近な森林を大切にしていこうとする態度を育てる ～地域の豊かな自然に学ぶ「総合的な学習の時間」の活動を通して～	・森林環境講演会 ・水生生物観察 ・森とも新聞制作 ・森林観察 ・県産木材を使ったもの作り	285人	300千円
H23-24	東温市立川上小学校	よりよくかかわり、ともに学び合い、豊かに表現できる児童の育成 ～人・もの・ことのかかわりと通して～	・森林での調査、観察、実験 ・宝泉川の水生生物調査 ・森林公園での大木、古木探し	631人	300千円
H23-24	西予市立三瓶中学校	生命を守り育てる森林への理解を深め、大切にしていこうとする生徒の育成 ～「総合的な学習の時間」の実践を通して～	・森林環境講演会 ・森林探索 ・木の伐採や切り出し等の林業体験 ・清掃や巣箱設置等の環境整備	206人	300千円
H23-24	松野町立松野東小学校	ふるさと森を愛し、進んでかかわろうとする児童の育成 ～地域とかわる「総合的な学習の時間」の実践を通して～	・木材市場・加工場の見学 ・森林環境講演会 ・川の水質調査 ・樹木プレート製作	97人	300千円
H22-23	四国中央市立川之江みなみ幼稚園	心豊かでたくましく生きる幼児の育成 ～地域の森林や自然とのかかわりを通して～	・ネイチャーゲーム ・親子遠足 ・野山の散策 ・自然物を使った製作	274人	300千円
H22-23	東温市立北吉井幼稚園	友達とともに森に親しむ幼児の育成 ～地域の森を生かして～	・鎮守の森での遊び ・ネイチャーゲーム ・木材や自然物を使った遊び	302人	300千円
H22-23	大洲市立久米幼稚園	豊かな感性やたくましい体をもつ幼児の育成 ～地域の森林や自然の中での体験を通して～	・森での遊び ・自然物を使った親子製作活動 ・森を題材にした絵本の読み聞かせ	49人	300千円
H23-24	新居浜市立王子幼稚園	豊かな心でたくましく生きる幼児の育成 ～森林での活動を通して～	・王子ヶ丘の探検 ・ネイチャーゲーム ・森の中の生き物との触れ合い	251人	300千円
H23-24	砥部町立麻生幼稚園	友達と一緒に自然に親しみ、興味や関心をもって遊ぶ幼児の育成 ～地域の森林の身近な自然に触れて～	・森の中の生き物との触れ合い ・森の中の植物との触れ合い ・自然物を使った製作	276人	300千円
H23-24	宇和島市立畑地幼稚園	自然体験を通して心豊かなたくましい幼児を育てる ～地域の森林に親しむ活動の工夫～	・親子ネイチャーゲーム ・森の自然や生き物との触れ合い ・木の葉や木の実を使った製作 ・森をテーマにした表現活動	95人	300千円
計				3,753人	4,800千円

(3) 実施状況

「森はともだち」推進事業			
<p>船木中学校</p> <p>ゆらぎの森での椎茸栽培体験</p> 	<p>下朝小学校</p> <p>水源の森を守ろう</p> 	<p>湯山中学校</p> <p>愛媛大学演習林での体験学習</p> 	<p>小田小学校</p> <p>基地作り</p> 
<p>愛治小学校</p> <p>大切な間伐作業</p> 	<p>長津小学校</p> <p>機滝を調べに行こう</p> 	<p>西条西中学校</p> <p>水生生物の観察</p> 	<p>川上小学校</p> <p>冒険夢の森での植樹</p> 
<p>三瓶中学校</p> <p>森林での伐採 切り出し体験</p> 	<p>松野東小学校</p> <p>木材市場・加工場の見学</p> 	<p>川之江みなみ幼稚園</p> <p>雨あがりの散歩</p> 	<p>北吉井幼稚園</p> <p>ロープを使って 特訓中</p> 
<p>久米幼稚園</p> <p>ここからすべてみよう</p> 	<p>王子幼稚園</p> <p>市民の森でフィールドビンゴ</p> 	<p>麻生幼稚園</p> <p>金比羅山の探検</p> 	<p>畑地幼稚園</p> <p>落ち葉で遊ぼう</p> 
「森のようちえん」推進事業			

4 事業期間

平成22年度 ~ 平成26年度

5 全体計画

事業内容		H22	H23	H24	H25	H26	計
計画	「森はともだち」推進事業	1,250人	2,500人	2,500人	2,500人	1,250人	10,000人
	「森のようちえん」推進事業	300人	600人	600人	600人	300人	2,400人
	事業費	2,575千円	5,172千円	5,172千円	5,172千円	2,575千円	20,666千円
	うち森林環境税	2,575千円	5,172千円	5,172千円	5,172千円	2,575千円	20,666千円
実績	「森はともだち」推進事業	1,060人	2,506人				3,566人
	「森のようちえん」推進事業	649人	1,247人				1,896人
	事業費	2,575千円	5,172千円	千円	千円	千円	7,747千円
	うち森林環境税	2,575千円	5,172千円	千円	千円	千円	7,747千円
実施箇所	公立小中学校5校 【新規5校】 船木中(新居浜市) 下朝小(今治市) 湯山中(松山市) 小田小(内子町) 愛治小(鬼北町) 公立幼稚園3園 【新規3園】 川之江みなみ幼稚園(四国中央市) 北吉井幼稚園(東温市) 久米幼稚園(大洲市)	公立小中学校10校 【継続5校】 船木中(新居浜市) 下朝小(今治市) 湯山中(松山市) 小田小(内子町) 愛治小(鬼北町) 【新規5校】 長津小(四国中央市) 西条西中(西条市) 川上小(東温市) 三瓶中(西予市) 松野東小(松野町) 公立幼稚園6園 【新規3園】 王子幼稚園(新居浜市) 麻生幼稚園(砥部町) 畑地幼稚園(宇和島市)	公立小中学校10校 【新規5校】 【継続5校】 長津小(四国中央市) 西条西中(西条市) 川上小(東温市) 三瓶中(西予市) 松野東小(松野町) 公立幼稚園6園 【新規3園】 【継続3園】 王子幼稚園(新居浜市) 麻生幼稚園(砥部町) 畑地幼稚園(宇和島市)	公立小中学校10校 (継続5、新規5)	公立小中学校5校 (継続)	公立幼稚園6園 (継続3、新規3)	公立幼稚園3園 (継続)

都市近郊林保全事業

県民が緑と親しむことのできる森林空間を整備し、県民の交流の場を提供することを目的としています。

1 ポイント

県が管理している丸山墓地について、当該地に存在する森林の有する公益的機能に着目し、その森林環境を積極的に保全していく観点から、緑地の適正管理を行い、県民が緑と親しむことのできる森林空間を整備し、県民の交流の場を提供します。

2 事業内容

丸山墓地内の愛媛県戦没者慰霊塔「英魂」の前面及び周辺部における緑地整備事業（除間伐、伐採木の撤去、剪定、機械除草ほか）

3 平成 23 年度実績額

- (1) 実績額 496千円
- (2) 実施状況



樹木の剪定など



緑地の除草など

4 事業期間 平成 22 年度 ~ 平成 24 年度

5 全体計画

事業内容		H22	H23	H24	H25	H26	計
計画	訪問者数	350人	400人	500人			1,250人
	事業費	500千円	500千円	500千円			1,500千円
	うち森林環境税	500千円	500千円	500千円			1,500千円
実績	訪問者数	350人	370人				720人
	事業費	464千円	496千円				960千円
	うち森林環境税	464千円	496千円				960千円
実施箇所	丸山墓地 (松山市北斎院町 25 番地外)	同左	同左				

巡回展「森の博物館」開催事業

県総合科学博物館の資料を地域資源として活用するため、自然科学資料巡回展「森の博物館」を開催するとともに、より効果的に森林に棲む生き物の多様性、森林の大切さを多くの県民に知ってもらう森林観察会やイベント事業を実施します。

1 ポイント

森にすんでいる生き物の多様性を通して、森林の大切さを多くの県民に知ってもらうため、県内で巡回展を開催し、はく製等の実物資料に接する機会を提供します。

また森林をテーマにした観察会を実施し、森林に生息・生育する動植物の多様性や森林が持つ生態系サービスの重要性の理解を通じて、森林の大切さを認識してもらう内容とします。

2 事業内容

(1) 巡回展「森の博物館」

会場及び展示期間

区分	会場	期間	観覧者数 (人)
中予会場	生涯学習センター（松山市） 企画展示室	H23.4.29(金)～6.12(日)【45日間】	1,079
東予会場	総合科学博物館（新居浜市） 企画展示室	H23.10.8(土)～11.13(日)【37日間】	15,145
南予会場	歴史文化博物館（西予市） エントランスホール	H24.2.4(土)～2.19(日)【16日間】	2,778
計		【開催日計 98 日間】	19,002

入場料 無料

展示構成

コーナー名	内容
年輪標本	1本の木を一定間隔でスライスした年輪標本（スギとヒノキ）を展示
森のいきもの	森にすむ哺乳類、鳥類、昆虫、植物等の標本を展示
木とのふれあい	木製の玩具やパズルなど、子供が気軽に木に触れるスペースを設置

(2) 「森の学校」事業

(ア) 「森の学校」開催事業

	講座名	実施年月日	実施場所	参加人数
1	初夏の植物ウォッチング	6月4日	えひめこどもの城（松山市）	19
2	昆虫の標本をつくろう	8月6日ほか	総合科学博物館周辺（新居浜市）	31
3	渡るチョウの観察	10月23日	皿ヶ嶺（東温市）	1
4	秋の植物ウォッチング	11月6日	総合科学博物館周辺（新居浜市）	4
5	森の掃除屋・キノコの観察	11月12日	新居浜市民の森（新居浜市）	22
6	秋の植物ウォッチング	11月26日	宇和島城山公園（宇和島市）	4
	合計			81

(イ) 森に親しむイベント「種で遊ぼう」(参加無料)

木の実や種子を使った工作やゲームを行い、親子連れなどの参加者に対し森林に関する理解を深めてもらった。

会場：総合科学博物館 企画展示室

開催日：平成23年11月6日（日）

参加者：1,686名（開館17周年記念イベントと共催）

森とくらす活動

3 平成23年度実績

(1) 実績額 2,175千円

(2) 実施状況



「森の博物館」チラシ



「森の博物館」開催状況（生涯学習センター・総合科学博物館）



「森の学校」実施状況（キノコの観察・植物の観察）



「種で遊ぼう」実施状況

4 事業期間 平成22年度～平成26年度

5 全体計画

事業内容		H22	H23	H24	H25	H26	合計
計画	「森の博物館」 観覧人数(人)	12,000	17,000	17,000	17,000	17,000	80,000
	「森の学校」 参加人数(人)	210	180	180	180	180	930
	「種で遊ぼう」 参加人数(人)	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	5,000
	事業費(千円)	2,416	2,416	2,416	2,416	2,416	12,080
	うち森林環境費(千円)	2,416	2,416	2,416	2,416	2,416	12,080
実績	「森の博物館」 観覧人数(人)	16,813	19,002				35,815
	「森の学校」 参加人数(人)	92	81				173
	「種で遊ぼう」 参加人数(人)	3,496	1,686				5,182
	事業費(千円)	1,358	2,175				3,533
	うち森林環境費(千円)	1,358	2,175				3,533
実施箇所	観察会6回、 巡回展2箇所	観察会6回、 巡回展3箇所	観察会6回、 巡回展3箇所	観察会6回、 巡回展3箇所	観察会6回、 巡回展3箇所		

22年度数値は「森のめぐみ木のものがたり展」開催事業と「森の学校」開催事業の合算実績

県民参加の森林づくり公募事業

県民の皆様の豊かな発想を施策に反映するとともに、県民の皆様が自発的に取り組む森林の活用等の活動を支援することで、森林に対する県民参加の具体化を図るため、広く県民の皆様からの事業提案を募集します。

1 ポイント

「森林環境税」が目指す、「森林環境の保全」と「森林と共生する文化の創造」を県民と一体となって推進するため、県として取り組む森林環境税事業としてふさわしい施策を、広く県民から公募する。

また、県民参加の具体性を確保し、県民の自発的な活動を促進するため、県民自らが企画・立案・実行する活動を公募し、補助するほか、補助した事業については、他の県民にも波及するよう制度化するとともに、必要に応じて県としての施策化を検討します。

加えて、平成 22 年度からは市町の自発的な活動の公募と支援を行い、森林に対する県民参加活動をより発展させることを目指します。

2 事業概要

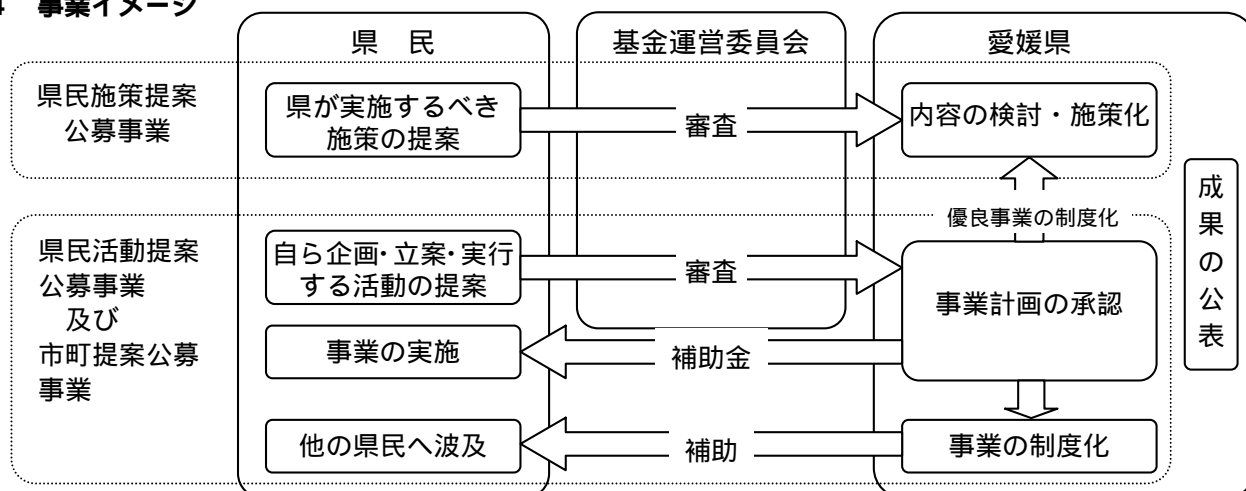
愛媛県森林環境保全基金公募事業募集要領(平成 17 年度制定)に基づき、以下のとおり県民及び市町からの事業提案を募集する。

(1) 県民施策提案公募事業	<p>【事業概要】 森林環境税を財源として県が実施するべき施策を広く県民から募集し、審査・検討のうえ、県実施事業としてふさわしいものについて施策化を検討する。</p>
(2) 県民活動提案公募事業	<p>【事業概要】 森林環境税の趣旨に即し、県民が自ら企画・立案・実行する活動を広く募集し、審査・選定のうえ、適当と認めるものについては、事業実施に要する必要最小限の経費に対し、補助金を交付する。</p> <p>【対象となる事業の概要】 森をつくる活動：放置森林、放置竹林、里山林等の整備活動等 木をつかう活動：木材利用推進活動、木工広場の開催等 森とくらす活動：森林環境教育、森林保全活動、森林ボランティア活動等</p> <p>【補助率】 事業費 500 千円以下の部分 10/10 以内 事業費 500 千円を超える部分 1/2 以内 ただし 1 件あたり補助額 1,250 千円を上限とする。</p>
(3) 市町提案公募事業	<p>【事業概要】 森林環境の保全と森林と共生する文化の創造に向け、森林に対する県民参加活動をより発展させるため、市町が単独で行う事業に対して、補助金を交付する。</p> <p>【対象となる事業の概要】 森をつくる活動：直接間伐や植栽等の森林整備に繋がるもの 木をつかう活動：木材をより身近に利用していく活動で、将来的に森づくり活動に繋がるもの 森とくらす活動：森林に対する理解と森林づくり活動への参加を助長するもの</p> <p>【補助率】 事業費の 1/2 以内 　　ただし 1 件あたり補助額 5,000 千円を上限とする。</p>

3 事業選定

事業の選定は、愛媛県森林環境保全基金運営委員会及び県による審査・検討のうえ、決定する。

4 事業イメージ



(2) 公募事業

5 平成23年度実績

県民施策定案公募事業

施策提案 0件

県民活動提案公募事業

(1) 実績額 14,586 千円

(2) 実施内容

合計 51 件の応募があり、愛媛県森林環境保全基金運営委員会及び県において厳正に審査のうえ、

46 件を採択し、46 件が実施されました。

大区分	小区分	要望			採択			実績		
		件数	事業費	補助金額	件数	事業費	補助金額	件数	事業費	補助金額
森をつくる	間伐	4	1,477,835	1,474,000	4	1,243,235	1,242,000	4	1,247,393	1,242,000
	植樹	10	3,270,687	3,260,000	8	2,456,197	2,454,000	8	2,334,645	2,268,000
	竹林整備	4	957,620	956,000	4	957,620	956,000	4	982,789	956,000
	環境整備	4	2,404,996	1,963,000	3	949,396	949,000	3	973,062	949,000
	小計	22	8,111,138	7,653,000	19	5,606,448	5,601,000	19	5,537,889	5,415,000
木をつかう	木材普及	5	2,346,800	2,345,000	4	1,761,680	1,761,000	4	1,876,995	1,761,000
	木工	13	4,455,261	4,447,000	12	4,282,341	4,278,000	12	4,266,032	4,170,000
	小計	18	6,802,061	6,792,000	16	6,044,021	6,039,000	16	6,143,027	5,931,000
森とくらす	環境教育	7	2,633,970	2,537,000	7	2,447,570	2,404,000	7	2,391,572	2,343,000
	森林体験	2	541,900	541,000	2	541,900	541,000	2	497,371	496,000
	炭焼	2	401,550	401,000	2	401,550	401,000	2	411,565	401,000
	小計	11	3,577,420	3,479,000	11	3,391,020	3,346,000	11	3,300,508	3,240,000
合計		51	18,490,619	17,924,000	46	15,041,489	14,986,000	46	14,981,424	14,586,000

市町提案公募事業

(1) 実績額 21,469 千円

(2) 実施内容

合計 12 件の応募があり、愛媛県森林環境保全基金運営委員会及び県において厳正に審査のうえ、

12 件を採択し、12 件が実施されました。

事業区分	要望			採択			実績		
	件数	事業費	補助金額	件数	事業費	補助金額	件数	事業費	補助金額
森をつくる	1	3,300,000	1,650,000	1	3,300,000	1,650,000	1	3,339,630	1,650,000
木をつかう	11	75,000,000	32,500,000	11	75,000,000	32,500,000	11	49,780,000	19,819,000
森とくらす	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	12	78,300,000	34,150,000	12	78,300,000	34,150,000	12	53,119,630	21,469,000

6 全体計画

事業内容		H22	H23	H24	H25	H26	計
計	公募事業参加者数(人)	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	75,000
	事業費(千円)	40,000	50,000	50,000	50,000	50,000	240,000
実績	公募事業参加者数(人)	14,335	11,175				
	事業費(千円)	29,493	36,055				
	事業実施件数(応募件数)	56(61)	58(63)				

平成23年度市町提案公募事業一覧

整理番号	事業主体	区分	事業名	事業の概要	補助金額(円)
1	西条市	つかう	西条市産地認証材活用事業	地域材の需要拡大のため、西条市産地認証材使用住宅の建築に対し補助を行った。	600,000
2	久万高原町	つかう	久万高原町木造住宅支援事業	地域材の需要拡大のため、地域材使用住宅の建築に対し補助を行った。	4,400,000
3	大洲市	つかう	大洲市森林づくり木造住宅建築促進事業	南予地域材の需要拡大のため、地域材使用住宅の建築に対し補助を行った。	1,027,000
4	八幡浜市	つかう	八幡浜市南予産材利用木造住宅建築促進事業	南予地域材の需要拡大のため、地域材使用住宅の建築に対し補助を行った。	1,392,000
5	伊方町	つかう	地域材利用木造住宅建築促進事業	南予地域材の需要拡大のため、地域材使用住宅の建築(購入)者に対し補助を行った。	111,000
6	宇和島市	つかう	南予産材木造住宅建築促進事業	南予地域材の需要拡大のため、地域材使用住宅の建築に対し補助を行った。	1,018,000
7	鬼北町	つかう	南予産材木造住宅建築促進事業	南予地域材の需要拡大のため、地域材使用住宅の建築に対し補助を行った。	1,096,000
8	松野町	つかう	松野町南予産材木造住宅建設促進事業	南予地域材の需要拡大のため、地域材使用住宅の建築に対し補助を行った。	2,000,000
9	愛南町	つかう	南予産材利用木造住宅建築促進事業	南予地域材の需要拡大のため、地域材使用住宅の建築に対し補助を行った。	2,500,000
10	西予市	つかう	西予市産木質ペレット生産利活用促進事業	間伐材等の有効活用のため、木質ペレットストーブ導入の補助を行った。	675,000
11	伊方町	つかう	木製漁礁設置事業	地元産間伐材を用いた木製漁礁を製作・設置した。	5,000,000
12	上島町	つくる	積善山の桜保全事業	上島町岩城地区の積善山のサクラの樹勢回復及び補植を行った。	1,650,000
合 計					21,469,000

平成23年度市町提案公募事業活動状況

(木をつかう活動)

整理番号 1

事業名	西条市産地認証材活用事業
事業主体名	西条市
実施箇所	西条市
事業の概要	地域材の需要拡大のため、西条市産地認証材使用住宅の建築に対し補助を行った。
事業費	事業費： 1,200,000 円 補助金額： 600,000 円
活動状況	参加延べ人数： 6 人
状況写真	

(木をつかう活動)

整理番号 2

事業名	久万高原町木造住宅支援事業
事業主体名	久万高原町
実施箇所	久万高原町
事業の概要	地域材の需要拡大のため、地域材使用住宅の建築に対し補助を行った。
事業費	事業費： 8,800,000 円 補助金額： 4,400,000 円
活動状況	参加延べ人数： 9 人
状況写真	

(木をつかう活動)

整理番号 3

事業名	大洲市森林づくり木造住宅建築促進事業
事業主体名	大洲市
実施箇所	大洲市
事業の概要	南予地域材の需要拡大のため、地域材使用住宅の建築に対し補助を行った。
事業費	事業費： 2,054,000 円 補助金額： 1,027,000 円
活動状況	参加延べ人数： 11 人
状況写真	

(木をつかう活動)

整理番号 4

事業名	八幡浜市南予産材利用木造住宅建築促進事業
事業主体名	八幡浜市
実施箇所	八幡浜市
事業の概要	南予地域材の需要拡大のため、地域材使用住宅の建築に対し補助を行った。
事業費	事業費： 2,784,000 円 補助金額： 1,392,000 円
活動状況	参加延べ人数： 11 人
状況写真	

(木をつかう活動)

整理番号 5

事業名	地域材利用木造住宅建築促進事業
事業主体名	伊方町
実施箇所	伊方町
事業の概要	南予地域材の需要拡大のため、地域材使用住宅の建築(購入)者に対し補助を行った。
事業費	事業費： 223,000 円 補助金額： 111,000 円
活動状況	参加延べ人数： 1 人
状況写真	

(木をつかう活動)

整理番号 6

事業名	南予産材木造住宅建築促進事業
事業主体名	宇和島市
実施箇所	宇和島市
事業の概要	南予地域材の需要拡大のため、地域材使用住宅の建築に対し補助を行った。
事業費	事業費： 2,037,000 円 補助金額： 1,018,000 円
活動状況	参加延べ人数： 9 人
状況写真	

(木をつかう活動)

整理番号 7

事業名	南予産材木造住宅建築促進事業
事業主体名	鬼北町
実施箇所	鬼北町
事業の概要	南予地域材の需要拡大のため、地域材使用住宅の建築に対し補助を行った。
事業費	事業費： 2,192,000 円 補助金額： 1,096,000 円
活動状況	参加延べ人数： 6 人
状況写真	

(木をつかう活動)

整理番号 8

事業名	松野町南予産材木造住宅建設促進事業
事業主体名	松野町
実施箇所	松野町
事業の概要	南予地域材の需要拡大のため、地域材使用住宅の建築に対し補助を行った。
事業費	事業費： 4,205,000 円 補助金額： 2,000,000 円
活動状況	参加延べ人数： 7 人
状況写真	

(木をつかう活動)

整理番号 9

事業名	南予産材利用木造住宅建築促進事業
事業主体名	愛南町
実施箇所	愛南町
事業の概要	南予地域材の需要拡大のため、地域材使用住宅の建築に対し補助を行った。
事業費	事業費： 5,187,000 円 補助金額： 2,500,000 円
活動状況	参加延べ人数： 12 人
状況写真	

(木をつかう活動)

整理番号 10

事業名	西予市産木質ペレット生産利活用促進事業
事業主体名	西予市
実施箇所	西予市
事業の概要	間伐材等の有効活用のため、木質ペレットストーブ導入の補助を行った。
事業費	事業費： 1,350,000 円 補助金額： 675,000 円
活動状況	参加延べ人数： 6 人
状況写真	

(木をつかう活動)

整理番号 11

事業名	木製漁礁設置事業
事業主体名	伊方町
実施箇所	伊方町
事業の概要	地元産間伐材を用いた木製漁礁を製作・設置した。
事業費	事業費： 19,748,000 円 補助金額： 5,000,000 円
活動状況	
状況写真	

(森をつくる活動)

整理番号 12

事業名	積善山の桜保全事業
事業主体名	上島町
実施箇所	上島町
事業の概要	上島町岩城地区の積善山のサクラの樹勢回復及び補植を行った。
事業費	事業費： 3,339,630 円 補助金額： 1,650,000 円
活動状況	参加延べ人数： 40 人
状況写真	

平成23年度県民活動提案公募事業一覧

項目	整理番号	箇所	事業主体	区分	事業名	事業の概要	補助金額(円)
森をつくる活動	1	東温市	えひめ学生森林ボランティア	間伐	えひめ学生の森づくり	県内の大学生や高校生を対象に、国有林と協定した「えひめ学生遊々の森」等で間伐や枝打ちを実施した。	294,000
	2	東温市	えひめ千年の森をつくる会	間伐	バイオマスクリスマスインクルスモール2011	森づくり活動により産出される間伐材の有効利用方策として木質バイオマスの利用を呼びかけるイベントを開催した。	442,000
	3	東温市	ふくさの森の会	間伐	ふくさの森 学びと憩いの森づくり	森林体験を通して森林に親しむ気運を醸成するため、植栽、間伐、竹林整備、里山整備、炭焼、椎茸づくり等の活動を行った。	352,000
	4	松野町	滑床千年の森をつくる会	間伐	滑床ふれあいの森	源流森林への関心を高めるため、国有林と協定した「滑床ふれあいの森」のヒノキ林の間伐等を行った。	154,000
	5	西条市	石鎚水源の森くらぶ	植樹	石鎚水源の森づくり事業	水源の森モデル林づくり及び多様な森林づくりの担い手育成のため、放置森林の間伐等を行い、複層林施業を推進した。	409,000
	7	新居浜市	にいほま環境市民会議	植樹	森を取り戻そうプロジェクト	針広混交林を造成するとともに、植樹、間伐等の活動を通じて森林について学習した。	237,000
	8	松山市	財団法人オイスカ愛媛県支局	植樹	「オイスカの森」 in えひめ	植樹や竹林整備等の森づくり活動を通じて森を体感した。	288,000
	9	伊予市	えひめ森林ボランティア連絡協議会	植樹	国際森林年記念の森づくり活動	県下の森林ボランティア団体等による国際森林年記念植樹を行った。	388,000
	10	伊予市	えひめ森の案内人会	植樹	森をつくり、育てる活動	えひめ森林公園において、植樹活動を行った。	375,000
	11	久万高原町	柳谷壮年会	植樹	さくらの里づくり事業	急速に過疎化が進み放置森林が増加している久万高原町柳谷地区に「ふるさとづくり」として桜を植樹した。	180,000
	13	内子町	石畳炭焼き学校	植樹	石畳地区・里山保全啓発事業	クヌギ等の植樹や管理活動を通して里山保全を行った。	286,000
	14	八幡浜市	宮内財産区	植樹	宮内財産区の森整備活動事業	宮内小学校生徒等地域住民により植樹活動を行った。	105,000
	15	西条市	竹林をよくする会	竹林整備	放置竹林整備と竹林・竹の活用	放置竹林をチップパー機を活用して間伐し、炭や堆肥に活用することによって、竹林整備の必要性和竹の有用性を普及した。	400,000
	16	西条市	高知里山を愛する会	竹林整備	竹林の整備と竹の有効活用	放置竹林を地域住民により整備し、伐採した竹の有効活用を図った。	201,000
	17	伊予市	市場里山ボランティア会	竹林整備	市場の放置竹林の整備と遊歩道整備・石淵池奥の湿原回復活動	放置竹林等を伐採整理し、植樹を行うとともに、伐採した木竹を活用して炭焼等を行った。	202,000


	18	愛南町	緑小学校PTA	竹林整備	緑地区の森と川を守る	間伐や竹林整備活動を行うとともに地域材を使った木工工作や森林観察会を開催した。	153,000
	19	新居浜市	えんとつ山倶楽部	環境整備	「えんとつ山」里山整備	地域のシンボルの「えんとつ山」を再生するため、広葉樹の植栽、間伐等を行った。	380,000
	20	松山市	淡路ヶ峠遊歩道整備管理協議会	環境整備	森をつくる(植栽等)活動事業	森林荒廃が進行する淡路ヶ峠において、桜の植樹及び遊歩道整備により「桜の淡路ヶ峠」の復活に努めた。	369,000
	21	久万高原町	中津大学会	環境整備	エコ・ミュージアム・中津事業	中津地区のシンボルである桜を守り育てるため、雑木除去、下刈、つる切等を行った。	200,000
木をつかう活動	23	西条市	西条地産地消の家づくり推進協議会	木材普及	西条地産地消の家づくり推進事業	地域材の地産地消への関心を高めるため、木造の家づくりの講習会や間伐体験会などを開催した。	450,000
	24	今治市	越智今治地域「地産地消の家づくり」推進協議会	木材普及	越智今治地域「地産地消の家づくり」推進	地域材の需要拡大を図るため、家づくりに関するセミナーを定期的で開催した。	500,000
	26	伊予市	伊予地区「地産地消の家づくり」推進協議会	木材普及	伊予地区「地産地消の家づくり」推進事業	地域材の需要拡大を図るため、家づくりに関するセミナーを定期的で開催した。	411,000
	27	久万高原町	上浮穴林材業振興会議	木材普及	久万地域認証材利用促進事業	地域材認証制度の周知定着を図った。	400,000
	29	新居浜市	あそびじゅくトムソーヤ	木工	トンギコ木工教室	森林の大切さや環境についての理解を深めるため、地域の小学生等を対象とした木工教室を開催した。	118,000
	30	西条市	西条建築協同組合	木工	親子木工教室	親子木工教室を開催しベンチを作製の上、地域の学校等に設置した。	282,000
	31	西条市	周桑林業研究グループ	木工	木工教室	木造住宅模型を作成し、木造住宅の構造等について普及啓発した。	131,000
	32	今治市	今治地区林業研究グループ協議会	木工	今治地区木工教室	市内の小学生等を対象に木工教室を開催し、木材の利活用促進を図った。	484,000
	33	松山市	特定非営利活動法人自然環境教育えことのは	木工	樹木の解説および県産材を使った調度品づくり実施事業その4	県産材への理解と愛着を深めるため、木工教室(年10回)を開催した。	476,000
	34	松山市	木でつながるなかま「円い森」	木工	木をつかって山につながる その5	木製玩具作家を講師に、木を学び、木にふれ楽しむ木工教室を開催した。	344,000
	35	松山市	特定非営利活動法人JMACS	木工	遊友学舎 木工教室	松山市の小学生を対象に、定期的に木工教室を開催した。	451,000
	36	松山市	愛媛県森林組合職員連盟本会支部	木工	森とふれあう教室	地域の子供達を対象に木材の流通について学んだり木工体験を行う森とのふれあい教室を開催した。	357,000

	37	久万高原町	愛媛木材青年協議会	木工	杣人座～其の六～「森づくりの基地を作ろう」	間伐材を活用して、森林活動のための基地を作った。	282,000
	38	久万高原町	久万林業まつり実行委員会	木工	久万林業まつり親子木工広場	久万林業まつりにあわせて、親子が森林や木材について学び体験できる木工広場を開催した。	500,000
	39	大洲市	大洲市立肱川中学校PTA	木工	地元材を使った木製ベンチ作り事業	地域材を活用してベンチを作成し、中学校内に設置した。	445,000
	40	愛南町	南宇和地区林材業振興会議	木工	木とのふれあい教室	親子が気軽に参加し、森林や木材について学び体験できる木工広場を開催した。	300,000
森とくらす活動	41	八幡浜市	さんきら自然塾	環境教育	「木の子」図鑑作成と「森の役割」観察会	樹木やきのこの観察会の開催及びきのこ図鑑の作成・配布を行った。	370,000
	42	新居浜市	夢遊友うずい	環境教育	広葉樹林の整備を通じた森林環境教育	広葉樹林の整備や椎茸栽培を通じて地域の広葉樹林の活用を体験学習した。	39,000
	43	松山市	特定非営利活動法人自然環境教育えことのは	環境教育	森の時間その7～森や木とふれあい、年輪を知り、味わう～	森の時間の流れを学ぶため、森の樹木や木材の観察、樹木の成長過程等を学ぶ学習会を開催した。	344,000
	44	松山市	えひめ千年の森をつくる会	環境教育	森林・林業大学(2)	産業としての林業を学習する3泊4日の森林・林業大学を開催した。	541,000
	45	伊予市	えひめ森の案内人会	環境教育	平成23年度森への誘い推進事業	森林とふれあい、森林に学び、森林を育てる意識醸成のため、森林に関する知識や技術を普及した。	369,000
	46	内子町	都会と田舎を結ぶ食育ネット	環境教育	森を学び、里・川・海、そして街を考える	森林整備活動体験、炭焼き等の活動を通して、森のあり方を学んだ。	420,000
	47	西予市	中村敬治	環境教育	西予原木きのこ栽培学習会	市内の小学校でしいたけ栽培に関する学習会を開催した。	260,000
	48	今治市	奈良原さんの自然を育む会	森林体験	自然環境を考える森林体験学習	地域住民に親しまれている檜原山で、地元小中学生を対象にした森林環境教育を行った。	125,000
	49	伊予市	森林・自然体験活動連絡会	森林体験	森林・自然体験活動推進事業	都市住民の森林・自然への理解を深めるため、えひめ森林公園などで、自然体験、ネイチャーゲーム、クラフト教室などを開催した。	371,000
	50	今治市	伯方町女性林業研究グループ	炭焼	竹林整備事業	手入れ不足の竹林を整備するとともに、炭焼き等による竹の有効活用を図った。	296,000
	51	松山市	久米・森と炭焼きの会	炭焼	ドラム缶窯式炭焼きの普及と森林整備	放置森(竹)林問題への関心を高めるため、都市部の市民レベルで炭焼き体験会などを開催した。	105,000
合 計							14,586,000

平成23年度県民活動提案公募事業活動状況

(森をつくる活動) 間伐

整理番号 1

事業名	えひめ学生の森づくり		
事業主体名	えひめ学生森林ボランティア		
代表者名	代表者名： 安藤 哲次	会員： 50名	
事務局住所	松山市平井町1486		
連絡先	担当者名： 安藤 哲次	電話： 089-975-1434	
実施箇所	東温市		
事業の概要	県内の大学生や高校生を対象に、国有林と協定した「えひめ学生遊々の森」等で間伐や枝打ちを実施した。		
事業費	事業費： 294,203 円	補助金額： 294,000 円	
活動状況	活動回数： 5 回	参加延べ人数： 28 人	
状況写真			

(森をつくる活動) 間伐

整理番号 2

事業名	バイオマスクリスマスinkールズE-ル2011		
事業主体名	えひめ千年の森をつくる会		
代表者名	代表者名： 鶴見 武道	会員： 123名	
事務局住所	東温市井内甲915-2		
連絡先	担当者名： 鶴見 恵子	電話： 089-966-6251	
実施箇所	東温市		
事業の概要	森づくり活動により産出される間伐材の有効利用方策として木質バイオマスの利用を呼びかけるイベントを開催した。		
事業費	事業費： 443,934 円	補助金額： 442,000 円	
活動状況	活動回数： 3 回	参加延べ人数： 263 人	
状況写真			


(森をつくる活動) 間伐

整理番号 3

事業名	ふくさの森 学びと憩いの森林づくり		
事業主体名	ふくさの森の会		
代表者名	代表者名： 村上 帛子	会 員： 5名	
事務局住所	東温市横河原1285		
連絡先	担当者名： 村上 帛子	電 話： 089-964-2657	
実施箇所	東温市		
事業の概要	森林体験を通して森林に親しむ気運を醸成するため、植栽、間伐、竹林整備、里山整備、炭焼、椎茸づくり等の活動を行った。		
事業費	事業費： 353,949 円	補助金額： 352,000 円	
活動状況	活動回数： 26 回	参加延べ人数： 246 人	
状況写真			


(森をつくる活動) 間伐

整理番号 4

事業名	滑床ふれあいの森		
事業主体名	滑床千年の森をつくる会		
代表者名	代表者名： 安藤 哲次	会 員： 82名	
事務局住所	松山市平井町1486		
連絡先	担当者名： 安藤 哲次	電 話： 089-975-1434	
実施箇所	松野町		
事業の概要	源流森林への関心を高めるため、国有林と協定した「滑床ふれあいの森」のヒノキ林の間伐等を行った。		
事業費	事業費： 155,307 円	補助金額： 154,000 円	
活動状況	活動回数： 5 回	参加延べ人数： 24 人	
状況写真			

(森をつくる活動) 植樹


整理番号 5

事業名	石鎚水源の森づくり事業		
事業主体名	石鎚水源の森くらぶ		
代表者名	代表者名： 上野 清七	会 員： 277名	
事務局住所	西条市荒川 2号176番地		
連絡先	担当者名： 上野 清七	電 話： 0897-58-0225	
実施箇所	西条市		
事業の概要	水源の森モデル林づくり及び多様な森林づくりの担い手育成のため、放置森林の間伐等を行い、複層林施業を推進した。		
事業費	事業費： 438,162 円	補助金額： 409,000 円	
活動状況	活動回数： 6 回	参加延べ人数： 202 人	
状況写真			

(森をつくる活動) 植樹

整理番号 7

事業名	森を取り戻そうプロジェクト		
事業主体名	にいはま環境市民会議		
代表者名	代表者名： 真鍋 昌裕	会 員： 42名	
事務局住所	新居浜市八幡2-1-36		
連絡先	担当者名： 堀田 一昌	電 話： 0897-37-0618	
実施箇所	新居浜市		
事業の概要	針広混交林を造成するとともに、植樹、間伐等の活動を通じて森林について学習した。		
事業費	事業費： 238,556 円	補助金額： 237,000 円	
活動状況	活動回数： 6 回	参加延べ人数： 171 人	
状況写真			

事業名	「オイスカの森」 in えひめ		
事業主体名	財団法人オイスカ愛媛県支局		
	代表者名	代表者名： 宮嶋 祥式	会 員： 165名
	事務局住所	松山市鷹子町588-3	
	連絡先	担当者名： 佐々木 みか	電 話： 089-970-3100
実施箇所	松山市		
事業の概要	植樹や竹林整備等の森づくり活動を通じて森を体感した。		
事業費	事業費： 308,230 円	補助金額： 288,000 円	
活動状況	活動回数： 9 回	参加延べ人数： 461 人	
状況写真			

事業名	国際森林年記念の森づくり活動		
事業主体名	えひめ森林ボランティア連絡協議会		
	代表者名	代表者名： 鶴見 武道	会 員： 3000名
	事務局住所	東温市田窪743	
	連絡先	担当者名： 安藤 哲次	電 話： 089-990-7017
実施箇所	伊予市		
事業の概要	県下の森林ボランティア団体等による国際森林年記念植樹を行った。		
事業費	事業費： 391,165 円	補助金額： 388,000 円	
活動状況	活動回数： 1 回	参加延べ人数： 41 人	
状況写真			


(森をつくる活動) 植樹

整理番号 10

事業名	森をつくり、育てる活動		
事業主体名	えひめ森の案内人会		
	代表者名	代表者名： 白石 博文	会 員： 144名
	事務局住所	松山市北土居4-7-27	
	連絡先	担当者名： 清水 民弥	電 話： 090-5144-8942
実施箇所	伊予市		
事業の概要	えひめ森林公園において、植樹活動を行った。		
事業費	事業費：	375,665 円	補助金額： 375,000 円
活動状況	活動回数：	7 回	参加延べ人数： 106 人
状況写真			


(森をつくる活動) 植樹

整理番号 11

事業名	さくらの里づくり事業		
事業主体名	柳谷壮年会		
	代表者名	代表者名： 矢野 文隆	会 員： 93名
	事務局住所	上浮穴郡久万高原町柳井川923 (久万高原町役場柳谷支所内)	
	連絡先	担当者名： 三本 一雄	電 話： 0892-54-2121
実施箇所	久万高原町		
事業の概要	急速に過疎化が進み放置森林が増加している久万高原町柳谷地区に”ふるさとづくり”として桜を植樹した。		
事業費	事業費：	191,150 円	補助金額： 180,000 円
活動状況	活動回数：	7 回	参加延べ人数： 473 人
状況写真			


(森をつくる活動) 植樹

整理番号 13

事業名	石畳地区・里山保全啓発事業		
事業主体名	石畳炭焼き学校		
	代表者名	代表者名： 寶泉 武徳	会 員： 9名
	事務局住所	内子町石畳5252	
	連絡先	担当者名： 寶泉 武徳	電 話： 0893-44-2553
実施箇所	内子町		
事業の概要	クヌギ等の植樹や管理活動を通して里山保全を行った。		
事業費	事業費： 286,092 円	補助金額： 286,000 円	
活動状況	活動回数： 9 回	参加延べ人数： 84 人	
状況写真			

(森をつくる活動) 植樹

整理番号 14

事業名	宮内財産区の森整備活動事業		
事業主体名	宮内財産区		
	代表者名	代表者名： 武内 信衛	会 員： 3698名
	事務局住所	八幡浜市保内町宮内1番耕地260 (八幡浜市役所保内庁内)	
	連絡先	担当者名： 田中 由加	電 話： 0894-22-3111
実施箇所	八幡浜市		
事業の概要	宮内小学校生徒等地域住民により植樹活動を行った。		
事業費	事業費： 105,625 円	補助金額： 105,000 円	
活動状況	活動回数： 2 回	参加延べ人数： 61 人	
状況写真			

(森をつくる活動) 竹林整備

整理番号 15

事業名	放置竹林整備と竹林・竹の活用		
事業主体名	竹林をよくする会		
	代表者名	代表者名： 小林 延雄	会 員： 90名
	事務局住所	西条市兔之山甲201-1	
	連絡先	担当者名： 前 弘之	電 話： 0897-53-3778
実施箇所	西条市		
事業の概要	放置竹林をチップー機を活用して間伐し、炭や堆肥に活用することによって、竹林整備の必要性と竹の有用性を普及した。		
事業費	事業費：	406,621 円	補助金額： 400,000 円
活動状況	活動回数：	27 回	参加延べ人数： 823 人
状況写真			

(森をつくる活動) 竹林整備

整理番号 16

事業名	竹林の整備と竹の有効活用		
事業主体名	高知里山を愛する会		
	代表者名	代表者名： 越智 賢二	会 員： 15名
	事務局住所	西条市丹原町高知甲670-1	
	連絡先	担当者名： 越智 賢二	電 話： 0898-68-4681
実施箇所	西条市		
事業の概要	放置竹林を地域住民により整備し、伐採した竹の有効活用を図った。		
事業費	事業費：	203,816 円	補助金額： 201,000 円
活動状況	活動回数：	9 回	参加延べ人数： 73 人
状況写真			

(森をつくる活動) 竹林整備

整理番号 17

事業名	市場の放置竹林の整備と遊歩道整備・石淵池奥の湿原回復活動		
事業主体名	市場里山ボランティア会		
	代表者名	代表者名： 佐伯 美一	会 員： 5名
	事務局住所	伊予市市場甲636-1	
	連絡先	担当者名： 佐伯 美一	電 話： 089-982-6977
実施箇所	伊予市		
事業の概要	放置竹林等を伐採整理し、植樹を行うとともに、伐採した木竹を活用して炭焼等を行った。		
事業費	事業費：	219,340 円	補助金額： 202,000 円
活動状況	活動回数：	42 回	参加延べ人数： 106 人
状況写真			

(森をつくる活動) 竹林整備

整理番号 18

事業名	緑地区の森と川を守る		
事業主体名	緑小学校PTA		
	代表者名	代表者名： 埜下 和幸	会 員： 60名
	事務局住所	南宇和郡愛南町緑乙3231	
	連絡先	担当者名： 長田 正昭	電 話： 0895-72-0839
実施箇所	愛南町		
事業の概要	間伐や竹林整備活動を行うとともに地域材を使った木工工作や森林観察会を開催した。		
事業費	事業費：	153,012 円	補助金額： 153,000 円
活動状況	活動回数：	6 回	参加延べ人数： 219 人
状況写真			

(森をつくる活動) 環境整備

整理番号 19

事業名	「えんとつ山」里山整備		
事業主体名	えんとつ山倶楽部		
代表者名	代表者名： 直野 菅男	会 員： 96名	
事務局住所	新居浜市土橋2-7-211		
連絡先	担当者名： 妻鳥 俊彦	電 話： 050-3678-3332	
実施箇所	新居浜市		
事業の概要	地域のシンボルの「えんとつ山」を再生するため、広葉樹の植栽、間伐等を行った。		
事業費	事業費： 391,597 円	補助金額： 380,000 円	
活動状況	活動回数： 32 回	参加延べ人数： 229 人	
状況写真			


(森をつくる活動) 環境整備

整理番号 20

事業名	森をつくる(植栽等)活動事業		
事業主体名	淡路ヶ峠遊歩道整備管理協議会		
代表者名	代表者名： 戒田 平人	会 員： 70名	
事務局住所	松山市東野5丁目12-18		
連絡先	担当者名： 西松 秀樹	電 話： 089-977-1540	
実施箇所	松山市		
事業の概要	森林荒廃が進行する淡路ヶ峠において、桜の植樹及び遊歩道整備により「桜の淡路ヶ峠」の復活に努めた。		
事業費	事業費： 371,465 円	補助金額： 369,000 円	
活動状況	活動回数： 10 回	参加延べ人数： 259 人	
状況写真			


(森をつくる活動) 環境整備

整理番号 21

事業名	エコ・ミュージアム・中津事業		
事業主体名	中津大字会		
	代表者名	代表者名： 羽澤 清二郎	会 員： 200名
	事務局住所	上浮穴郡久万高原町中津4141	
	連絡先	担当者名： 中野 克仁	電 話： 0892-54-2653
実施箇所	久万高原町		
事業の概要	中津地区のシンボルである桜を守り育てるため、雑木除去、下刈、つる切等を行った。		
事業費	事業費： 200,000 円	補助金額： 200,000 円	
活動状況	活動回数： 2 回	参加延べ人数： 70 人	
状況写真			

(木をつかう活動) 木材普及

整理番号 23

事業名	西条地産地消の家づくり推進事業		
事業主体名	西条地産地消の家づくり推進協議会		
	代表者名	代表者名： 宇佐美金正	会 員： 35名
	事務局住所	西条市大町1211	
	連絡先	担当者名： 玉置 康文	電 話： 0897-56-0180
実施箇所	西条市		
事業の概要	地域材の地産地消への関心を高めるため、木造の家づくりの講習会や間伐体験会などを開催した。		
事業費	事業費： 450,420 円	補助金額： 450,000 円	
活動状況	活動回数： 9 回	参加延べ人数： 111 人	
状況写真			


(木をつかう活動) 木材普及

整理番号 24

事業名	越智今治地域「地産地消の家づくり」推進		
事業主体名	越智今治地域「地産地消の家づくり」推進協議会		
	代表者名	代表者名： 越智 彰	会 員： 9名
	事務局住所	今治市玉川町法界寺甲114-1	
	連絡先	担当者名： 越智 盛通	電 話： 0898-55-2001
実施箇所	今治市		
事業の概要	地域材の需要拡大を図るため、家づくりに関するセミナーを定期的に開催した。		
事業費	事業費： 545,305 円	補助金額： 500,000 円	
活動状況	活動回数： 8 回	参加延べ人数： 236 人	
状況写真			

(木をつかう活動) 木材普及

整理番号 26

事業名	伊予地区「地産地消の家づくり」推進事業		
事業主体名	伊予地区「地産地消の家づくり」推進協議会		
	代表者名	代表者名： 西田 義晴	会 員： 7名
	事務局住所	伊予市大平1307-1	
	連絡先	担当者名： 平井 久美子	電 話： 089-983-2575
実施箇所	伊予市		
事業の概要	地域材の需要拡大を図るため、家づくりに関するセミナーを定期的に開催した。		
事業費	事業費： 412,630 円	補助金額： 411,000 円	
活動状況	活動回数： 8 回	参加延べ人数： 155 人	
状況写真			

(木をつかう活動) 木材普及

整理番号 27

事業名	久万地域認証材利用促進事業		
事業主体名	上浮穴林材業振興会議		
	代表者名	代表者名： 高野 宗城	会 員： 12名
	事務局住所	久万高原町久万571-1	
	連絡先	担当者名： 宮内 隆宏	電 話： 0892-21-1265
実施箇所	久万高原町		
事業の概要	地域材認証制度の周知定着を図った。		
事業費	事業費：	468,640 円	補助金額： 400,000 円
活動状況	活動回数：	3 回	参加延べ人数： 2,057 人
状況写真			

(木をつかう活動) 木工

整理番号 29

事業名	トンギコ木工教室		
事業主体名	あそびじゅくトムソーヤ		
	代表者名	代表者名： 角田 武博	会 員： 6名
	事務局住所	新居浜市大生院215-1-107	
	連絡先	担当者名： 角田 武博	電 話： 0897-41-8339
実施箇所	新居浜市		
事業の概要	森林の大切さや環境についての理解を深めるため、地域の小学生等を対象とした木工教室を開催した。		
事業費	事業費：	119,216 円	補助金額： 118,000 円
活動状況	活動回数：	2 回	参加延べ人数： 66 人
状況写真			

(木をつかう活動) 木工

整理番号 30

事業名	親子木工教室		
事業主体名	西条建築協同組合		
	代表者名	代表者名： 曾我 藤夫	会 員： 228名
	事務局住所	西条市丹原町願連寺439-3	
	連絡先	担当者名： 川原 満枝	電 話： 0898-68-7740
実施箇所	西条市		
事業の概要	親子木工教室を開催しベンチを作製の上、地域の学校等に設置した。		
事業費	事業費：	282,550 円	補助金額： 282,000 円
活動状況	活動回数：	1 回	参加延べ人数： 98 人
状況写真			

(木をつかう活動) 木工

整理番号 31

事業名	木工教室		
事業主体名	周桑林業研究グループ		
	代表者名	代表者名： 宇佐美 禎夫	会 員： 15名
	事務局住所	西条市吉田182	
	連絡先	担当者名： 宇佐美 禎夫	電 話： 0898-68-7148
実施箇所	西条市		
事業の概要	木造住宅模型を作成し、木造住宅の構造等について普及啓発した。		
事業費	事業費：	132,000 円	補助金額： 131,000 円
活動状況	活動回数：	2 回	参加延べ人数： 28 人
状況写真			

(木をつかう活動) 木工

整理番号 32

事業名	今治地区木工教室		
事業主体名	今治地区林業研究グループ協議会		
	代表者名	代表者名： 羽藤 俊一	会 員： 17名
	事務局住所	今治市玉川町法界寺甲114-1	
	連絡先	担当者名： 羽藤 俊一	電 話： 0898-55-2001
実施箇所	今治市		
事業の概要	市内の小学生等を対象に木工教室を開催し、木材の利活用促進を図った。		
事業費	事業費： 491,464 円	補助金額： 484,000 円	
活動状況	活動回数： 2 回	参加延べ人数： 77 人	
状況写真			

(木をつかう活動) 木工

整理番号 33

事業名	樹木の解説および県産材を使った調度品づくり実施事業その4		
事業主体名	特定非営利活動法人自然環境教育えことのは		
	代表者名	代表者名： 小林 智子	会 員： 10名
	事務局住所	松山市菅沢町乙642-3	
	連絡先	担当者名： 小林 智子	電 話： 089-907-3272
実施箇所	松山市		
事業の概要	県産材への理解と愛着を深めるため、木工教室（年10回）を開催した。		
事業費	事業費： 476,060 円	補助金額： 476,000 円	
活動状況	活動回数： 10 回	参加延べ人数： 109 人	
状況写真			

(木をつかう活動) 木工

整理番号 34

事業名	木をつかって山につながる その5		
事業主体名	木でつながるなかま「円い森」		
代表者名	代表者名： 高橋 佐智子	会 員： 3名	
事務局住所	松山市平田町419		
連絡先	担当者名： 高橋 佐智子	電 話： 089-979-6388	
実施箇所	松山市		
事業の概要	木製玩具作家を講師に、木を学び、木にふれ楽しむ木工教室を開催した。		
事業費	事業費： 345,108 円	補助金額： 344,000 円	
活動状況	活動回数： 2 回	参加延べ人数： 362 人	
状況写真			

(木をつかう活動) 木工

整理番号 35

事業名	遊友学舎 木工教室		
事業主体名	特定非営利活動法人 J M A C S		
代表者名	代表者名： 中野 博子	会 員： 8名	
事務局住所	松山市千舟町6-1-3		
連絡先	担当者名： 八木 恵美子	電 話： 089-913-0415	
実施箇所	松山市		
事業の概要	松山市の小学生を対象に、定期的に木工教室を開催した。		
事業費	事業費： 452,609 円	補助金額： 451,000 円	
活動状況	活動回数： 14 回	参加延べ人数： 275 人	
状況写真			

(木をつかう活動) 木工

整理番号 36

事業名	森とふれあう教室		
事業主体名	愛媛県森林組合職員連盟本会支部		
	代表者名	代表者名： 芝 芳亀	会 員： 37名
	事務局住所	松山市三番町4丁目4-1	
	連絡先	担当者名： 宮浦 英樹	電 話： 089-941-0164
実施箇所	松山市		
事業の概要	地域の子供達を対象に木材の流通について学んだり木工体験を行う森とのふれあい教室を開催した。		
事業費	事業費：	357,435 円	補助金額： 357,000 円
活動状況	活動回数：	1 回	参加延べ人数： 51 人
状況写真			

(木をつかう活動) 木工

整理番号 37

事業名	杣人座～其の六～「森づくりの基地を作ろう」		
事業主体名	愛媛木材青年協議会		
	代表者名	代表者名： 井部 健太郎	会 員： 24名
	事務局住所	上浮穴郡久万高原町菅生2-1326-1	
	連絡先	担当者名： 井部 健太郎	電 話： 0892-21-0017
実施箇所	久万高原町		
事業の概要	間伐材を活用して、森林活動のための基地を作った。		
事業費	事業費：	319,900 円	補助金額： 282,000 円
活動状況	活動回数：	2 回	参加延べ人数： 182 人
状況写真			

(木をつかう活動) 木工

整理番号 38

事業名	久万林業まつり親子木工広場		
事業主体名	久万林業まつり実行委員会		
	代表者名	代表者名： 高野 宗城	会 員： 42名
	事務局住所	上浮穴郡久万高原町久万212	
	連絡先	担当者名： 河野 勝利	電 話： 0892-21-1111
実施箇所	久万高原町		
事業の概要	久万林業まつりにあわせて、親子が森林や木材について学び体験できる木工広場を開催した。		
事業費	事業費： 500,000 円	補助金額： 500,000 円	
活動状況	活動回数： 1 回	参加延べ人数： 357 人	
状況写真			

(木をつかう活動) 木工

整理番号 39

事業名	地元材を使った木製ベンチ作り事業		
事業主体名	大洲市立肱川中学校PTA		
	代表者名	代表者名： 山内 光郎	会 員： 85名
	事務局住所	大洲市肱川町山鳥坂282	
	連絡先	担当者名： 毛利 正寛	電 話： 0893-34-2003
実施箇所	大洲市		
事業の概要	地域材を活用してベンチを作成し、中学校内に設置した。		
事業費	事業費： 445,600 円	補助金額： 445,000 円	
活動状況	活動回数： 8 回	参加延べ人数： 226 人	
状況写真			

(木をつかう活動) 木工

整理番号 40

事業名	木とのふれあい教室		
事業主体名	南宇和地区林材業振興会議		
	代表者名	代表者名： 清水 雅文	
	事務局住所	南宇和郡愛南町御荘平城3048	
	連絡先	担当者名： 小内 功二	電話： 0895-72-0931
実施箇所	愛南町		
事業の概要	親子が気軽に参加し、森林や木材について学び体験できる木工広場を開催した。		
事業費	事業費： 344,090 円	補助金額： 300,000 円	
活動状況	活動回数： 1 回	参加延べ人数： 244 人	
状況写真			

(森とくらす活動) 環境教育

整理番号 41

事業名	「木の子」図鑑作成と「森の役割」観察会		
事業主体名	さんきら自然塾		
	代表者名	代表者名： 水本 孝志	会員： 30名
	事務局住所	八幡浜市大平1-865-2	
	連絡先	担当者名： 水本 孝志	電話： 0894-24-4961
実施箇所	八幡浜市		
事業の概要	樹木やきのこの観察会の開催及びきのこ図鑑の作成・配布を行った。		
事業費	事業費： 370,737 円	補助金額： 370,000 円	
活動状況	活動回数： 12 回	参加延べ人数： 658 人	
状況写真			

事業名	広葉樹林の整備を通じた森林環境教育		
事業主体名	夢遊友うずい		
代表者名	代表者名： 内藤 正盛	会員： 40名	
事務局住所	新居浜市大生院1599-5		
連絡先	担当者名： 神野 泰次	電話： 0897-43-3104	
実施箇所	新居浜市		
事業の概要	広葉樹林の整備や椎茸栽培を通じて地域の広葉樹林の活用を体験学習した。		
事業費	事業費： 39,450 円	補助金額： 39,000 円	
活動状況	活動回数： 1 回	参加延べ人数： 69 人	
状況写真			

事業名	森の時間その7～森や木とふれあい、年輪を知り、味わう～		
事業主体名	特定非営利活動法人自然環境教育えことのは		
代表者名	代表者名： 小林 智子	会員： 10名	
事務局住所	松山市菅沢町乙642-3		
連絡先	担当者名： 小林 智子	電話： 089-907-3272	
実施箇所	松山市		
事業の概要	森の時間の流れを学ぶため、森の樹木や木材の観察、樹木の成長過程等を学ぶ学習会を開催した。		
事業費	事業費： 346,629 円	補助金額： 344,000 円	
活動状況	活動回数： 1 回	参加延べ人数： 41 人	
状況写真			

事業名	森林・林業大学(2)		
事業主体名	えひめ千年の森をつくる会		
代表者名	代表者名： 鶴見 武道	会 員： 123名	
事務局住所	東温市井内甲915-2		
連絡先	担当者名： 鶴見 恵子	電 話： 089-966-6251	
実施箇所	松山市		
事業の概要	産業としての林業を学習する3泊4日の森林・林業大学を開催した。		
事業費	事業費： 583,115 円	補助金額： 541,000 円	
活動状況	活動回数： 4 回	参加延べ人数： 136 人	
状況写真			

事業名	平成23年度森への誘い推進事業		
事業主体名	えひめ森の案内人会		
代表者名	代表者名： 白石 博文	会 員： 144名	
事務局住所	松山市北土居4-7-27		
連絡先	担当者名： 白石 博文	電 話： 089-971-0789	
実施箇所	伊予市		
事業の概要	森林とふれあい、森林に学び、森林を育てる意識醸成のため、森林に関する知識や技術を普及した。		
事業費	事業費： 369,894 円	補助金額： 369,000 円	
活動状況	活動回数： 6 回	参加延べ人数： 214 人	
状況写真			

事業名	森を学び、里・川・海、そして街を考える		
事業主体名	都会と田舎を結ぶ食育ネット		
	代表者名	代表者名： 小田 清隆	会 員： 150名
	事務局住所	喜多郡内子町川中868	
	連絡先	担当者名： 小田 由美	電 話： 0893-45-0802
実施箇所	内子町		
事業の概要	森林整備活動体験、炭焼き等の活動を通して、森のあり方を学んだ。		
事業費	事業費：	420,532 円	補助金額： 420,000 円
活動状況	活動回数：	12 回	参加延べ人数： 244 人
状況写真			

事業名	西予原木きのご栽培学習会		
事業主体名	中村敬治		
	代表者名	代表者名： 中村 敬治	
	事務局住所	西予市宇和町山田1858	
	連絡先	担当者名： 中村 敬治	電 話： 090-7621-3791
実施箇所	西予市		
事業の概要	市内の小学校でしいたけ栽培に関する学習会を開催した。		
事業費	事業費：	261,215 円	補助金額： 260,000 円
活動状況	活動回数：	6 回	参加延べ人数： 126 人
状況写真			

(森とくらす活動) 森林体験

整理番号 48


事業名	自然環境を考える森林体験学習		
事業主体名	奈良原さんの自然を育む会		
代表者名	代表者名： 青井 三郎	会 員： 50名	
事務局住所	今治市北日吉町3丁目2-28		
連絡先	担当者名： 門田 文夫	電 話： 0898-22-3251	
実施箇所	今治市		
事業の概要	地域住民に親しまれている楢原山で、地元小中学生等を対象にした森林環境教育を行った。		
事業費	事業費： 125,961 円	補助金額： 125,000 円	
活動状況	活動回数： 2 回	参加延べ人数： 71 人	
状況写真			

(森とくらす活動) 森林体験

整理番号 49

事業名	森林・自然体験活動推進事業		
事業主体名	森林・自然体験活動連絡会		
代表者名	代表者名： 大野 英孝	会 員： 160名	
事務局住所	松山市南江戸5-2-28-B103		
連絡先	担当者名： 佐竹 博之	電 話： 089-924-0225	
実施箇所	伊予市		
事業の概要	都市住民の森林・自然への理解を深めるため、えひめ森林公園等で自然体験、ネイチャーゲーム、クラフト教室などを開催した。		
事業費	事業費： 371,410 円	補助金額： 371,000 円	
活動状況	活動回数： 10 回	参加延べ人数： 453 人	
状況写真			

事業名	竹林整備事業		
事業主体名	伯方町女性林業研究グループ		
	代表者名	代表者名： 馬越 良歌	会員： 12名
	事務局住所	今治市伯方町木浦甲1235（今治市伯方支所内）	
	連絡先	担当者名： 中村 真吾	電話： 0897-72-1500
実施箇所	今治市		
事業の概要	手入れ不足の竹林を整備するとともに、炭焼き等による竹の有効活用を図った。		
事業費	事業費：	301,025 円	補助金額： 296,000 円
活動状況	活動回数：	5 回	参加延べ人数： 100 人
状況写真			

事業名	ドラム缶窯式炭焼きの普及と森林整備		
事業主体名	久米・森と炭焼きの会		
	代表者名	代表者名： 片岡 伸二郎	会員： 23名
	事務局住所	松山市来住町1377-4	
	連絡先	担当者名： 近藤 博道	電話： 089-976-6011
実施箇所	松山市		
事業の概要	放置森（竹）林問題への関心を高めるため、都市部の市民レベルで炭焼き体験会などを開催した。		
事業費	事業費：	110,540 円	補助金額： 105,000 円
活動状況	活動回数：	11 回	参加延べ人数： 342 人
状況写真			

資料編

改正 平成17年7月19日条例第46号
平成21年12月18日条例第65号平成20年4月30日条例第42号
平成22年6月29日条例第32号愛媛県森林環境税条例を次のように公布する。
愛媛県森林環境税条例

(趣旨)

第1条 この条例は、水源のかん養、県土の保全、地球温暖化の防止、生物多様性の確保その他の森林の有する公益的機能の重要性にかんがみ、森林環境の保全及び森林と共生する文化の創造に関する施策に要する経費の財源を確保するために森林環境税を課するため、県民税の均等割の税率に関し、愛媛県県税賦課徴収条例(昭和25年愛媛県条例第21号。以下「県税条例」という。)の特例を定めるものとする。

(賦課徴収)

第2条 森林環境税は、次条の規定により個人の県民税の均等割の税率に加算し、及び第4条の規定により法人の県民税の均等割の税率に加算して賦課徴収する。

一部改正〔平成20年条例42号〕

(個人の県民税の均等割の税率の特例)

第3条 平成17年度から平成26年度までの各年度分の個人の県民税の均等割の税率は、県税条例第13条第1項第1号の規定にかかわらず、同号に定める額に700円を加算した額とする。

一部改正〔平成21年条例65号〕

(法人の県民税の均等割の税率の特例)

第4条 平成17年4月1日から平成27年3月31日までの間に開始する各事業年度若しくは各連結事業年度又は当該期間における地方税法(昭和25年法律第226号)第52条第2項第4号の期間に係る法人の県民税の均等割の税率は、県税条例第13条第1項第2号の規定にかかわらず、同号の表の左欄に掲げる法人の区分に応じ、それぞれ当該右欄に定める額に、当該額に100分の7を乗じて得た額を加算した額とする。

一部改正〔平成20年条例42号・21年65号・22年32号〕

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成17年4月1日から施行する。
一部改正〔平成17年条例46号〕

(経過措置)

2 平成17年度分の個人の県民税に限り、平成17年1月1日現在において、県内に住所を有することにより均等割の納税義務を負う夫と生計を一にする妻で夫が住所を有する市町村内に住所を有するものに係る第3条の規定の適用については、同条中「県税条例第13条第1項第1号」とあるのは「県税条例第13条第1項第1号及び愛媛県県税賦課徴収条例の一部を改正する条例(平成16年愛媛県条例第26号)附則第8項」と、「同号に定める額に500円」とあるのは「同項の規定により読み替えて適用される同号に定める額に200円」とする。

一部改正〔平成17年条例46号〕

3 平成18年度分の個人の県民税に限り、前年の合計所得金額が125万円以下であり、かつ、平成17年1月1日現在において年齢65歳以上であった者(地方税法等の一部を改正する法律(平成17年法律第5号)第1条の規定による改正後の地方税法(以下「新法」という。)の施行地に住所を有しない者を除く。)に係る第3条の規定の適用については、同条中「県税条例第13条第1項第1号」とあるのは「県税条例第13条第1項第1号及び愛媛県県税賦課徴収条例及び愛媛県森林環境税条例の一部を改正する条例(平成17年愛媛県条例第46号)附則第3項」と、「同号に定める額に500円」とあるのは「同項の規定により読み替えて適用される同号に定める額に100円」とする。

追加〔平成17年条例46号〕

4 平成19年度分の個人の県民税に限り、前年の合計所得金額が125万円以下であり、かつ、平成17年1月1日現在において年齢65歳以上であった者(新法の施行地に住所を有しない者を除く。)に係る第3条の規定の適用については、同条中「県税条例第13条第1項第1号」とあるのは「県税条例第13条第1項第1号及び愛媛県県税賦課徴収条例及び愛媛県森林環境税条例の一部を改正する条例(平成17年愛媛県条例第46号)附則第5項」と、「同号に定める額に500円」とあるのは「同項の規定により読み替えて適用される同号に定める額に300円」とする。

追加〔平成17年条例46号〕

附 則(平成17年7月19日条例第46号抄)

(施行期日)

1 この条例は、平成18年1月1日から施行する。(後略)
(県民税に関する経過措置)

2 第1条の規定による改正後の愛媛県県税賦課徴収条例(以下「新条例」という。)附則第6条の規定は、平成18年度以後の年度分の個人の県民税について適用し、平成17年度分までの個人の県民税については、なお従前の例による。

3 平成18年度分の個人の県民税の均等割に限り、前年の合計所得金額が125万円以下であり、かつ、平成17年1月1日現在において年齢65歳以上であった者(地方税法等の一部を改正する法律(平成17年法律第5号)第1条の規定による改正後の地方税法(昭和25年法律第226号。以下「新法」という。)の施行地に住所を有しない者を除く。)に係る新条例第13条第1項の規定の適用については、同項第1号中「1,000円」とあるのは、「300円」とする。

4 平成18年度分の個人の県民税の所得割に限り、所得割の納税義務者で、前年の合計所得金額が125万円以下であり、かつ、平成17年1月1日現在において年齢65歳以上であったものの所得割(新条例第13条第3項に規定する分離課税に係る所得割を除く。以下この項において同じ。)については、新条例の規定中所得割に関する部分(新条例第16条を除く。)を適用した場合における所得割の額から、当該額の3分の2に相当する額を控除するものとする。この場合における新条例第16条の規定の適用については、同条中「前3条」とあるのは、「愛媛県県税賦課徴収条例及び愛媛県森林環境税条例の一部を改正する条例(平成17年愛媛県条例第46号)附則第4項」とする。

5 平成19年度分の個人の県民税の均等割に限り、前年の合計所得金額が125万円以下であり、かつ、平成17年1月1日現在において年齢65歳以上であった者(新法の施行地に住所を有しない者を除く。)に係る新条例第13条第1項の規定の適用については、同項第1号中「1,000円」とあるのは、「600円」とする。

6 県は、平成19年度分の個人の県民税の所得割に限り、所得割の納税義務者で、前年の合計所得金額が125万円以下であり、かつ、平成17年1月1日現在において年齢65歳以上であったものの所得割(新条例第13条第3項に規定する分離課税に係る所得割を除く。以下この項において同じ。)については、新条例の規定中所得割に関する部分(新条例第16条を除く。)を適用した場合における所得割の額から、当該額の3分の1に相当する額を控除するものとする。この場合における新条例第16条の規定の適用については、同条中「前3条」とあるのは、「愛媛県県税賦課徴収条例及び愛媛県森林環境税条例の一部を改正する条例(平成17年愛媛県条例第46号)附則第6項」とする。

附 則(平成20年4月30日条例第42号抄)

(施行期日)

1 この条例は、公布の日から施行する。

附 則(平成21年12月18日条例第65号)

(施行期日)

1 この条例は、平成22年4月1日から施行する。
(経過措置)

2 改正後の愛媛県森林環境税条例(以下「新条例」という。)第3条の規定は、平成22年度以後の年度分の個人の県民税の均等割の税率について適用し、平成21年度分までの個人の県民税の均等割の税率については、なお従前の例による。

3 新条例第4条の規定は、この条例の施行の日以後に開始する事業年度及び連結事業年度並びに同日以後の地方税法(昭和25年法律第226号)第52条第2項第3号の期間に係る法人の県民税の均等割の税率について適用し、同日前に開始した事業年度及び連結事業年度並びに同日前の同号の期間に係る法人の県民税の均等割の税率については、なお従前の例による。

附 則(平成22年6月29日条例第32号抄)

(施行期日)

1 この条例は、平成22年10月1日から施行する。

愛媛県森林環境保全基金条例

平成16年12月24日
条例第50号

愛媛県森林環境保全基金条例を次のように公布する。

愛媛県森林環境保全基金条例

(設置)

第1条 水源のかん養、県土の保全、地球温暖化の防止、生物多様性の確保その他の森林の有する公益的機能の重要性にかんがみ、森林環境の保全及び森林と共生する文化の創造に関する施策を推進するため、森林環境保全基金(以下「基金」という。)を設置する。

(積立て)

第2条 基金として積み立てる額は、愛媛県森林環境税条例(平成16年愛媛県条例第46号)の規定による森林環境税の収入額に相当する額から賦課徴収に要する費用を控除した額で一般会計歳入歳出予算(以下「予算」という。)で定める額とする。

(管理)

第3条 基金に属する現金は、金融機関への預金その他最も確実かつ有利な方法により保管しなければならない。

(運用益金の処理)

第4条 基金の運用から生ずる収益は、予算に計上して、基金に編入する。

(処分)

第5条 基金は、第1条の目的を達成するための事業に要する経費並びに基金の管理及び運営に要する経費に充てるため、その全部又は一部を処分することができる。

(繰替運用)

第6条 知事は、財政上必要があると認めるときは、確実な繰戻しの方法、期間及び利率を定めて、基金に属する現金を歳計現金に繰り替えて運用することができる。

(愛媛県森林環境保全基金運営委員会)

第7条 第5条に規定する事業に関する事項その他基金に関する事項を調査審議させる等のため、愛媛県森林環境保全基金運営委員会(以下「委員会」という。)を置く。

2 委員会は、委員10人以内で組織する。

3 委員は、学識経験のある者その他適当と認められる者のうちから、知事が委嘱する。

4 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 委員は、再任されることができる。

6 委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、同様とする。

(委任)

第8条 この条例に定めるもののほか、基金の管理及び運営に関し必要な事項は、知事が定める。

附 則

この条例は、平成17年4月1日から施行する。

愛媛県森林環境保全基金運営委員会委員名簿

選任数：10名

任 期：平成23年4月1日～平成25年3月31日（2年間）

（五十音順）

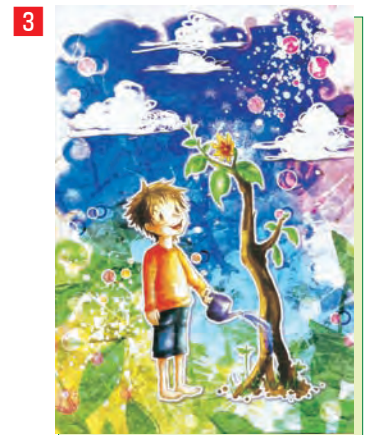
選任区分	氏名	職名	備考
福祉関係者	あおい ともこ 青井 倫子	愛媛大学教育学部准教授	
木材関係者	い べ けんたろう 井部 健太郎	前愛媛木材青年協議会会長	
学識経験者	えざき つぎお 江崎 次夫	愛媛大学農学部名誉教授	委員長
漁業関係者	き た ひ さ こ 喜田 ヒサ子	愛媛県漁協女性部連合会会長	
消費者代表	こうの せいこ 河野 誠子	愛媛県農山漁村生活研究協議会 前会長	
森林ボランティア 関係者	しらいし ひろふみ 白石 博文	えひめ森の案内人会会長	
企業関係者	せきや しんご 関谷 慎吾	（社）愛媛県建設業協会常務	
環境教育関係者	たかはし みよこ 高橋 美代子	愛媛県PTA連合会顧問	副委員長
一般県民	たけもり まりえ 竹森 まりえ	WEB企画制作	
森林所有者	ますだ きよし 増田 清	前愛媛県林業研究グループ連絡協議会 会長	

森林環境税普及啓発用ポスター・シンボルマーク

ポスター（平成17年10月選定）

<作者>

- | | | | | |
|---|----|----|-----|------------|
| 1 | いし | だ | じゅん | 今治市立常盤小学校 |
| 2 | きく | ち | のり | 八幡浜市立日土小学校 |
| 3 | なか | がわ | ゆき | 県立三島高等学校 |
| 4 | ひら | はら | こ | 県立今治工業高等学校 |
| 5 | ぶく | だ | か | 県立三崎高等学校 |
| | 福 | 田 | 花 | |



シンボルマーク

<デザイン作者>

いけ だ まさ よ 一般 （平成17年10月選定）
池 田 正 誉

“えひめの森を吹き抜けるさわやかな風、その風に髪をなびかせ森を育む愛媛の子供達”を表現するため、EHIMEの「E」の文字をコンセプトに、明るく元気に森を守り育てる愛媛の子供をイメージしてデザイン化しました。

<愛称作者>

たか つき ゆう ま 県立松山南高等学校
高 月 悠 馬

（平成18年¹³10月選定）



愛称 E~もりくん

税制度の概要 (H22~26)

納める方式	県民税均等割上乘せ課税方式 (法定普通税)																								
納める人	県内に住所、事業所などがある個人・法人 (個人県民税及び法人県民税の均等割の納税義務者)																								
納める額	<p><個人> 年額700円 給与所得者・65歳以上の公的年金受給者は、給与・年金から「天引き」して市町に納税します。事業所得者等は、市町から送られてくる納税通知書により納税します。</p> <p><法人> 県民税均等割標準税率の7%相当額</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>資本金等の金額の区分</th> <th>標準税率①</th> <th>森林環境税額②</th> <th>納税額(①+②)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>50億円超</td> <td>800,000円</td> <td>56,000円</td> <td>856,000円</td> </tr> <tr> <td>10億円超50億円以下</td> <td>540,000円</td> <td>37,800円</td> <td>577,800円</td> </tr> <tr> <td>1億円超10億円以下</td> <td>130,000円</td> <td>9,100円</td> <td>139,100円</td> </tr> <tr> <td>1,000万円超1億円以下</td> <td>50,000円</td> <td>3,500円</td> <td>53,500円</td> </tr> <tr> <td>上記以外</td> <td>20,000円</td> <td>1,400円</td> <td>21,400円</td> </tr> </tbody> </table>	資本金等の金額の区分	標準税率①	森林環境税額②	納税額(①+②)	50億円超	800,000円	56,000円	856,000円	10億円超50億円以下	540,000円	37,800円	577,800円	1億円超10億円以下	130,000円	9,100円	139,100円	1,000万円超1億円以下	50,000円	3,500円	53,500円	上記以外	20,000円	1,400円	21,400円
資本金等の金額の区分	標準税率①	森林環境税額②	納税額(①+②)																						
50億円超	800,000円	56,000円	856,000円																						
10億円超50億円以下	540,000円	37,800円	577,800円																						
1億円超10億円以下	130,000円	9,100円	139,100円																						
1,000万円超1億円以下	50,000円	3,500円	53,500円																						
上記以外	20,000円	1,400円	21,400円																						
納める方法	<p>個人県民税は市町が給与所得者は特別徴収、事業所得者等は普通徴収、法人県民税は法人が県に申告納付します。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p><個人の場合></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>給与所得者 (納税義務者)</p> <p>↓ 特別徴収 (天引き)</p> <p>雇用主 (特別徴収義務者)</p> <p>↓ 納入 (住民税)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>事業所得者等 (納税義務者)</p> <p>↓ 普通徴収 納付(住民税)</p> </div> </div> <p>市 町</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p><法人の場合></p> <div style="text-align: center;"> <p>法人 (納税義務者)</p> <p>↓ 申告納付 (法人県民税)</p> </div> <p>愛媛県</p> </div> </div>																								

..... お問い合わせ
.....

〒790-8570 松山市一番町4丁目4-2 愛媛県庁
農林水産部森林局森林整備課保護緑化係
 TEL 089-912-2597 FAX 089-912-2594

〒791-0212 東温市田窪743
森の交流センター
 TEL 089-990-7017 FAX 089-990-7073
<http://www.pref.ehime.jp/index.jsp>